

操作マニュアル

第5.6版

もくじ

はじめに ・・・3p
【ブラウザ】ログインする ・・・4-6p
【ブラウザ】カメラをまとめて閲覧する ・・・7-8p
【ブラウザ】カメラをローテーションさせて閲覧する ・・・9p
【ブラウザ】カメラの操作画面を表示する ・・・10p
【ブラウザ】カメラ操作画面　各部名称一覧 ・・・11p
【ブラウザ】カメラの映像を拡大する ・・・12p
【ブラウザ】カメラの録画映像を閲覧する ・・・13p
【ブラウザ】カメラの設定画面を表示する ・・・14p
【ブラウザ】ホームポジションを設定する ・・・15p
【ブラウザ】巡回監視・スケジュール機能の設定をする ・・・16p
【ブラウザ】巡回監視する画角を登録する ・・・17p
【ブラウザ】往復/周回監視の設定をする ・・・18-20p
【ブラウザ】巡回監視・スケジュールを設定する ・・・21p
【ブラウザ】標準動体検知を設定する ・・・22p
【ブラウザ】動体検知を追加する ・・・23-25p
【ブラウザ】動体検知の設定を変更する ・・・26p
【ブラウザ】動体検知の検出感度を変更する ・・・27p
【ブラウザ】AI検知機能を追加する ・・・28-31p
【ブラウザ】マスクエリアを追加する ・・・32-33p
【ブラウザ】AI検知の設定を変更する ・・・34p
【ブラウザ】AI検知機能の全般設定 ・・・35p
【ブラウザ】AI検知機能の奥行き設定 ・・・36p
【ブラウザ】検知設定を削除する ・・・37p
【ブラウザ】検知時の通知先を設定する ・・・38p
【ブラウザ】タグを設定する ・・・39p
【ブラウザ】フリッカーを設定する ・・・40p
【ブラウザ】YouTubeLIVE連携を設定する ・・・41p
【ブラウザ】カメラを操作する ・・・42-46p
【ブラウザ】録画映像をダウンロードする ・・・47-50p
【ブラウザ】録画映像を共有する ・・・51-54p
【ブラウザ】スナップショットを保存する ・・・55-57p
【ブラウザ】タイムラプスを使用する ・・・58p
【ブラウザ】カメラを全画面表示で閲覧する ・・・59p
【ブラウザ】アカウント設定 ・・・60-63p
【ブラウザ】360°（全方位）カメラの操作 ・・・64p
【ブラウザ】360°（全方位）カメラの設定 ・・・65p
【ブラウザ】360°（全方位）カメラの表示設定 ・・・66p
【ブラウザ】360°（全方位）カメラの映像表示切替 ・・・67-70p
【アプリ】アプリをダウンロードする ・・・71p
【アプリ】ログインする ・・・72-73p
【アプリ】カメラの操作画面を表示する ・・・74p
【アプリ】カメラの映像を拡大する ・・・75p
【アプリ】カメラを操作する ・・・76-77p
【アプリ】カメラの録画映像を閲覧する ・・・78p
【アプリ】カメラを設定する ・・・79p
【アプリ】ホームポジションを設定する ・・・80p
【アプリ】検知機能と設定項目について ・・・81p
【アプリ】動体検知を設定する ・・・82p
【アプリ】標準動体検知を設定する ・・・83p
【アプリ】AI検知機能の設定をする ・・・84-86p
【アプリ】AI検知機能の種類について ・・・87p
【アプリ】AI検知機能の全般設定 ・・・88p
【アプリ】AI検知機能の奥行き設定 ・・・89p
【アプリ】メール通知先を設定する ・・・90-91p
【アプリ】タグを設定する ・・・92p
【アプリ】タグを削除する ・・・93p
【アプリ】タグが設定されたカメラのみを表示する ・・・94p
【アプリ】カメラを検索する ・・・95p
【アプリ】設定画面について ・・・96p
【アプリ】アカウント設定 ・・・97-99p
【アプリ】カメラ設定 ・・・100-102p
【アプリ】再生方法 モード切り替え ・・・103p
【アプリ】360°（全方位）カメラの操作 ・・・104p
【アプリ】360°（全方位）カメラの映像表示切替 ・・・105-108p

はじめに

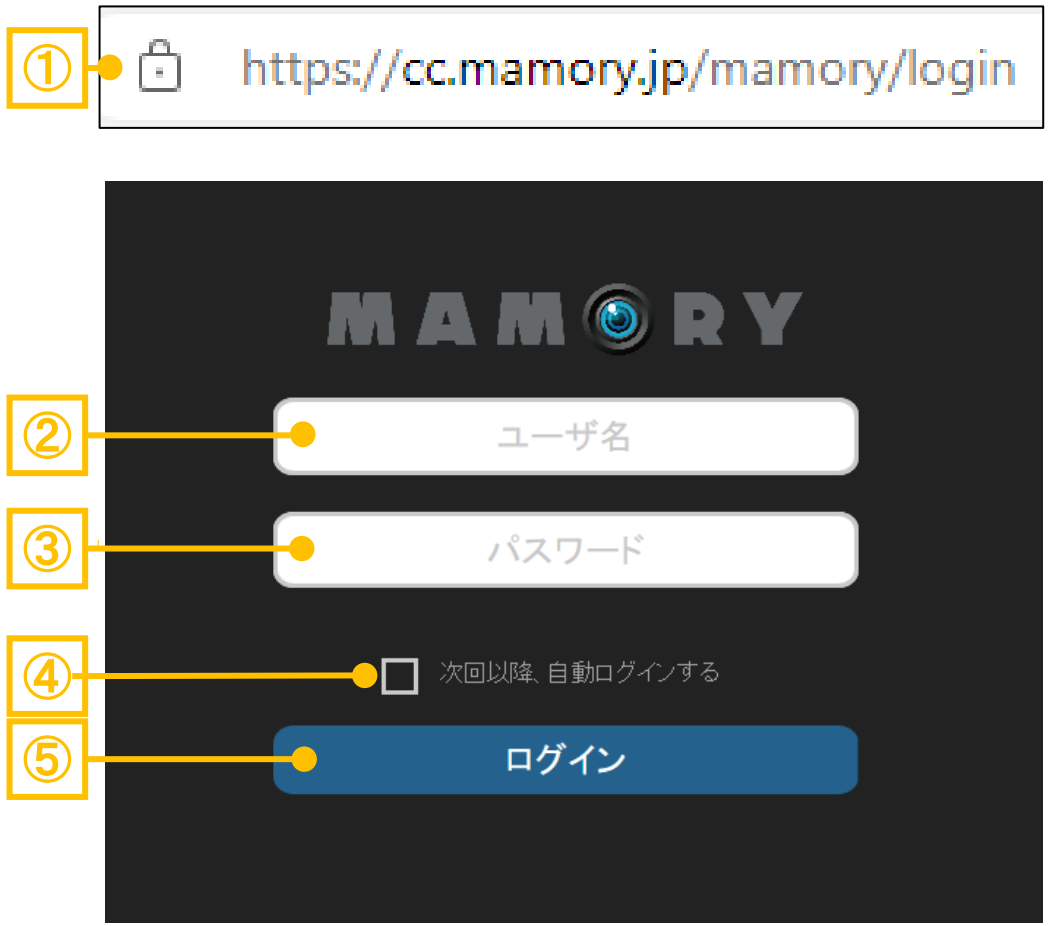


「MAMORY（マモリー）」は電源に挿すだけで、簡単に録画・閲覧ができるクラウドサービス型の監視カメラです。

カメラの映像はブラウザまたは専用アプリから閲覧できます。

対応OS	ブラウザ
Windows 10/11	Edge Chrome

【ブラウザ】ログインする 1/3



カメラ映像の閲覧には、ブラウザ（ Edge, Chrome ）を使用します。

※インターネットに接続できる環境が必要になります。

① ブラウザを開き以下のサイトにアクセスしてください。

https://cc.mamory.jp/

② カメラの管理番号を入力してください。

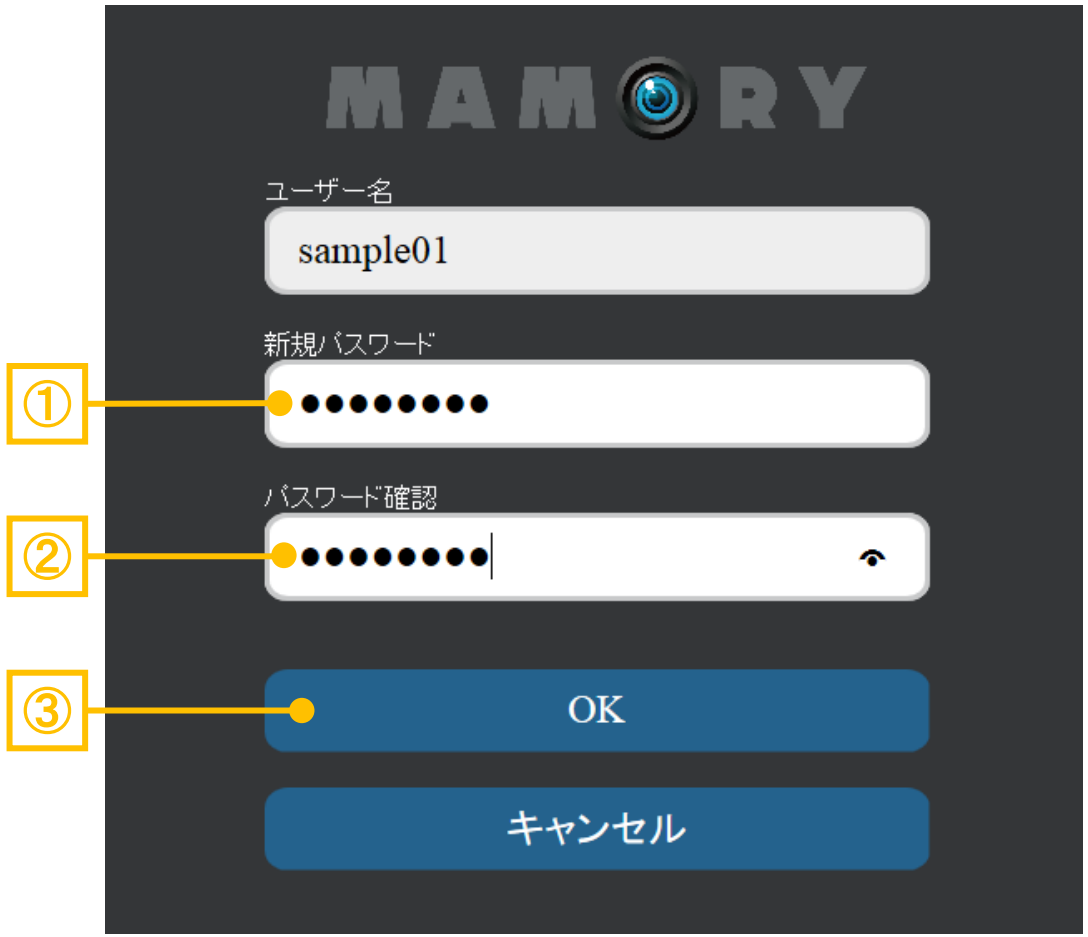
③ 付属の設定情報シートに記載されているパスワードを入力してください。

④ チェックを入れてログインすると、最終ログイン日時から48時間ログイン情報の入力が不要となります。

※同じ端末の同じブラウザを使用する際に有効です。

⑤ 【ログイン】をクリックしてください。

【ブラウザ】ログインする 2/3



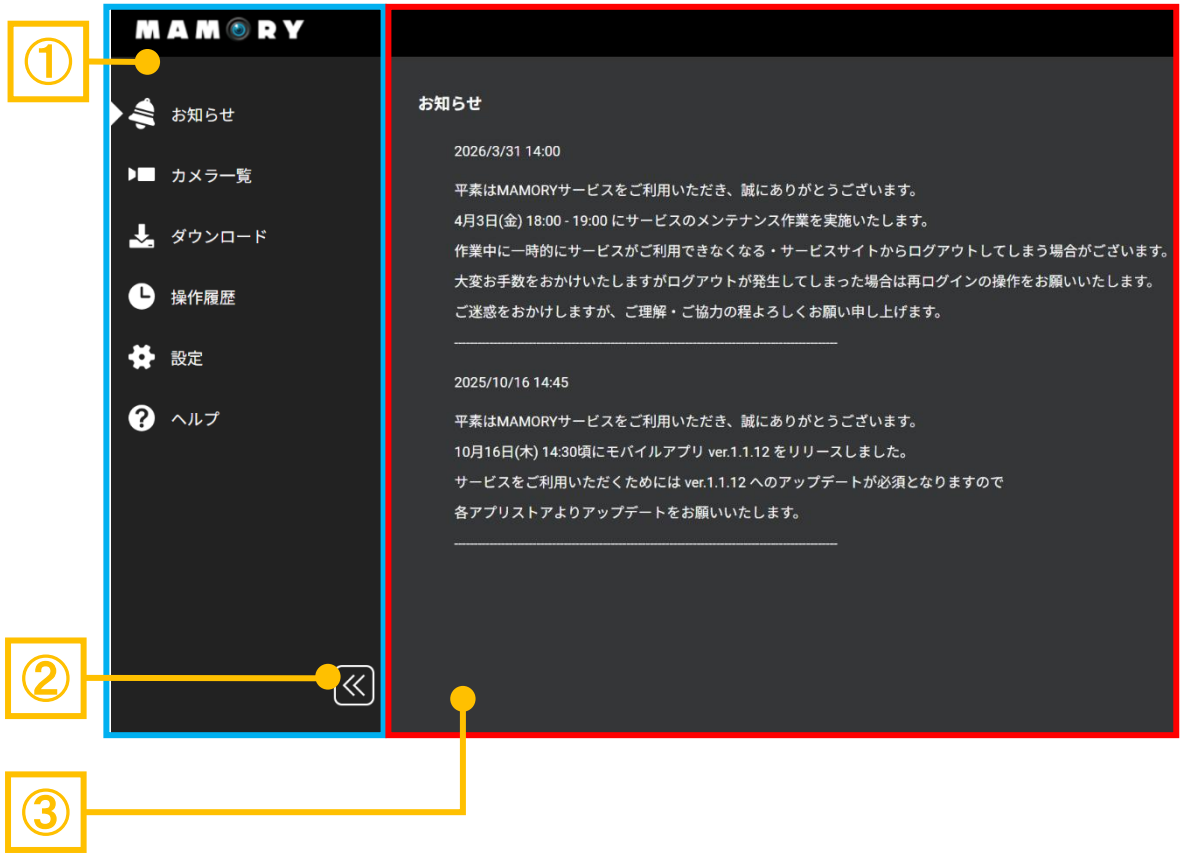
初めてのログイン時はパスワード変更を促されます。

① 半角英数字4桁以上16桁以内で新しいパスワードを入力してください。
※前画面でログインに使用したパスワードと同一のものでも入力可能です。

② 確認のため①と同じパスワードを入力してください。

③ 【OK】をクリックしてください。
※パスワードの変更はログイン後にも実施できます。

【ブラウザ】ログインする 3/3



ログインに成功すると左の画面が表示されます。

① 『メインメニュー』になります。

《お知らせ》 MAMORYシステムに関する情報をお伝えします。

《カメラ一覧》 登録されたカメラの一覧を表示します。

《ダウンロード》 録画ファイル（ダウンロードファイル）の一覧を表示します。ファイルのダウンロードもリストから行います。

《操作履歴》 ログインなどの操作履歴を表示します。

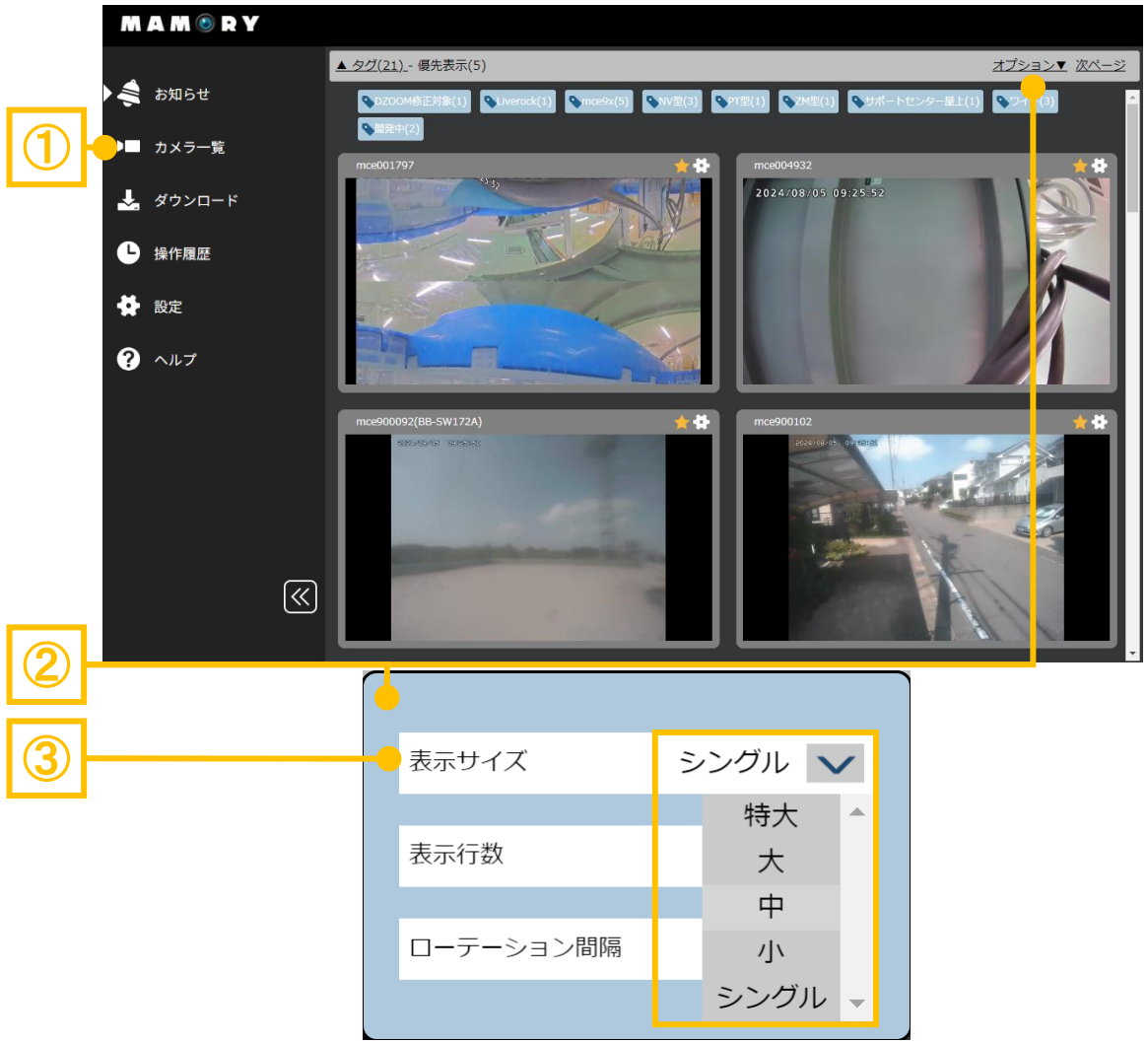
《設定》 ユーザーページの設定画面を表示します。

《ヘルプ》 別ウインドウでヘルプサイトを表示します。

② メインメニューの表示形式を【アイコンとテキスト】,【アイコンのみ】の2種類に切り替えます。

③ 『表示エリア』になります。
メインメニューにある《お知らせ》,《カメラ一覧》,《ダウンロード》,《設定》をクリックすると、対応した画面を表示します。

【ブラウザ】カメラをまとめて閲覧する 1/2



《カメラー覧》では、登録されているカメラをまとめて閲覧することができます。

カメラは名称順で表示され、LIVE映像を再生します。

※1画面に表示しているカメラの台数が増えると映像のフレーム数は低下します。

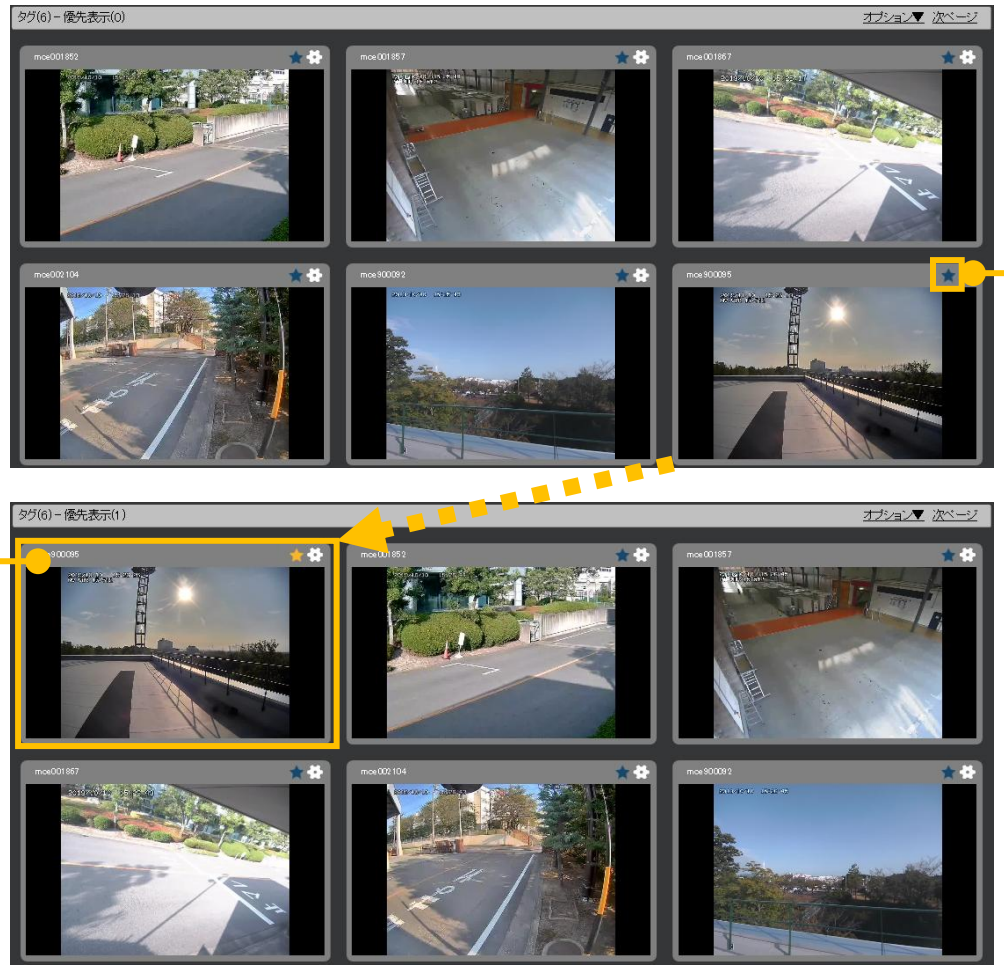
① 《カメラー覧》をクリックしてください。登録されているカメラを『表示エリア』にまとめて表示します。

② 【オプション】にマウスカーソルを合わせると、表示方法を設定するウインドウが展開されます。

③ 『表示エリア』内の映像サイズを【特大/大/中/小/シングル】の5段階で設定できます。

※表示行数とローテーション間隔はローテーション表示中に有効となります。
（9p参照）

【ブラウザ】カメラをまとめて閲覧する 2/2



カメラの優先表示を有効にすると、 そのカメラが先頭に表示されます。

また、後述のローテーション表示するカメラ映像を固定できます。

① 優先表示したいカメラの【☆】をクリックしてください。

② 優先表示を有効にしたカメラが先頭（画面左上）に表示されます。

※ 優先表示は複数台有効にできます。

※ 表示順序は、『☆マーク』 -> 『管理番号』の順番で判定されます。

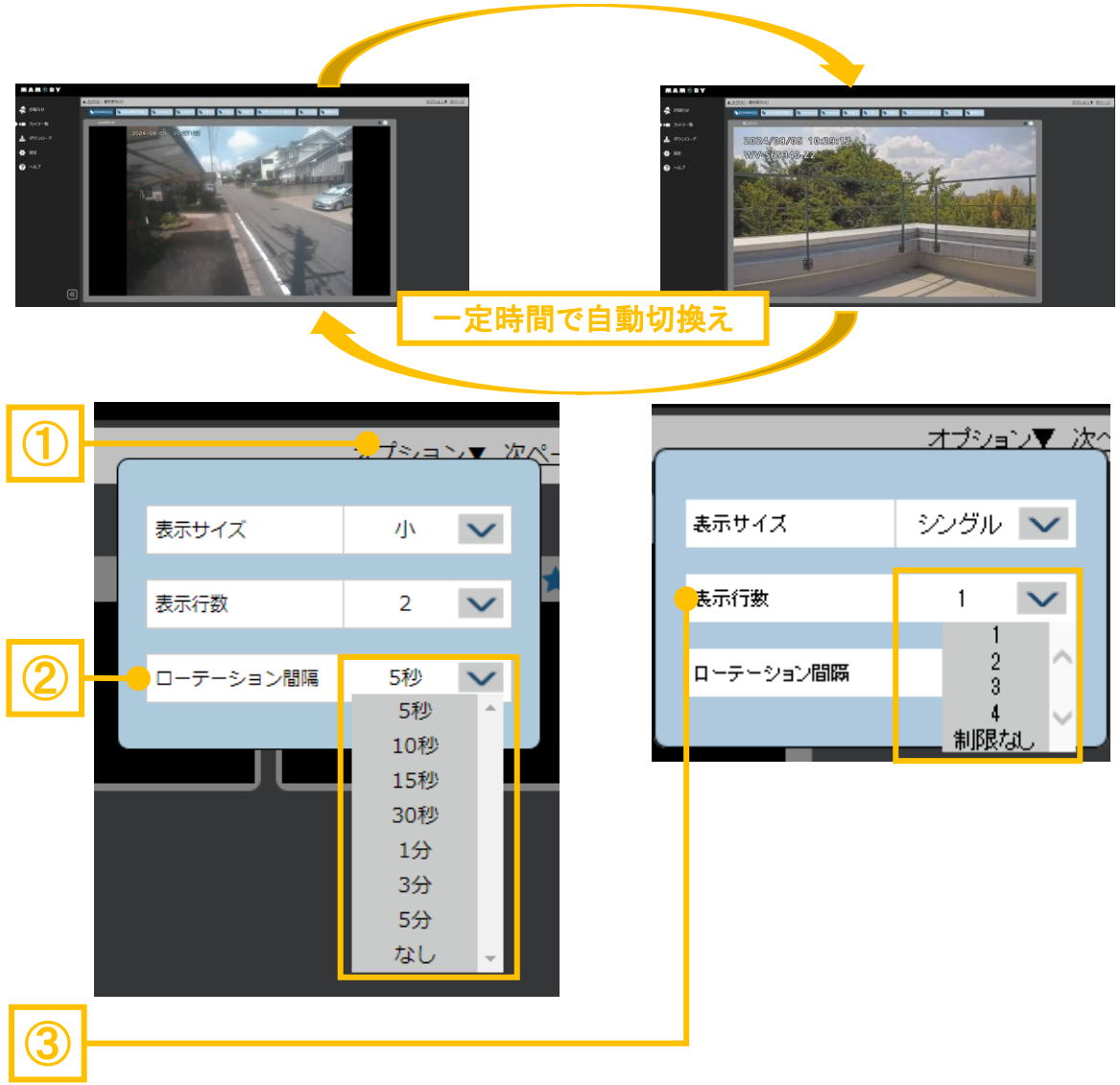
優先度高 ★マーク“有り” + 管理番号が小さい

★マーク“有り” + 管理番号が大きい

☆マーク“無し” + 管理番号が小さい

優先度低 ☆マーク“無し” + 管理番号が大きい

【ブラウザ】カメラをローテーションさせて閲覧する



ローテーション表示を有効にすることで、一度に表示するカメラ映像を一定間隔で変更できます。

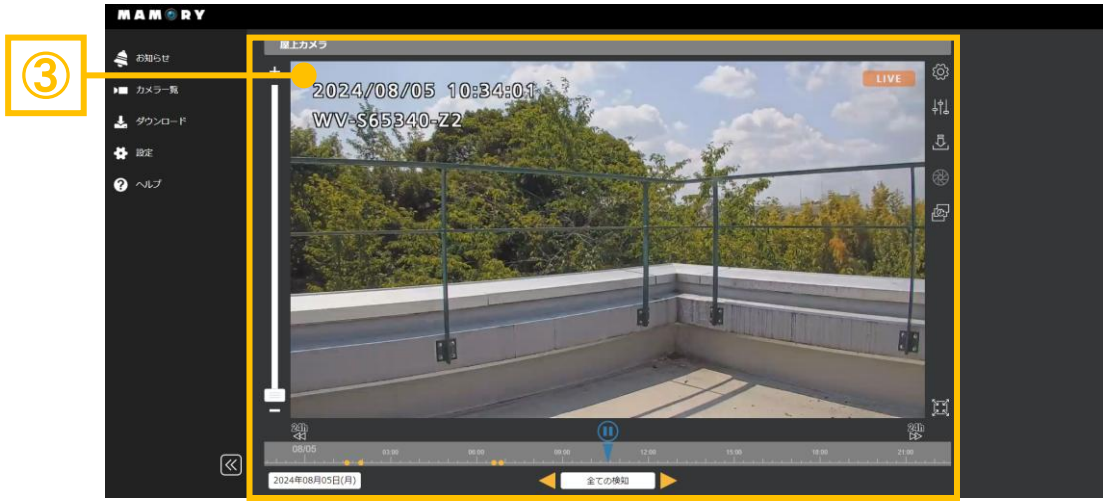
① 【オプション】にマウスカーソルを合わせて、表示方法を設定するウインドウを表示します。

② ローテーション間隔を【5秒/10秒/15秒/30秒/1分/ 3分/ 5分/なし】の8段階で設定できます。
※【なし】の場合、ローテーション表示は無効となります。

③ ローテーション中の表示行数を【1/2/3/4/制限なし】の5段階で設定できます。
※【制限なし】にすると1ページに全て表示するためローテーションは機能しません。

【ブラウザ】カメラの操作画面を表示する





《カメラ一覧》で表示されているカメラパネルをクリックすると、カメラの操作画面に移動します。

操作画面では以下に挙げる操作を実行できます。

・LIVE映像の視聴（全画面表示）
・カメラの操作
・録画映像の視聴/ダウンロード
・スナップショットの撮影
・タイムラプスの設定/ダウンロード

① 《カメラ一覧》をクリックしてください。
② カメラパネルの映像部をクリックしてください。
③ カメラの操作画面に遷移します。

【ブラウザ】カメラ操作画面 各部名称一覧



[360°（全方位）カメラの操作については、64-70pをご参照ください。]

カメラ操作画面の各部名称になります。

動作の詳細は各ページをご参照ください。

① カメラ名称

② カメラ映像

③ 拡大表示スライダー ・・・12p

④ 再生/停止ボタン

⑤ 録画再生時刻スライダー ・・・13p

⑥ LIVE/録画映像表記

⑦ カメラ設定画面表示ボタン ・・・14-41p

⑧ カメラ操作パネル表示ボタン ・・・42-46p

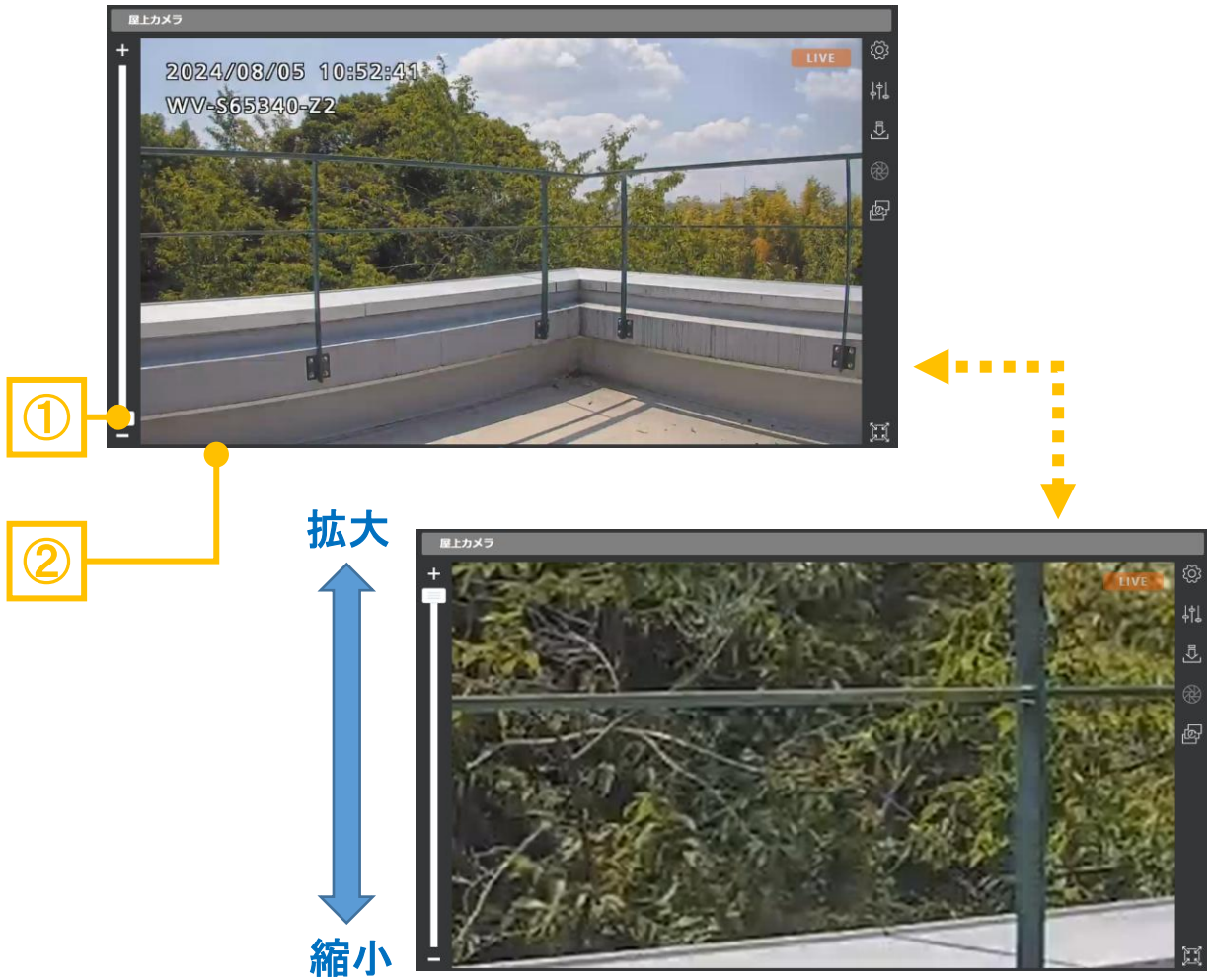
⑨ カメラ映像ダウンロードボタン ・・・47-54p

⑩ スナップショットボタン ・・・55-57p

⑪ タイムラプス表示ボタン ・・・58p

⑫ 全画面再生ボタン ・・・59p

【ブラウザ】カメラの映像を拡大する



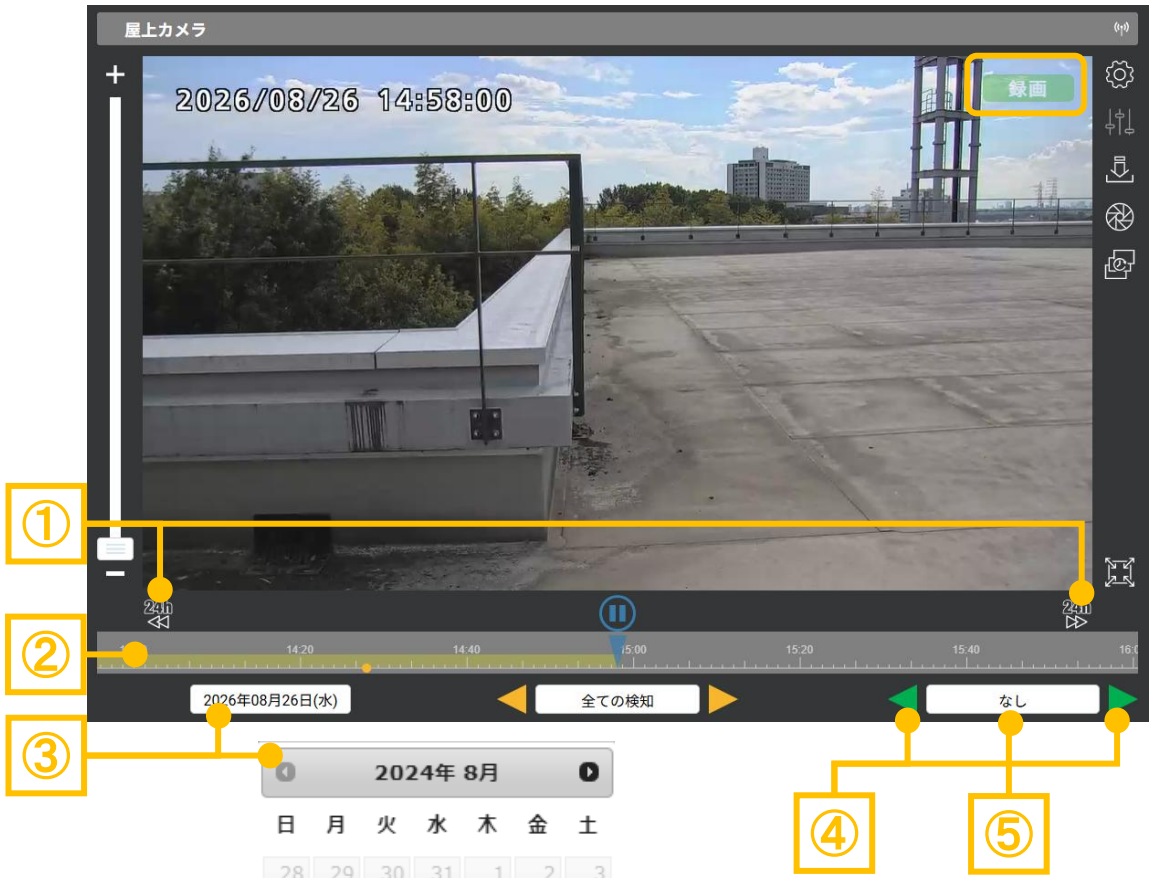
拡大表示スライダーを操作することで、カメラ映像を拡大できます。（マウスホイールでも拡大操作可能）
また、拡大表示中に映像をドラッグすることで、拡大している領域を移動できます。

① スライダーをドラッグすると映像の中央を拡大します。

② 映像の任意の場所にマウスカーソルを置き、マウスホイールを操作することで、カーソルの位置を中心にして拡大できます。

※ ①，②のいずれも拡大表示となります（比例して画像は荒くなります）。

【ブラウザ】カメラの録画映像を閲覧する



過去の時刻を選択することで、録画映像を閲覧できます。録画再生中は、映像右上に『録画』と表示されます。

また、録画再生中に映像右上の『録画』部をクリックすると、LIVE再生に切り替わり『LIVE』に表示が変わります。

時刻は以下の方法で選択できます。

① 左右に配置された【24h】のアイコンをクリックすると、再生する録画映像を24時間前/後に移動します。

② スライダーをドラッグすると、録画再生する時刻を変更できます。

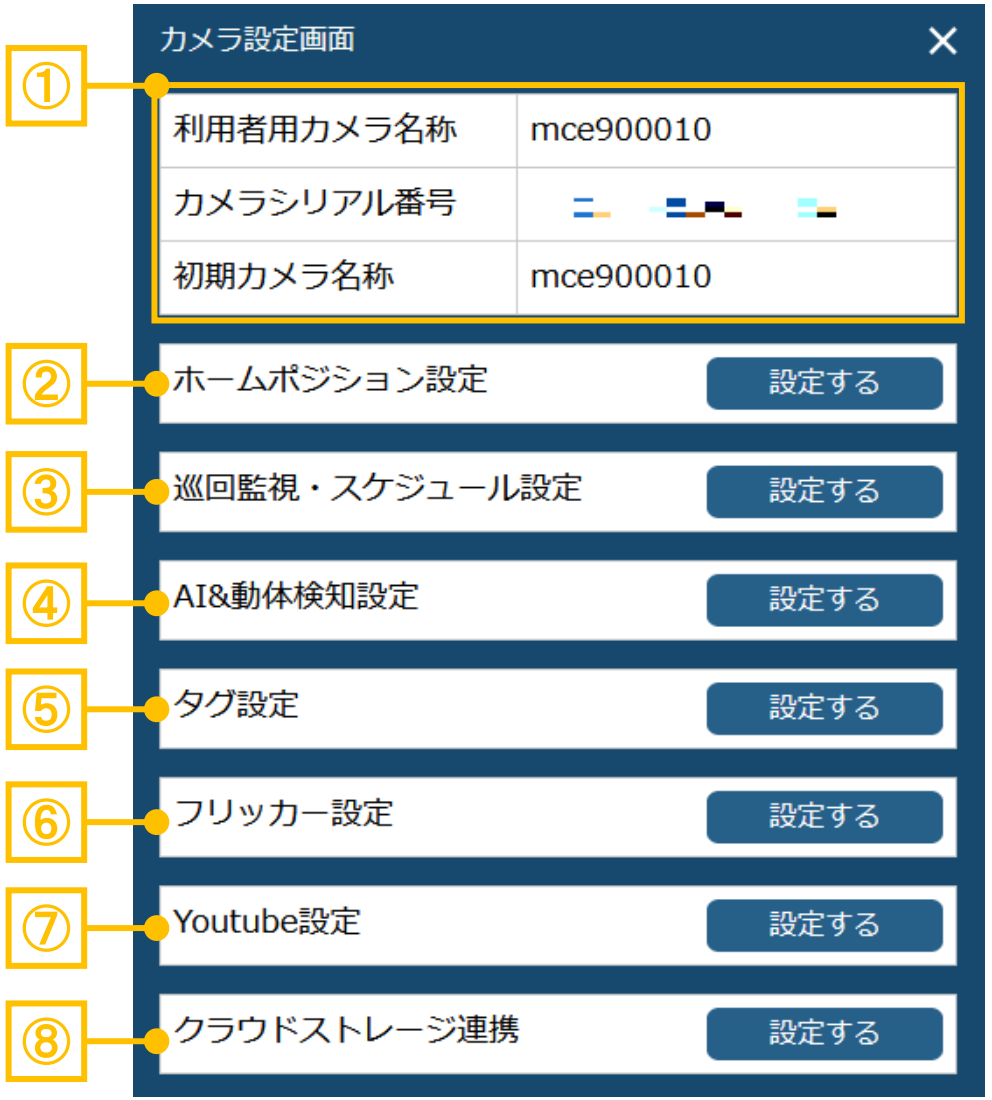
③ カレンダーを表示します。日付を選択するとその日の録画映像を再生します。

④ スケジュールに登録した曜日の録画時間にスキップします。

⑤ 登録済みの画角と機能一覧が表示されます。

※④,⑤はMCF-NZ01にのみ搭載されている機能です。

【ブラウザ】カメラの設定画面を表示する



《カメラー覧》画面またはカメラ操作画面で　を
クリックするとカメラの設定画面を表示します。

① 利用者カメラ名称，カメラシリアル番号，初期カメラ名称が確認できます。

② カメラの向き，明度，ズーム倍率などを一定時間経過後に元の状態に戻す設定です。 ・・・15p

③ 巡回監視・スケジュール設定 ・・・16-21p

★④ AI検知および動体検知に関する設定です。 ・・・22-38p
※AI機能非対応のカメラでは動体検知のみが設定可能です。

⑤ カメラに登録するタグの設定です。 ・・・39p

⑥ 映像のちらつきを抑制する設定です。 ・・・40p

★⑦ YouTubeLiveでカメラの映像を配信するための設定です。 ・・・41p

★⑧ 利用者様が所有しているクラウドストレージを保存先として連携させるための設定です。
※本機能のご利用を希望される方は当社営業までお問い合わせください。

※「★」が付いている項目は、アカウント名と初期カメラ名称が同一の場合にのみ設定可能です。

【ブラウザ】ホームポジションを設定する



ホームポジション設定では、カメラの向き，明度，ズーム，フォーカス等を設定して、任意の時間に自動復帰させる設定ができます。

※ PT型、ZM型、NZ型に搭載されている機能です。
※ カメラの種類によって操作できる項目は異なります。

① 明度を変更できます。

② フォーカスを自動調整します。【ZM型/NZ型】

③ 光学ズームを実施します。

④ 縦方向にカメラを移動させます。

⑤ 横方向にカメラを移動させます。

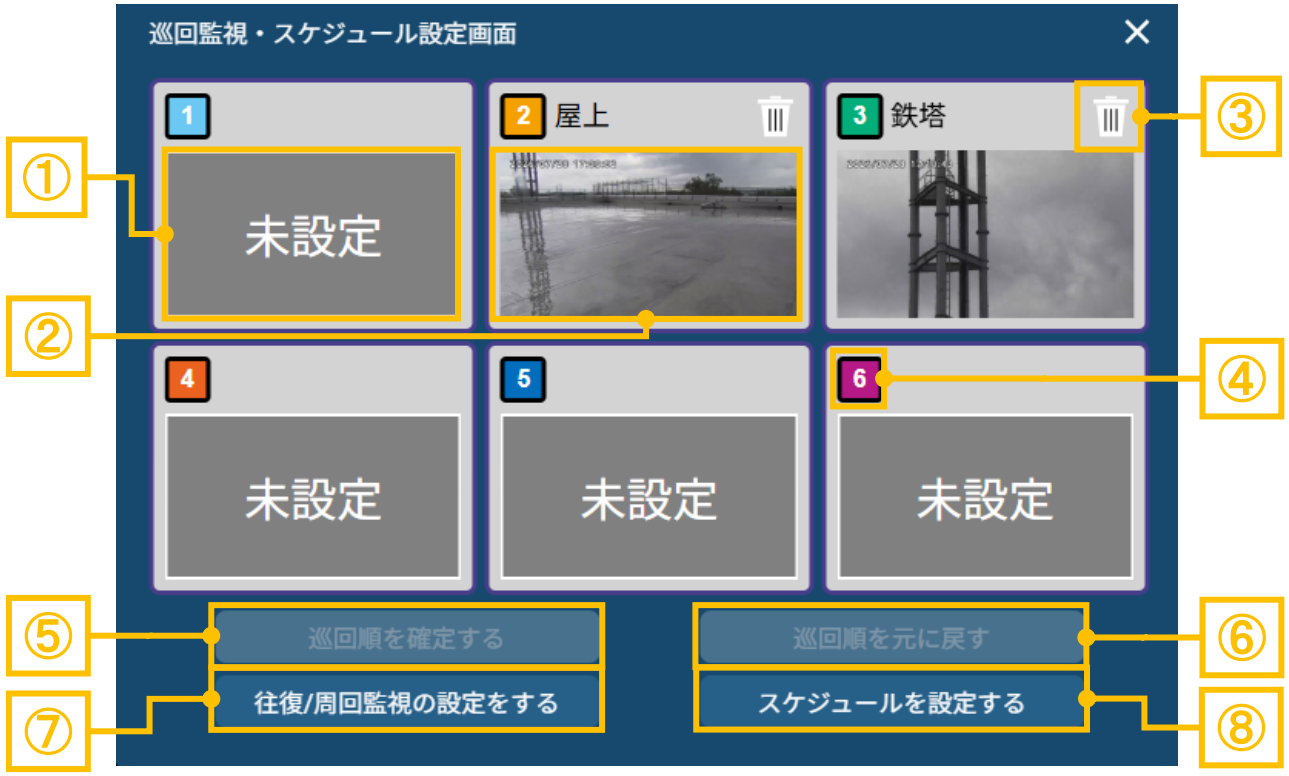
⑥ より直感的にカメラを操作できます。【ZM型/NZ型】
…44-46p参照

⑦ ホームポジションのON/OFFを設定します。

⑧ 復帰時間を選択します。

⑨ ①～⑧の内容を反映します。

【ブラウザ】巡回監視･スケジュール機能の設定をする



巡回監視･スケジュール設定は、登録した画角と1時間単位で設定可能なスケジュールに従って監視させる機能になります。

※ NZ型のみに搭載されている機能です。

① 画角を登録することが出来ます。 …17p

② 登録済み画角の情報を変更することができます。…17p

③ 登録済み画角を削除することができます。

④ 数字をクリックするかドラッグアンドドロップ操作によって巡回順の変更が可能です。

⑤ ④の操作を行った後に巡回順を確定させます。

⑥ ⑤にて確定する前の状態まで巡回順を戻します。

⑦ 往復／周回監視設定画面に遷移します。 …18-20p

⑧ スケジュール設定画面に遷移します。 …21p

【ブラウザ】巡回監視する画角を登録する



画角設定画面の操作説明になります。

※ NZ型のみに搭載されている機能です。

① 明度を変更します。
② フォーカスを調整します。
③ 光学ズームを実施します。
④ 縦方向にカメラを移動させます。
⑤ 横方向にカメラを移動させます。
⑥ より直感的なカメラ操作が可能です。…44-46p参照
⑦ 画角に名称をつけることができます。
⑧ 現在の設定を保存して、元の画面へ戻ります。
⑨ 設定途中の内容を破棄して、元の画面へ戻ります。

【ブラウザ】往復/周回監視の設定をする 1/3



往復周回監視設定確認画面の操作説明になります。
※ NZ型のみに搭載されている機能です。

① 往復周回監視の設定状態を見ることができます。

② 元の画面へ戻ります。

③ 設定した動作を確認することができます。
※なんらかの方法で動作を止めない限り動き続けるためご注意ください。

④ ③で開始した動作テストを停止させます。

⑤ 往復周回監視設定画面へ遷移します。

＞次ページへ続く

【ブラウザ】往復/周回監視の設定をする 2/3

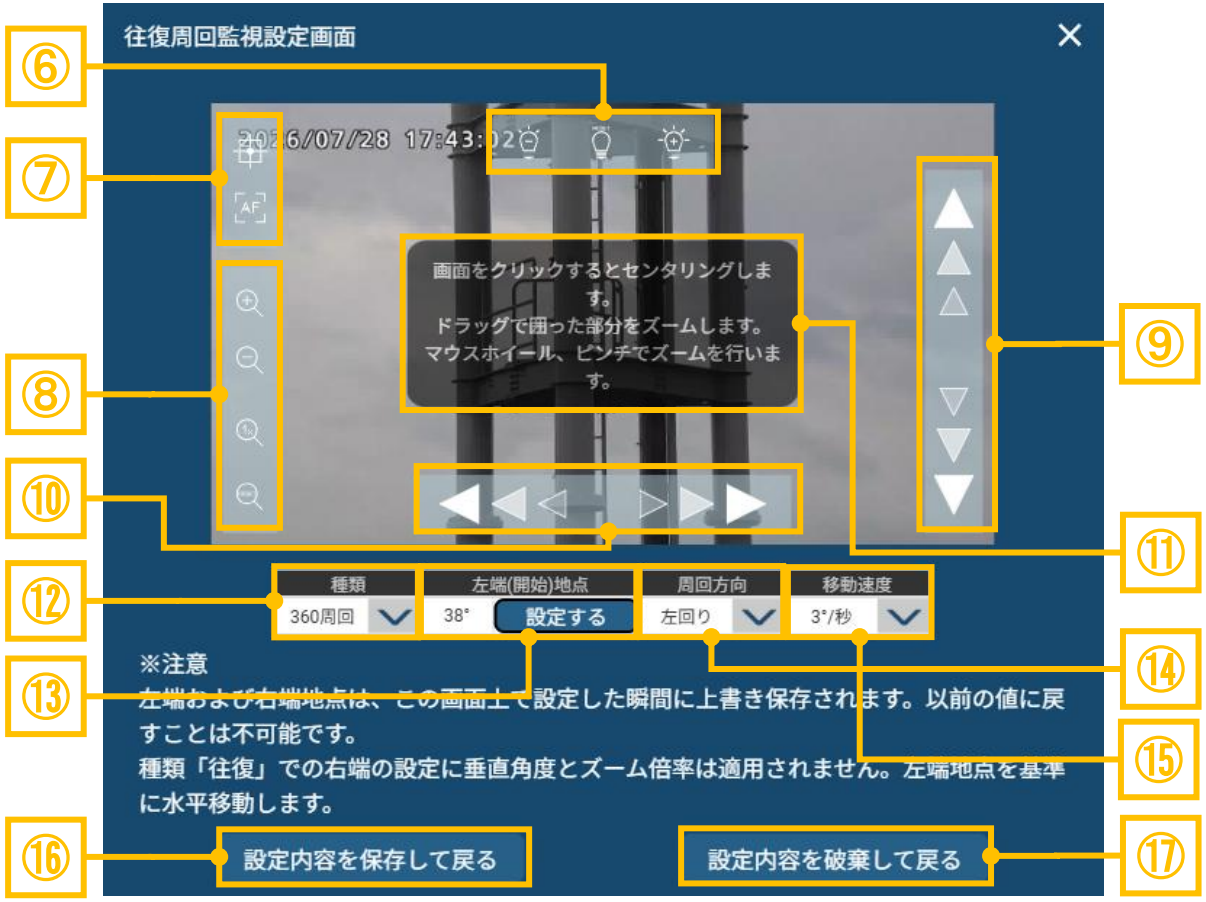


種類:往復を選択中の画面

前ページからの続き

⑥ 明度を変更します。
⑦ フォーカスを調整します。
⑧ 光学ズームイン/アウトを行います。
⑨ 縦方向にカメラを移動させます。
⑩ 横方向にカメラを移動させます。
⑪ より直感的にカメラを操作できます。…44p-46p参照
⑫ 往復あるいは360°周回のいずれかを選択できます。
⑬ 現在の画角を往復開始地点(左端)として登録します。
⑭ 現在の画角を往復終了地点(右端)として登録します。
⑮ 移動速度を【3°/秒, 5°/秒, 7°/秒, 10°/秒, 13°/秒, 18°/秒】から選択できます。
⑯ 往復開始地点/終了地点に到達した際に一時停止する時間を【0秒/1秒/2秒/3秒/5秒/10秒/15秒/20秒/30秒】から選択できます。
⑰ 現在の設定を保存して、元の画面へ戻ります。
⑱ 設定中の内容を破棄して、元の画面へ戻ります。

【ブラウザ】往復/周回監視の設定をする 3/3

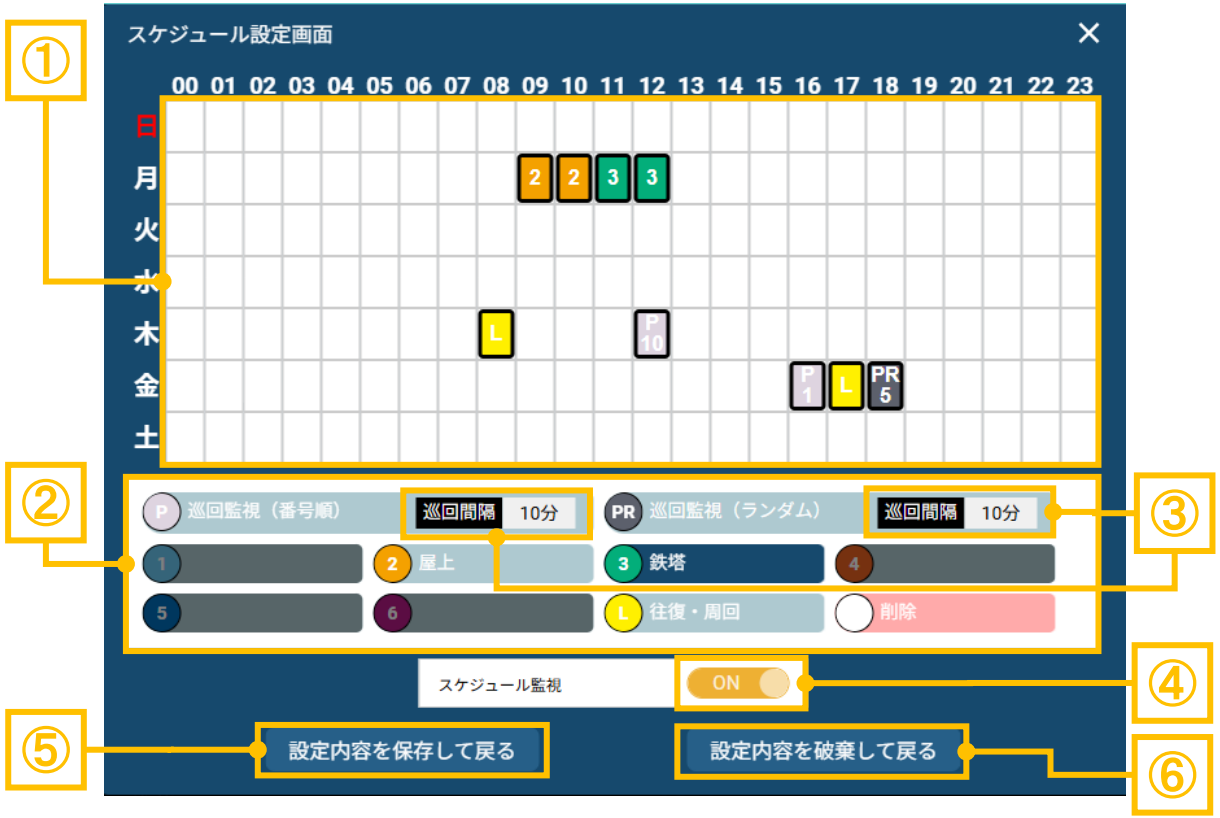


種類:360°周回を選択中の画面

前ページからの続き

⑥ 明度を変更します。
⑦ フォーカスを調整します。
⑧ 光学ズームイン/アウトを行います。
⑨ 縦方向にカメラを移動させます。
⑩ 横方向にカメラを移動させます。
⑪ より直感的にカメラを操作できます。…44-46p参照
⑫ 【往復/360°周回】いずれかの種類を選択できます。
⑬ 現在の画角を周回開始地点として登録できます。
⑭ 【左回り/右回り】いずれかの周回方向を選択できます。
⑮ 移動速度を【3°/秒, 5°/秒, 7°/秒, 10°/秒, 13°/秒, 18°/秒】から選択できます。
⑯ 現在の設定を保存して、元の画面へ戻ります。
⑰ 設定中の内容を破棄して、元の画面へ戻ります。

【ブラウザ】巡回監視・スケジュールを設定する



スケジュール設定画面の説明です。

※ NZ型のみに搭載されている機能です。

① 各曜日の各時間帯(コマ)に登録された情報を24×7のカレンダーで表示しています。
スケジュールの確認と登録ができます。

② 機能名あるいは画角名称をクリックして選択済みの状態にしてから、①カレンダーのコマを選択することでスケジュールに登録することができます。
※ドラッグアンドドロップ操作によって複数選択が可能です。

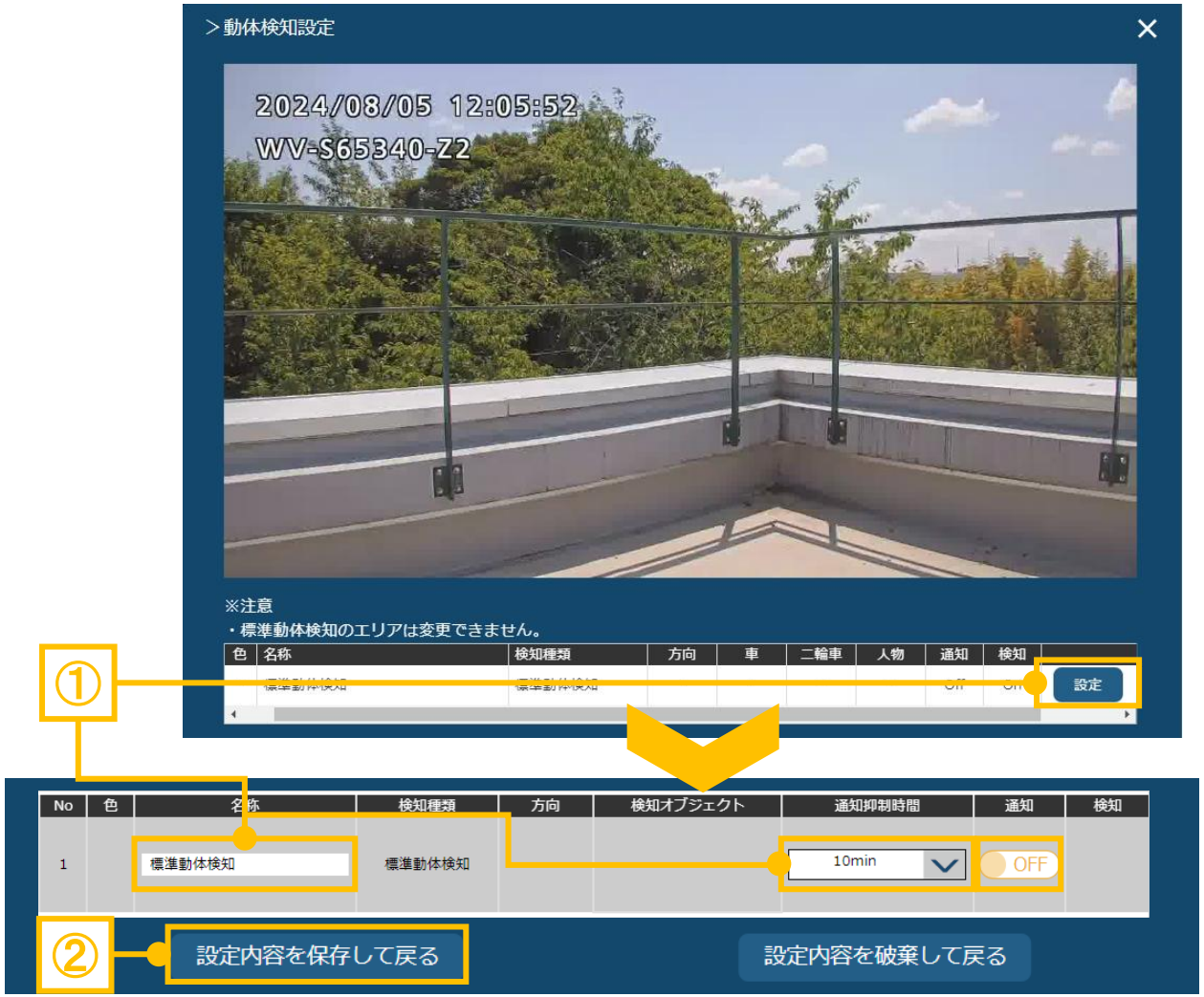
③ 1分から30分まで1分刻みで巡回間隔を変更できます。
番号順とランダムで個別に時間設定が可能です。

④ スケジュール監視のON(有効)/OFF(無効)を切り替えます。

⑤ 現在の設定を保存して、元の画面へ戻ります。

⑥ 設定中の内容を破棄して、元の画面へ戻ります。

【ブラウザ】標準動体検知を設定する



通常、MAMORYでは映像内で動く物体を検知する「標準動体検知」が働いています。

① 【設定】をクリックすることで標準動体検知の設定メニューを表示します。

『名称』: 名称を変更することができます。

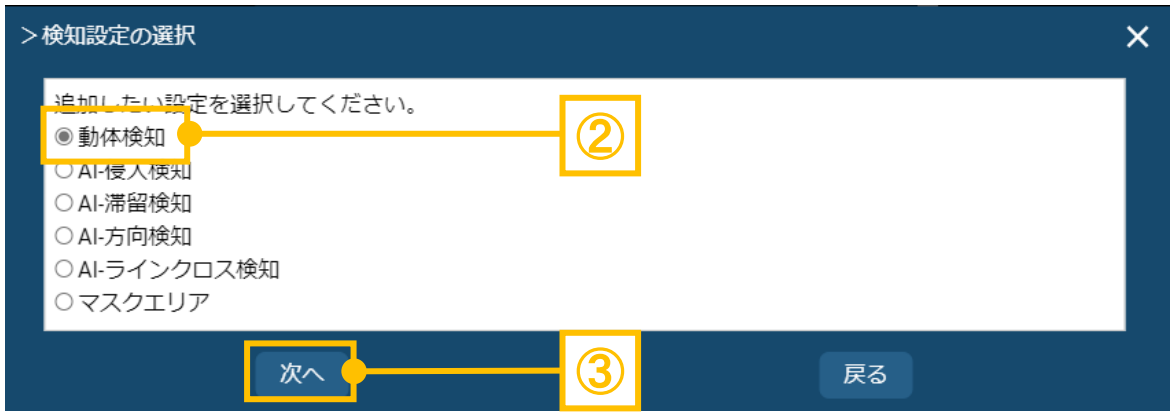
『通知抑制時間』:通知抑制時間を変更することができます。
メール通知後、動体検知時に再度メールが送られるようになるまでの間隔を指定します。
【指定しない】を選択すると検知するたびに通知メールが届きます。

『通知』: メール通知のON/OFFが設定できます。

② 【設定内容を保存して戻る】をクリックすることで標準動体検知の設定を保存して元の画面へ戻ります。

【ブラウザ】動体検知を追加する 1/3





「標準動体検知」とは別に、利用者様によって
もうひとつ動体検知を追加することができます。

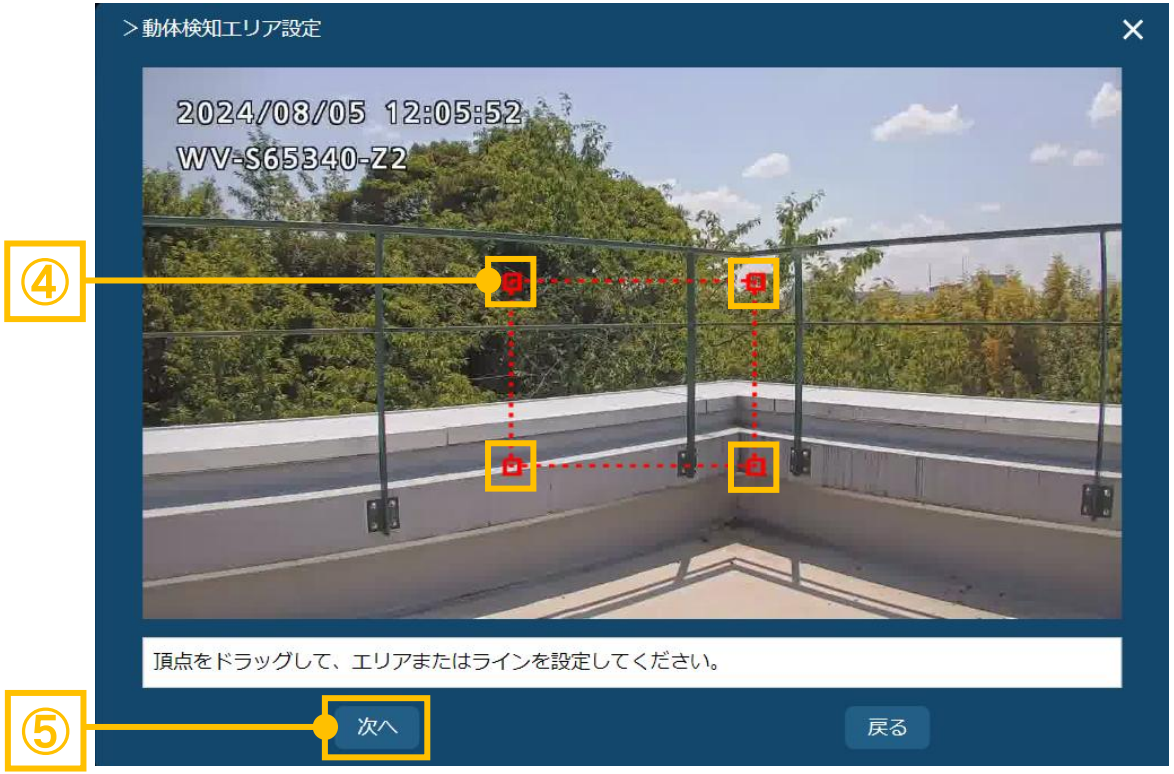
① 【新規追加】をクリックします。
※AI機能非対応カメラの場合は、このまま次ページへ進んでください。

② 動体検知のラジオボタンにチェックを入れます。

③ 【次へ】をクリックすると、検知エリアの設定に進みます。

＞次ページへ続く

【ブラウザ】動体検知を追加する 2/3



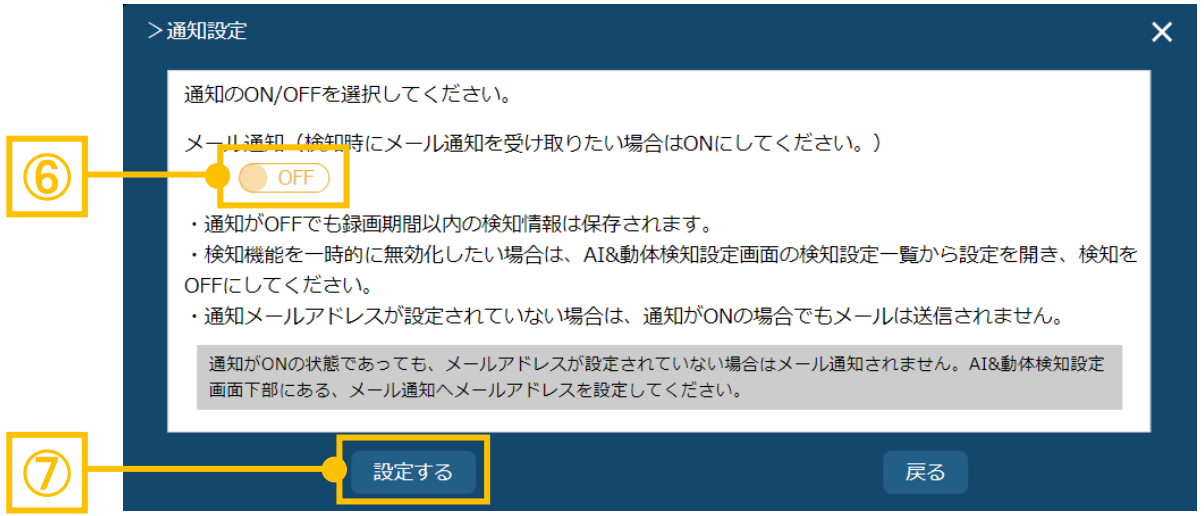
前ページからの続き

④ 画面上に赤い点線で作られた四角形の囲みの頂点をドラッグして、動体検知するエリアを指定します。

⑤ 【次へ】をクリックすると、通知設定へ進みます。

＞次ページへ続く

【ブラウザ】動体検知を追加する 3/3

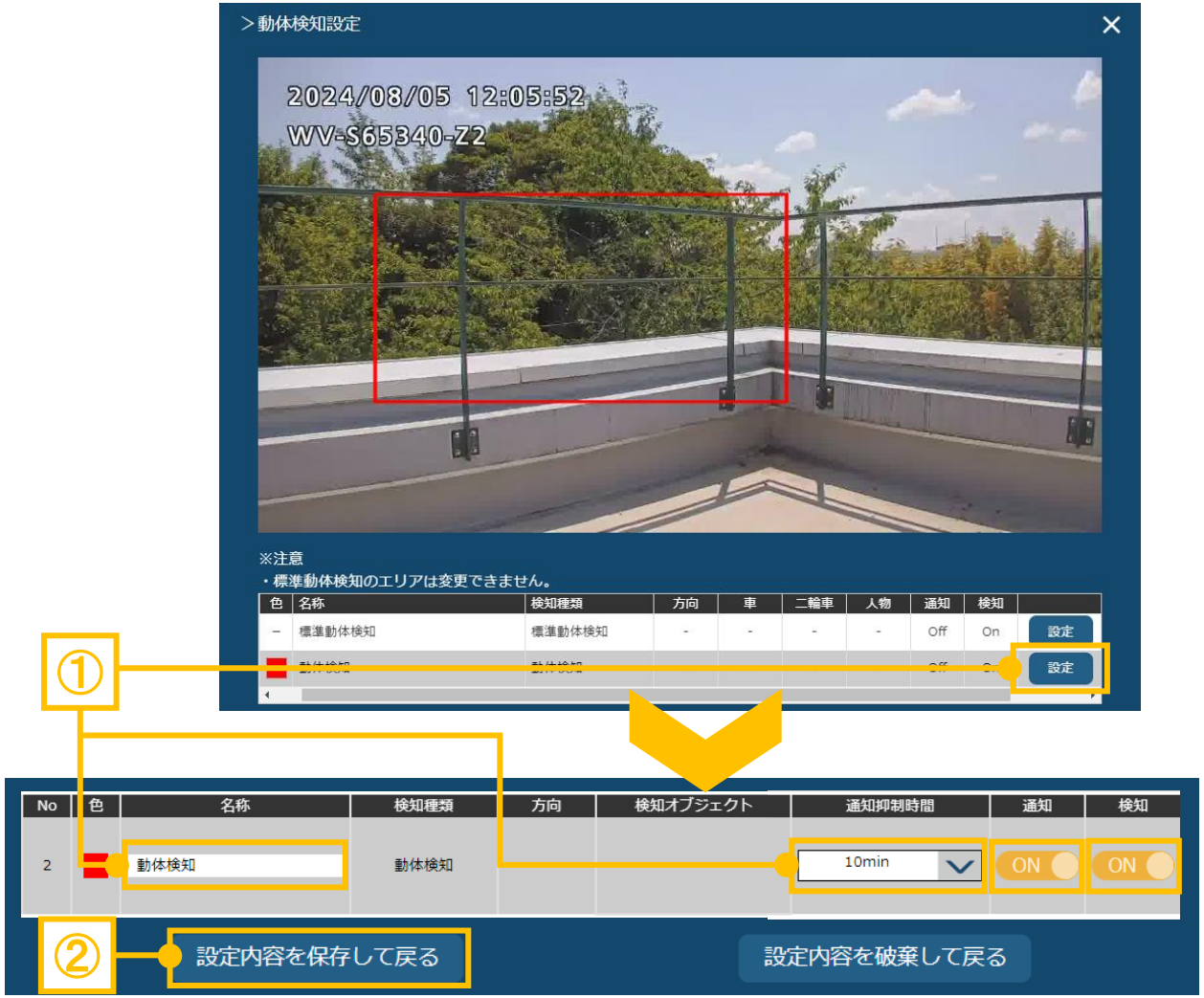


前ページからの続き

⑥ メール通知のON/OFFをスイッチできます。
メールアドレスの設定方法は38pをご参照ください。

⑦ 【設定する】をクリックすることで、設定が保存されます。

【ブラウザ】動体検知の設定を変更する



利用者様が設定された動体検知の設定変更方法を説明します。

① 【設定】をクリックすることで動体検知の設定メニューを表示します。

『名称』: 名称を変更することができます。

『通知抑制時間』:通知抑制時間を変更することができます。
メール通知後、動体検知時に再度メールが送られるようになるまでの間隔を指定します。
【指定しない】を選択すると検知するたびに通知メールが届きます。

『通知』: メール通知のON/OFFをスイッチできます。
メールアドレスの設定方法は38pをご参照ください。

『検知』: 検知のON/OFFをスイッチできます。

② 【設定内容を保存して戻る】をクリックすると、動体検知の設定を保存して元の画面へ戻ります。

【ブラウザ】動体検知の検出感度を変更する



利用者様が設定された動体検知の検出感度を変更する方法を説明します。

※標準動体検知の検出感度については変更できません。

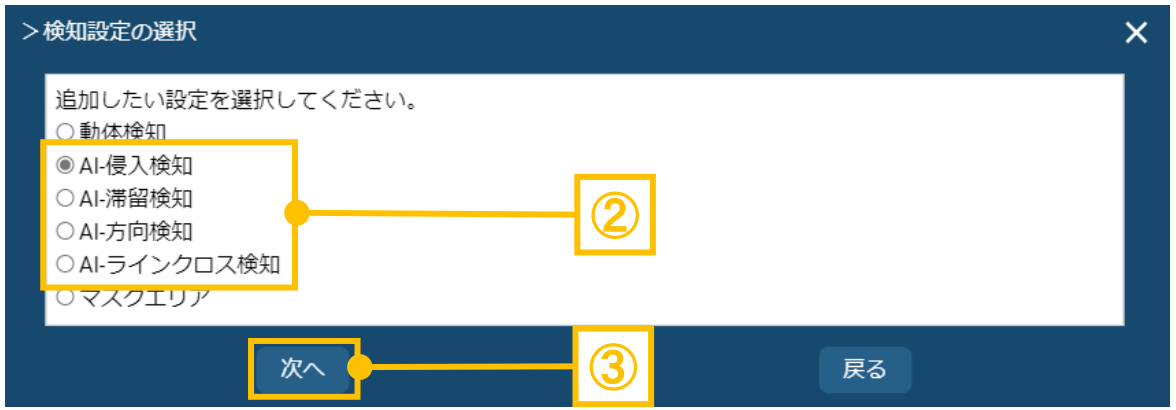
① 【全般設定】をクリックします。

② 検出感度を【弱め/標準/強め】の中から選択します。

③ 【設定内容を保存して戻る】をクリックすると、選択した検出感度が動体検知設定全体に反映されます。

【ブラウザ】AI検知機能を追加する 1/4





MAMORYのAI検知対応カメラでは、4種類のAI検知機能が設定可能です。

※4種類のAI検知が累計で8つまで設定可能です。

① 【新規追加】をクリックします。

② 追加したい設定のラジオボタンにチェックを入れます。

「AI−侵入検知」:
指定エリアに検知対象が侵入したことを検出します。

「AI−滞留検知」:
指定エリア内に留まり続ける検知対象を検出します。

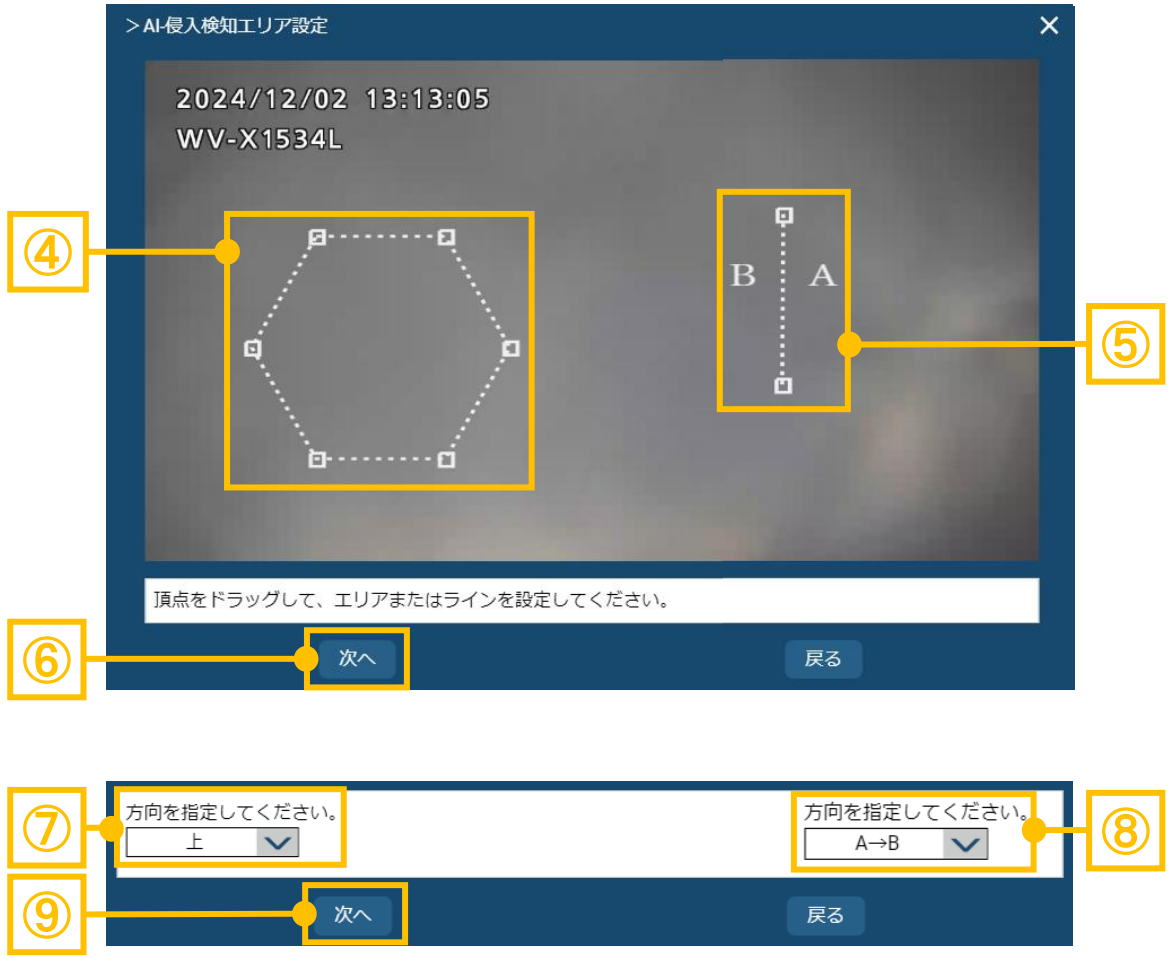
「AI−方向検知」:
指定エリア内で一定方向に移動している検知対象を検出します。

「AI−ラインクロス検知」:
設定ラインを検知対象が指定方向に通り過ぎた際に検出します。

③ 【次へ】をクリックすると、検知エリアの設定に進みます。

＞次ページへ続く

【ブラウザ】AI検知機能を追加する 2/4



前ページからの続き

④ 六角形の頂点(□)と点線(…)に対してドラッグ&ドロップ操作をして、AI検知機能を適用する範囲を指定します。

⑤ 線の頂点(□)と点線(…)に対してドラッグ&ドロップ操作をして、AI検知機能を適用するラインを選択します。
※AI-ラインクロス検知を選択した場合のみの設定です。

⑥ 【次へ】をクリックします。
※AI-侵入検知かAI-滞留検知を選択している場合は次ページへ進んでください。

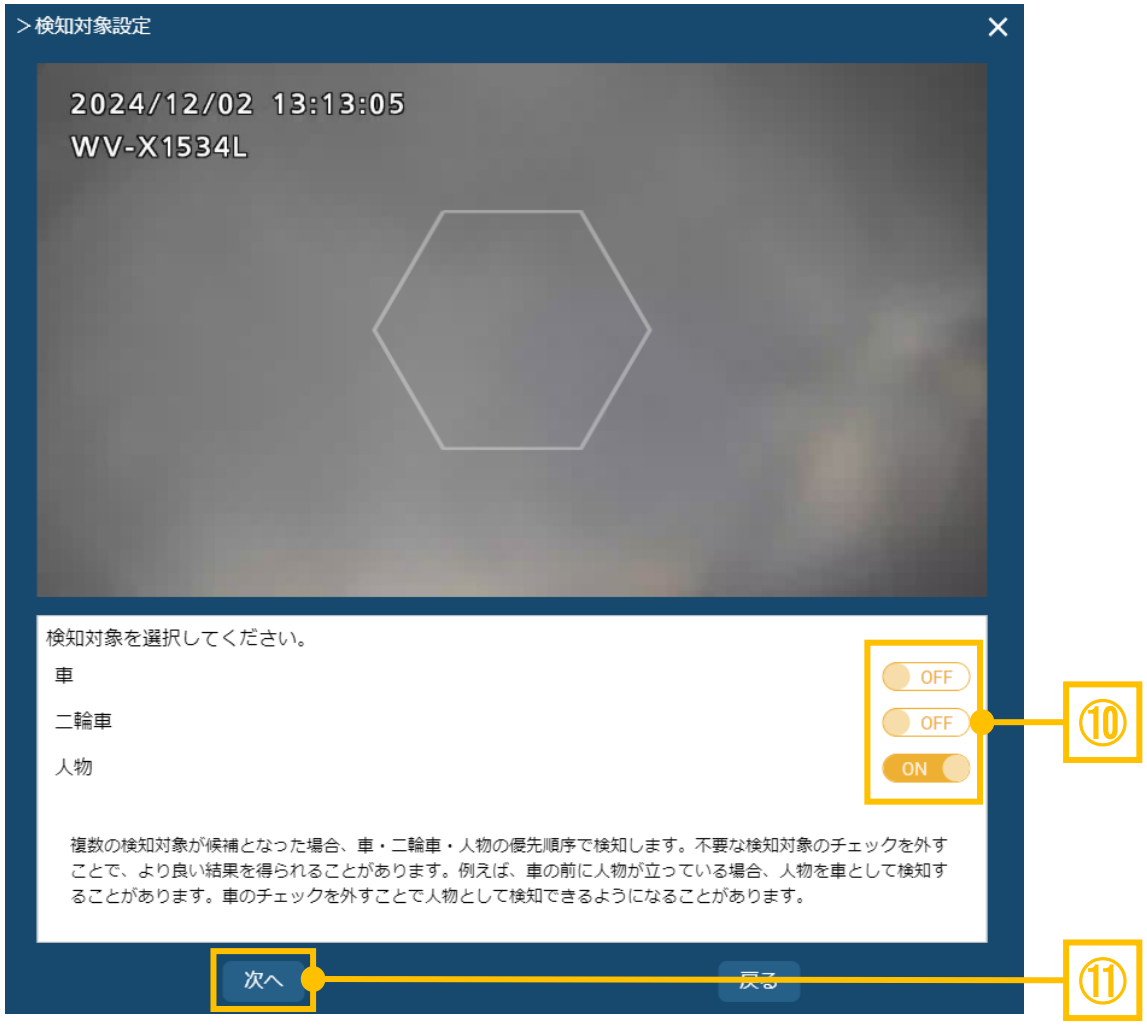
⑦ 「AI-方向検知」を選択している場合は、検知対象の移動方向を8方向の中から指定してください。

⑧ 「AI-ラインクロス検知」を選択している場合は、検知対象の移動方向を【A→B】【B→A】【A⇔B】の中から指定してください。

⑨ 【次へ】をクリックします。

＞次ページへ続く

【ブラウザ】AI検知機能を追加する 3/4



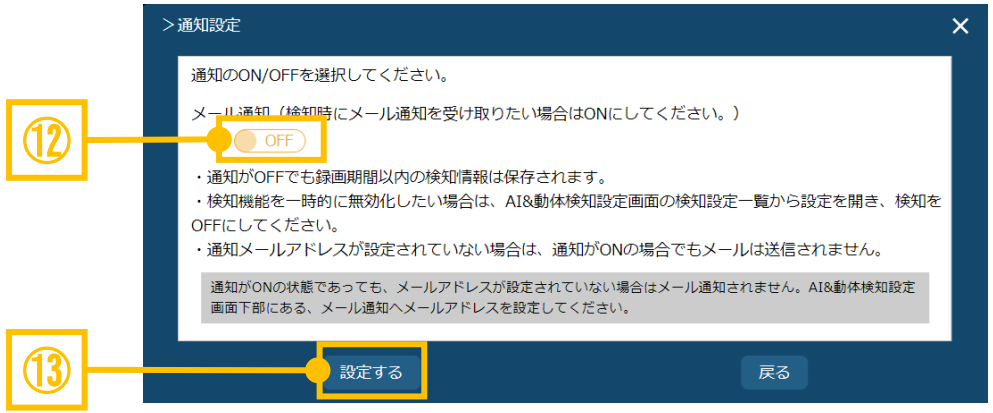
前ページからの続き

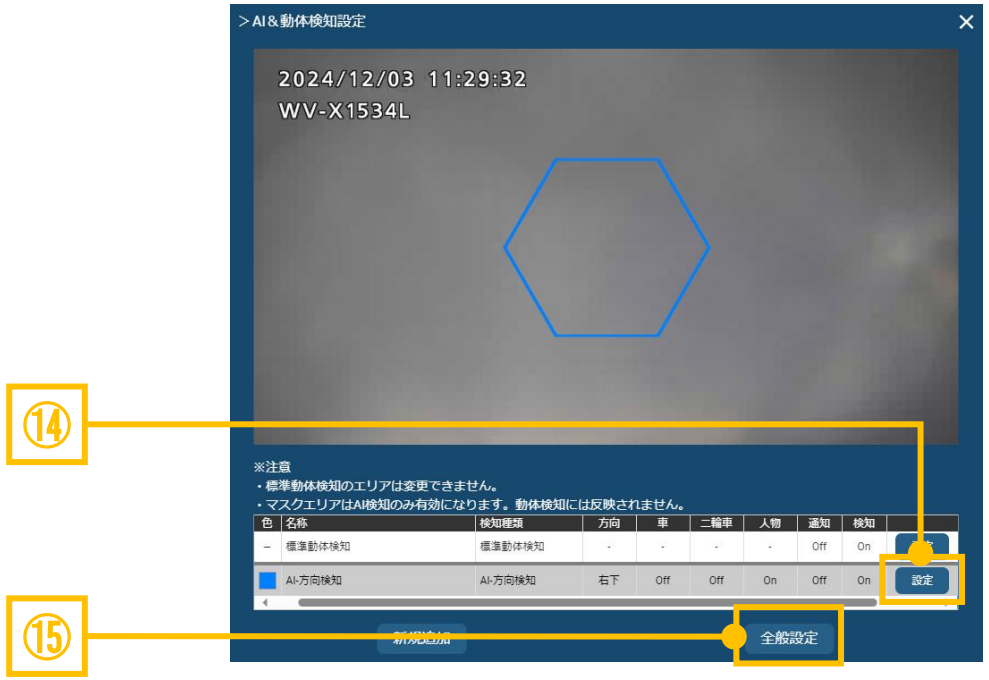
⑩ ON/OFFを切り替えることで、検知対象を【車】【二輪車】【人物】の中から自由に組み合わせて設定することができます。

⑪ 【次へ】をクリックします。

＞次ページへ続く

【ブラウザ】AI検知機能を追加する 4/4





前ページからの続き

⑫ メール通知のON/OFFをスイッチできます。
メールアドレスの設定方法は38pをご参照ください。

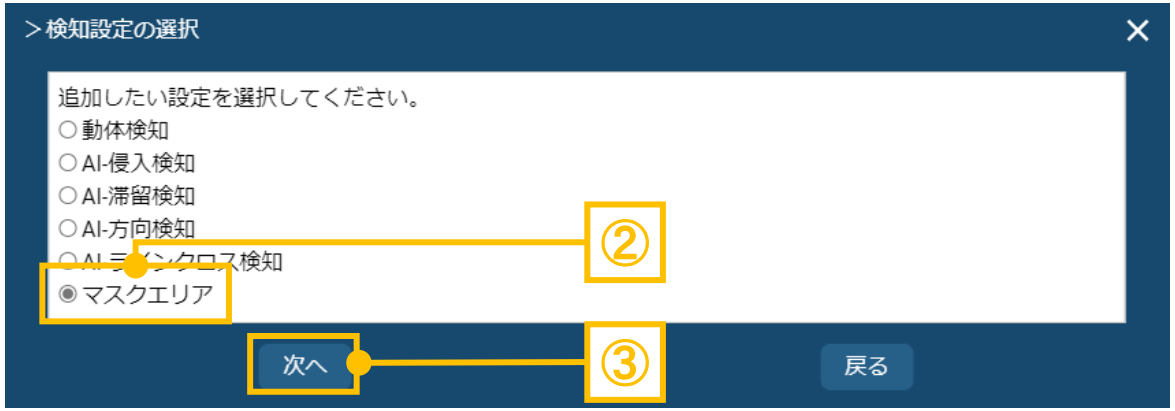
⑬ 【設定する】をクリックすることで、設定が保存されます。
※ 通信不良によって設定が正しく登録されない場合があります。
以下⑭の操作を実施して個別設定画面に遷移し、
「設定内容を保存して戻る」を押して再登録をお試しください。

⑭ 各設定項目の【設定】をクリックすると、個別に設定変更ができます。 ・・・34p

⑮ 【全般設定】をクリックすると、AI検知に関する全般的な設定を変更することができます。 ・・・35p

【ブラウザ】マスクエリアを追加する 1/2





MAMORYのAI検知対応カメラでは、設定したAI検知機能が無効にされるマスクエリアを設定することができます。

※マスクエリアは8つまで設定可能です。

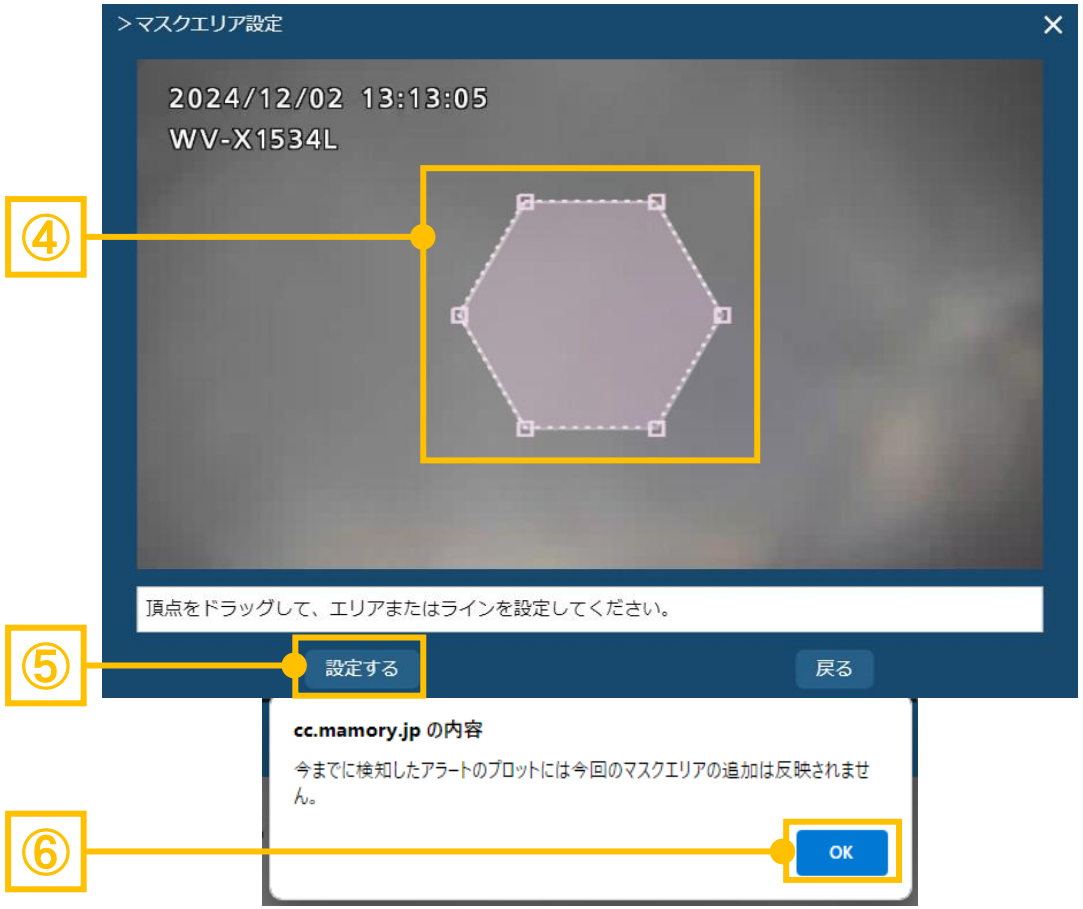
① 【新規追加】をクリックします。

② マスクエリアのラジオボタンにチェックを入れます。

③ 【次へ】をクリックすると、マスクエリアの設定に進みます。

＞次ページへ続く

【ブラウザ】マスクエリアを追加する 2/2



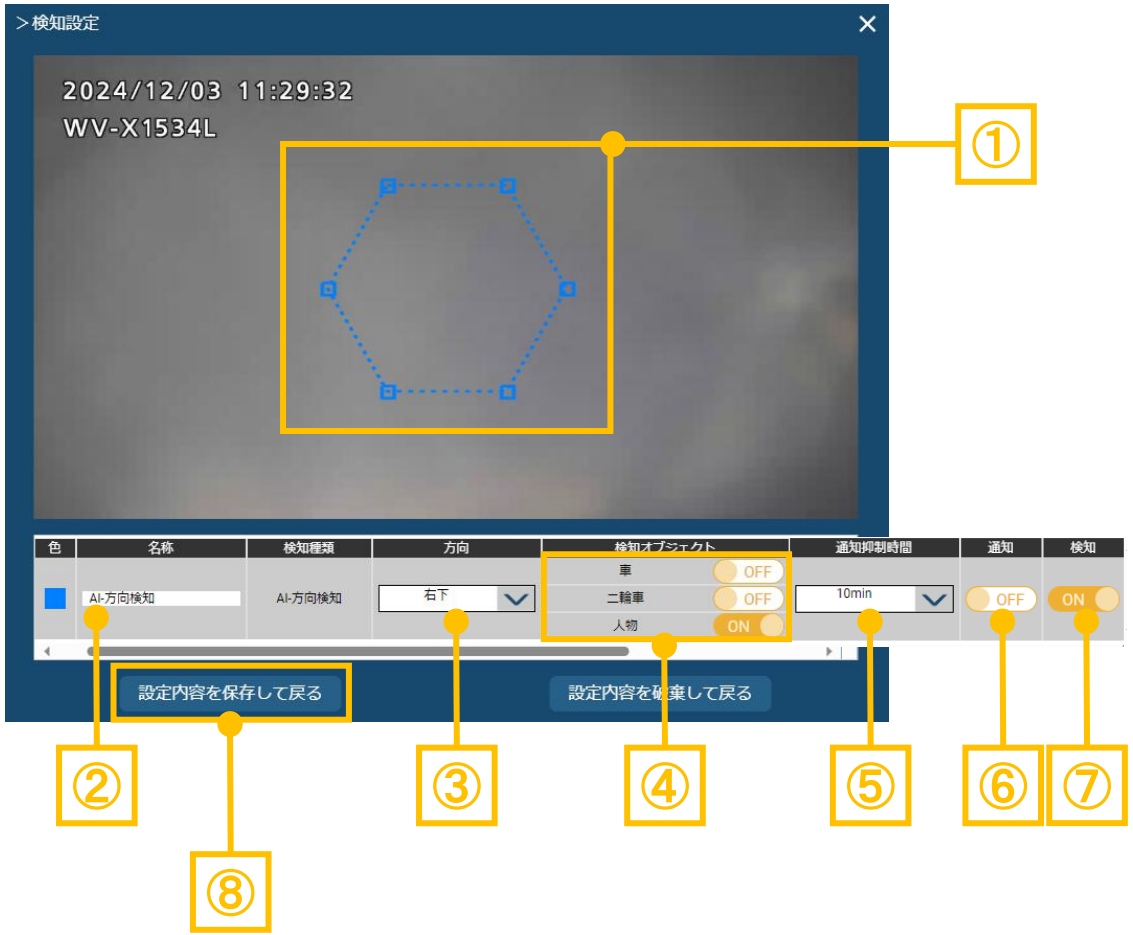
前ページからの続き

④ 図形の頂点(□)と点線(…)に対して、ドラッグ&ドロップ操作をして、AI検知を無効にするエリアを設定します。

⑤ 【設定する】をクリックします。

⑥ ダイアログが表示されます。【OK】をクリックします。
※このマスクエリアを設定するよりも前に検知された情報には影響が及びません。

【ブラウザ】AI検知の設定を変更する



AI検知機能の設定変更方法についての説明です。

① ドラッグ&ドロップ操作で図形を変形・移動させることによって、AI検知機能を適用する範囲を変更できます。

② 名称を変更できます。

③ 【方向検知】あるいは【ラインクロス検知】を設定している場合に限り、検知方向の変更ができます。

④ 各項目のON/OFFを切り替えることで、AIによる検知対象を【車・二輪車・人物】の中から組み合わせて指定ができます。

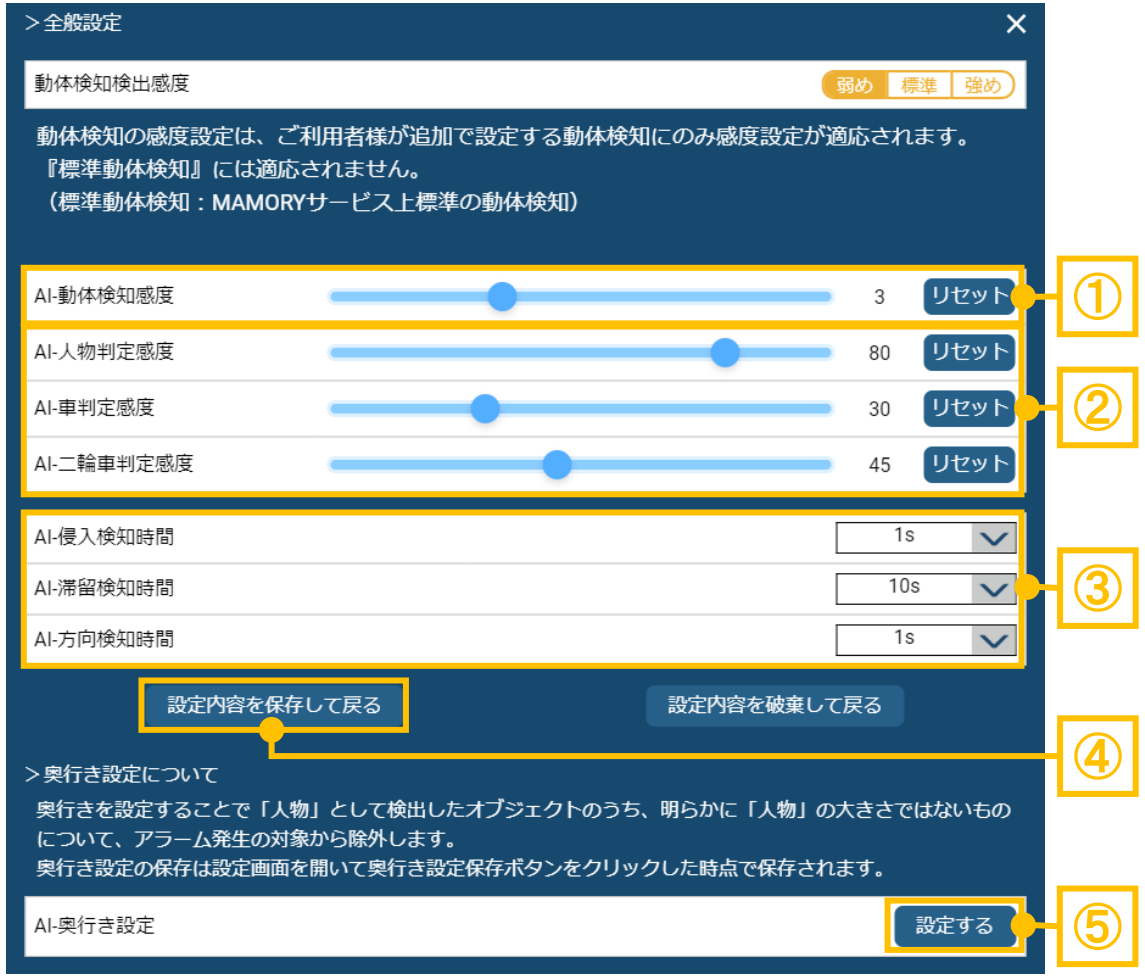
⑤ メール通知後、本設定によるAI検知時に再度メールが送られるようになるまでの間隔を指定します。
※【指定しない】を選択すると、検知するたびに通知メールが届きます。

⑥ AI検知が動作した際のメール通知のON/OFFを切り替えます。

⑦ 本設定のON/OFFを切り替えます。

⑧ ①～⑦の設定内容を反映して設定変更を行います。
※AI検知設定やマスクエリアの追加が通信不良によって失敗することがあります。その場合は①～⑦の項目を変更せずに、もう一度設定保存をお試しください。

【ブラウザ】AI検知機能の全般設定



AI検知機能の全般設定についての説明です。
※AI検知に対応しているカメラでのみ設定が可能です。

① 動体検知感度を【1～7】の中から指定できます。
※数値が低いと微細な動きにも反応するようになりますが、同時に誤検知が発生する可能性も高くなります。

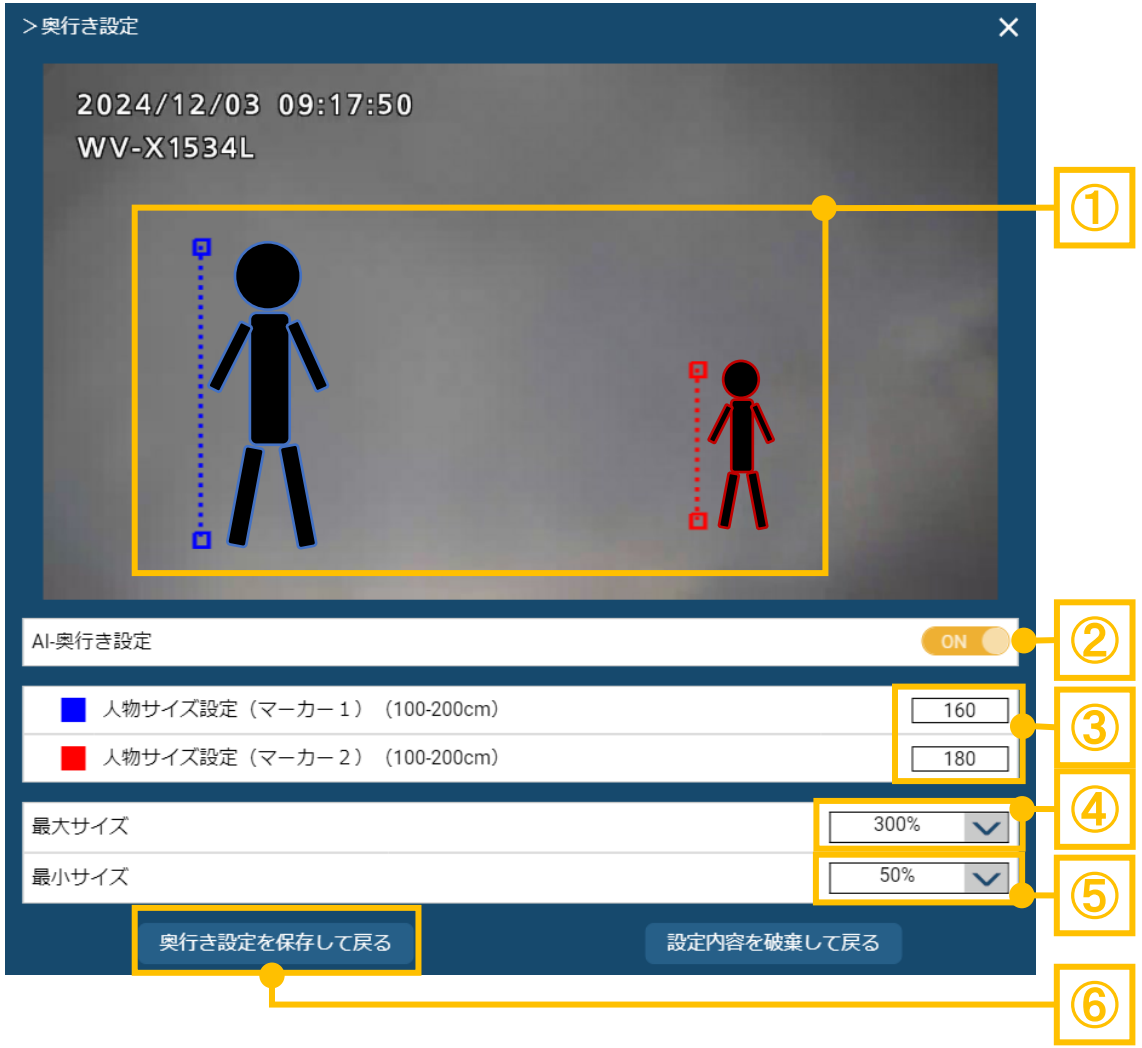
② AI-人物判定感度，AI-車判定感度，AI-二輪車判定感度を【1～99】の中から指定できます。
※数値が低いと検出頻度は上がりますが、誤検知の可能性も高くなります。

③ 『AI-侵入検知』『AI-滞留検知』『AI-方向検知』それぞれにおいて、設定した時間を超えて行動を継続すると通知されます。
※例えば、AI-滞留検知時間を10秒に設定すると、検知対象が10秒以上のあいだ検知エリア内に滞留したと判断されたときのみ通知が行われます。

④ ①～③の設定内容を保存します。

⑤ クリックすると、AI-奥行き設定画面に遷移します。 ・・・36p

【ブラウザ】AI検知機能の奥行き設定



奥行きを設定することによって、「人物」として検出した対象のうち、明らかに「人物」の大きさから外れるものを検知から外すことができます。

※AI検知に対応しているカメラでのみ設定が可能です。

① 青赤2色のマーカー（□…□）をスワイプ操作して、画面上の「手前にいる人物」と「奥にいる人物」の大きさに合わせます。
※左図参照。2つのマーカーの位置が近いと奥行き設定が正しく動作しません。

② 奥行き設定のON/OFFを切り替えます。
※検知の精度が良くない場合は、OFFにすると解消されることがあります。

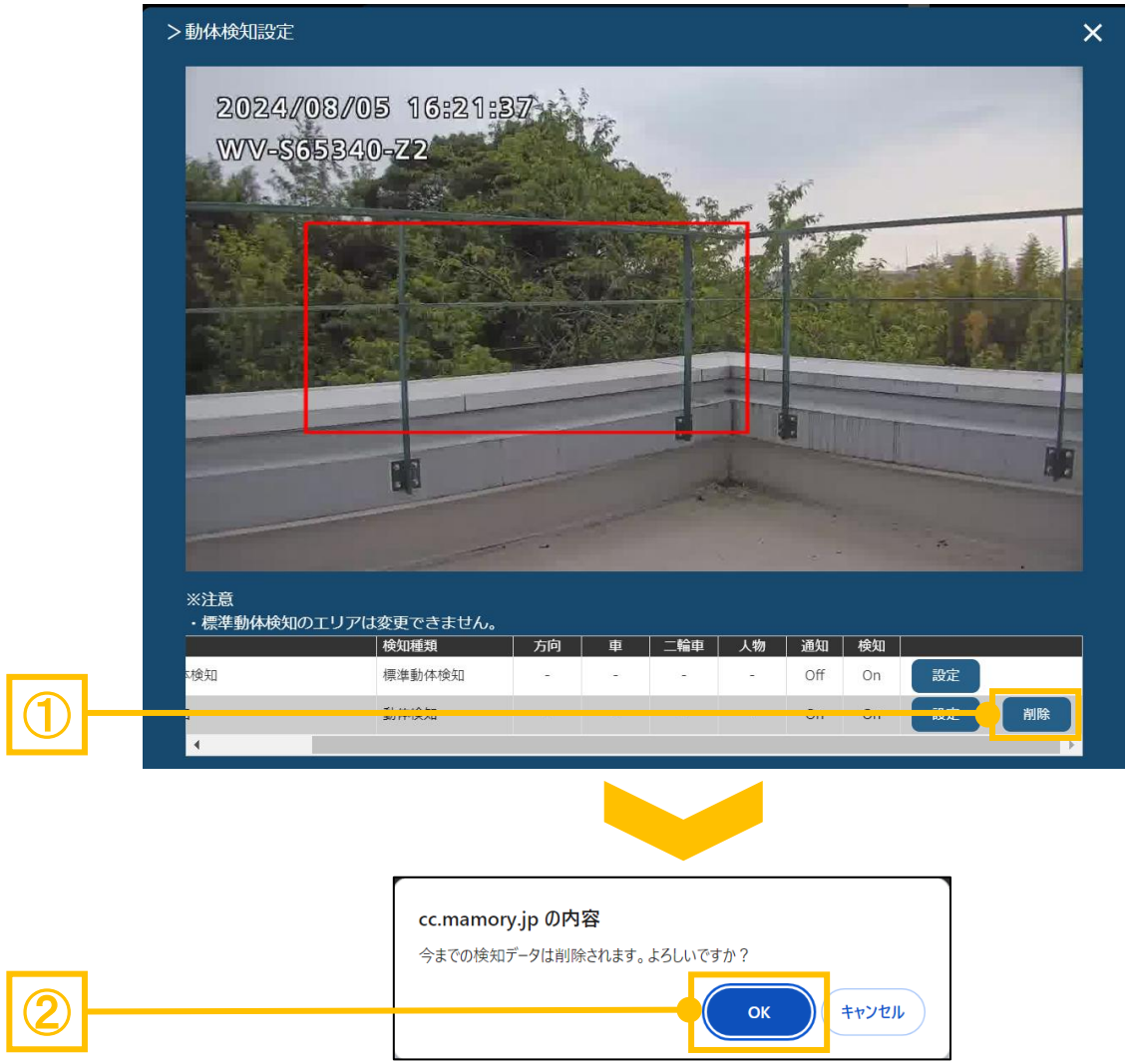
③ それぞれのマーカーに合わせた映像上の人物の実際の身長を【100cm～200cm】のあいだで入力します。

④ AIが「人物」として認識する最大サイズを、身長160cmの人を基準にして【100%～300%】のあいだで設定できます。
※150%に設定すると、240cmまでの「人物」を検出します。
※制限なしにすると、上限が撤廃されます。

⑤ AIが「人物」として認識する最小サイズを、身長160cmの人を基準にして【10%～100%】のあいだで設定できます。

⑥ ①～⑤の設定内容を保存します。

【ブラウザ】検知設定を削除する



動体検知設定，AI検知設定やマスクエリアを削除する方法を説明します。

① 【削除】をクリックします。

② ダイアログが表示されます。【OK】をクリックします。

削除できるのは、利用者様が作成した動体検知，AI検知とマスク設定のみです。

標準動体検知は削除できません。

【ブラウザ】検知時の通知先を設定する



動体検知あるいはAI検知時に通知を送るメールアドレスを設定します。

メールアドレスの設定有無に関係なく、検知がONに設定されていれば、検知時刻は記録されます。。

※メールアドレスは2つまで登録できます。

① メールアドレスを入力します。

② 【設定】をクリックして、保存します。
※このとき、メールアドレス欄を空欄の状態にしておくと、設定情報が削除されます。

③ 【テストメール送信】をクリックすると、入力したアドレス宛てにテストメールが送信されます。

【ブラウザ】タグを設定する



カメラにタグを登録することで、《カメラー覧》でタグが登録されたカメラのみを表示することができます。

① 入力フォームに任意のタグ名を入力して【設定する】をクリックすると、新しくタグが作成されカメラにそのタグが登録されます。タグは複数登録できます。

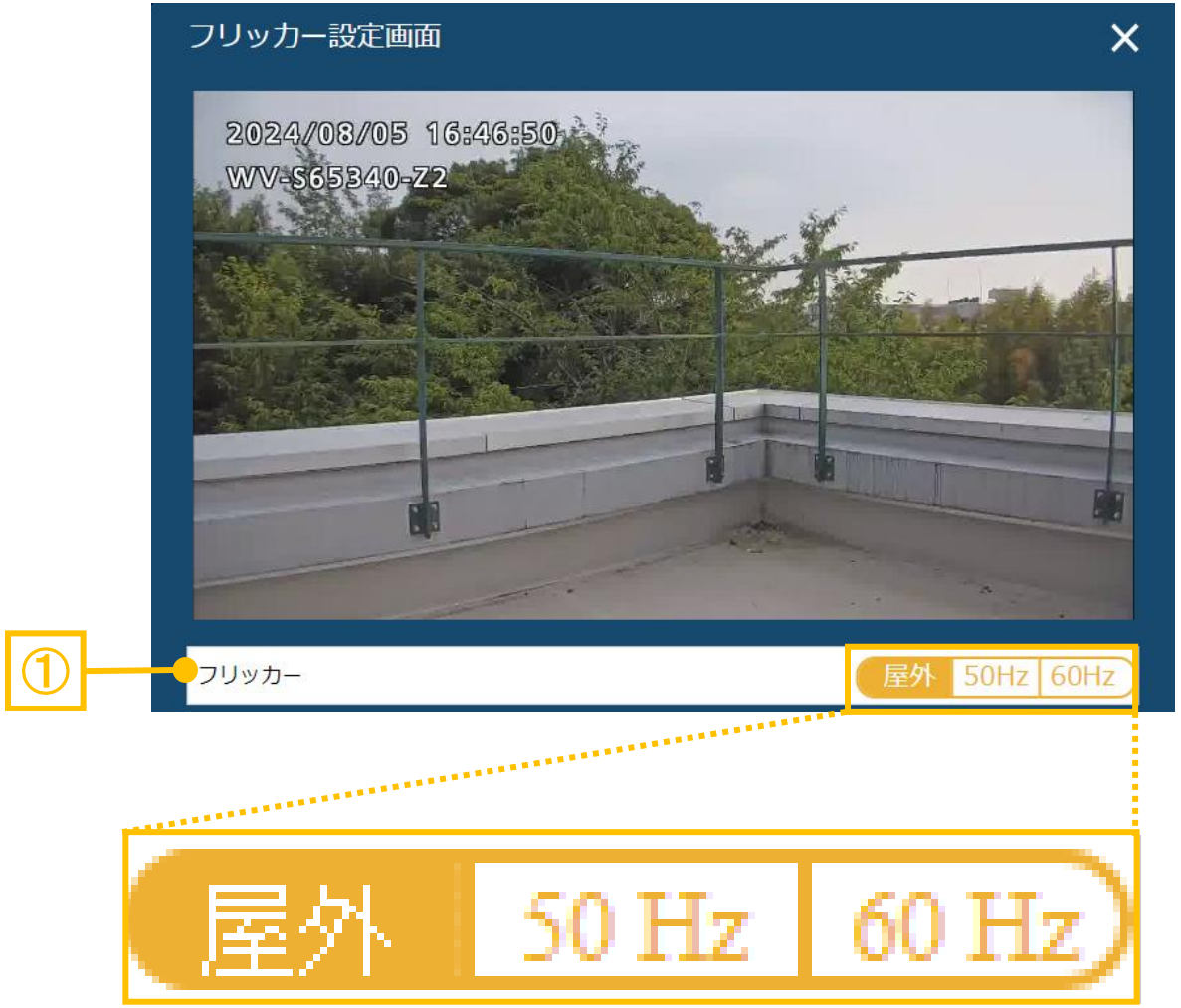
② カメラに登録されたタグが表示されます。×をクリックするとタグが削除されます。

③ 既に作成されたタグの一覧を表示します。タグを選択することで入力フォームにそのタグ名が入力されます。

④ 《カメラー覧》で登録されたタグが表示されます。タグをクリックすることで、タグが設定されたカメラのみを表示できます。（タグの再クリックで選択キャンセル）

⑤ ▲/▼をクリックすることで、タグの表示・非表示の切り替えができます。

【ブラウザ】フリッカーを設定する



カメラで蛍光灯などを撮影すると、映像がちらつくことがあります。これを防ぐため撮影現場に合わせた設定が可能です。

① 設置現場に合わせて、【屋外/50Hz/60Hz】を選択してください。

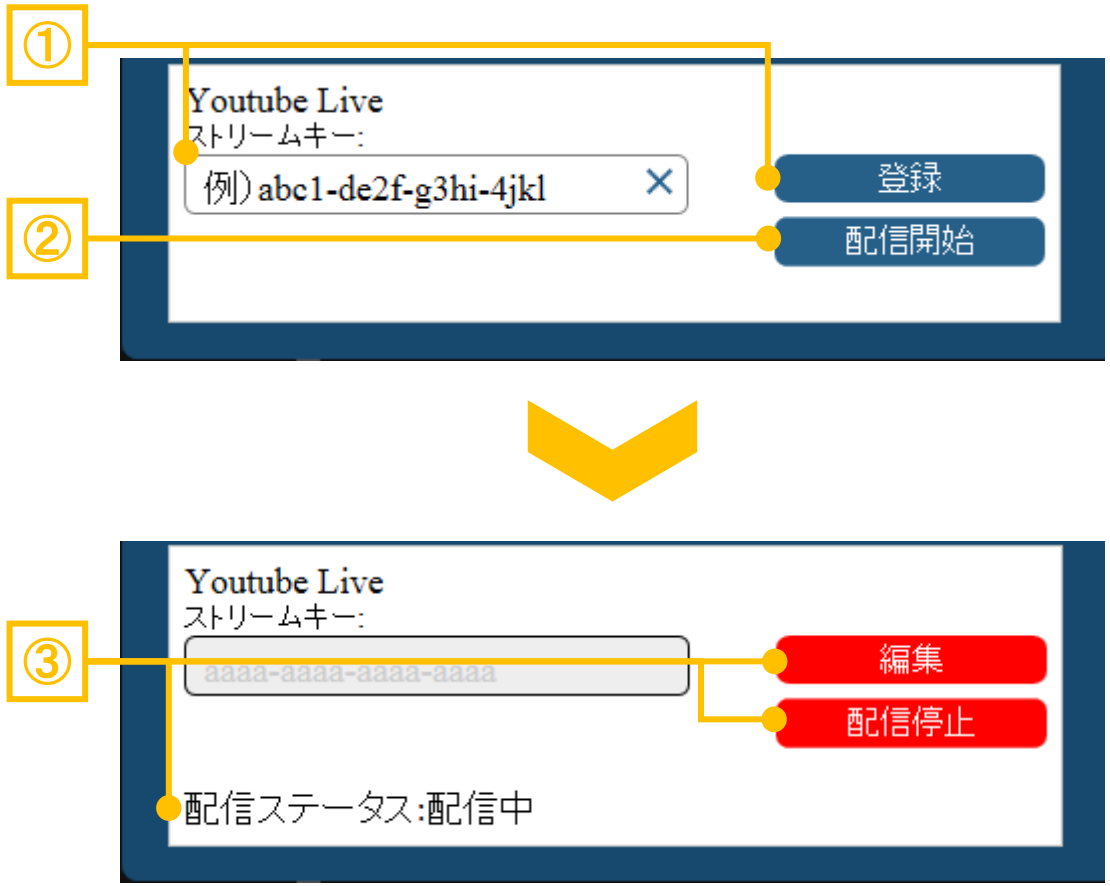
屋外・・・屋外に設置する際に選択します。

50Hz・・・東日本で被写体に蛍光灯がある場所に設置する際に選択します。

60Hz・・・西日本で被写体に蛍光灯のある場所に設置する際に選択します。

※選択すると即反映されます。

【ブラウザ】YouTubeLIVE連携を設定する



カメラが撮影した映像を、YouTubeLIVEと連携して配信することができます。

※YouTubeLIVEについては以下のURLを参照して設定してください

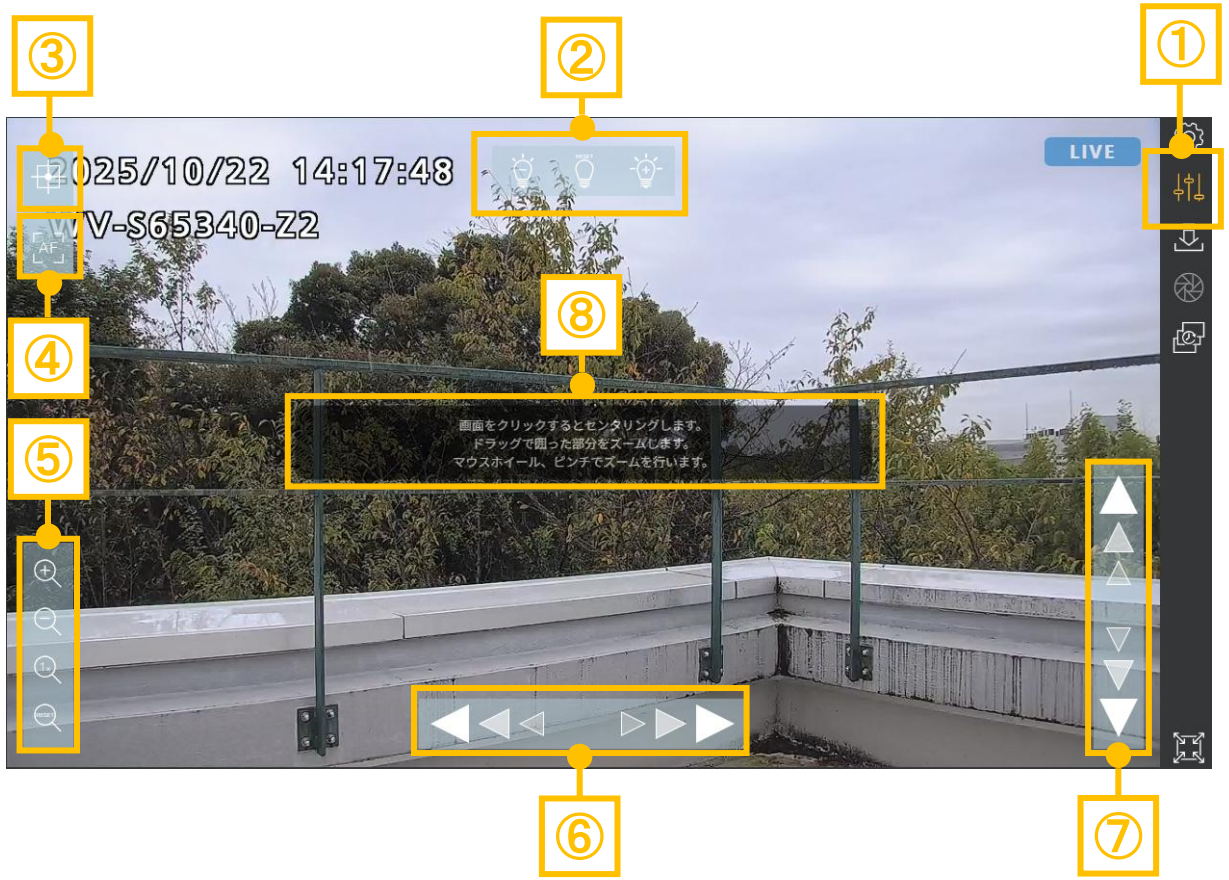
https://support.google.com/youtube/answer/2474026?hl=ja

① ストリームキーを入力して【登録】をクリックしてください。
※ストリームキーはYouTubeより取得してください。

② 【配信開始】をクリックしてYouTubeLIVEとの連携を開始します。

③ 配信中は「配信ステータス：配信中」と表示されます。
ストリームキーを変更する場合は【編集】をクリックして入力内容を変更してください。
配信を停止する場合は【配信停止】をクリックしてください。

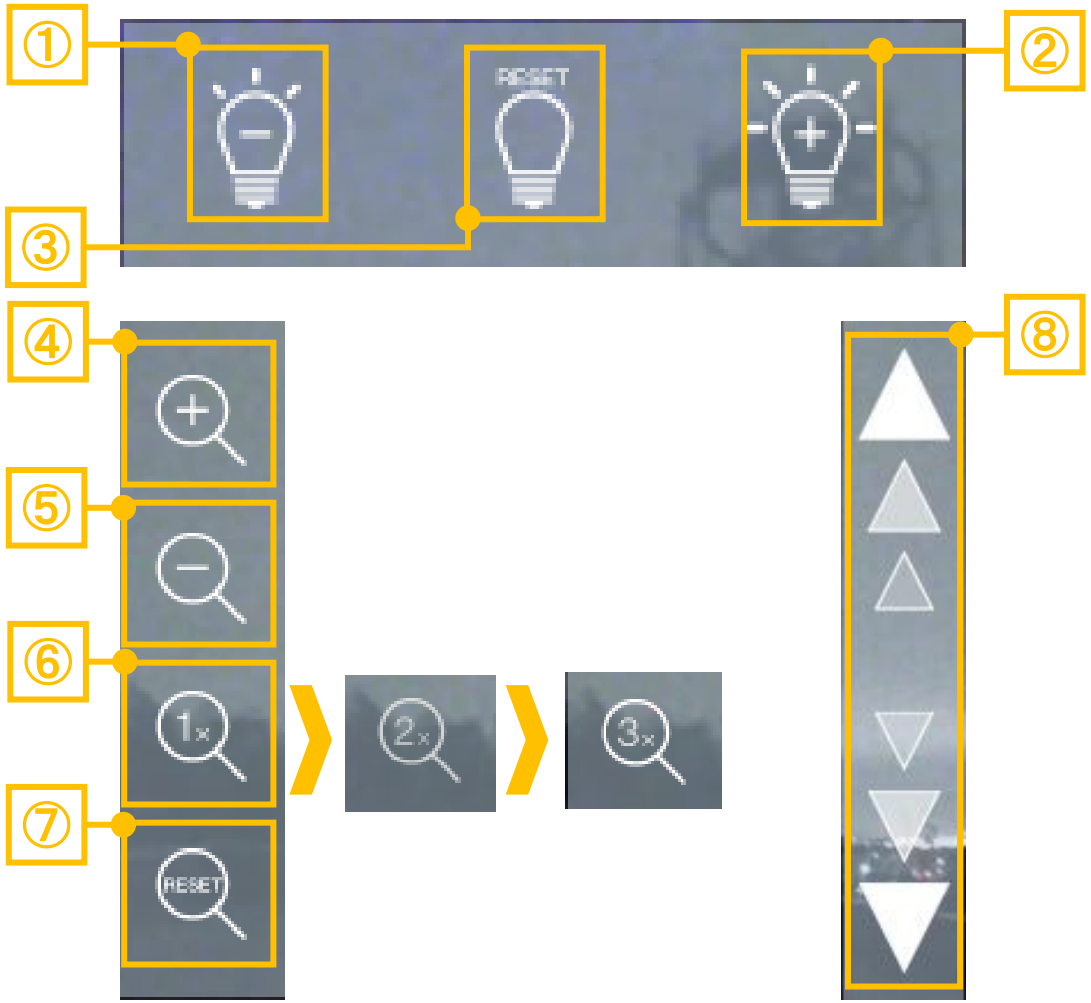
【ブラウザ】カメラを操作する 1/5



カメラ操作パネルを表示すると、カメラの向きや明度，ズーム率などを操作することができるようになります。
※カメラの機種によって操作内容は異なります。
※録画再生中にカメラ操作パネルはクリックできません。

① クリックすることでカメラ操作パネルを表示します。
② 明度を変更します。
③ カメラをホームポジションに戻します。【PT型/ZM型/NZ型】
④ フォーカスを調整します。【NV型/ZM型/NZ型】
⑤ 光学ズームを実施します。【PT型/ZM型/NZ型】
⑥ 横方向にカメラを回転させます。【PT型/ZM型/NZ型】
⑦ 縦方向にカメラを回転させます。【PT型/ZM型/NZ型】
⑧ 直感的なカメラ操作機能のお知らせです。【ZM型/NZ型】
※数秒で非表示になります。

【ブラウザ】カメラを操作する 2/5



明度，ズーム，回転に関するカメラ操作パネルについて詳しく説明します。

① 映像の明度を下げます。

② 映像の明度を上げます。

③ 映像の明度を工場出荷場状態に戻します。

④ 映像をズームインします。

⑤ 映像をズームアウトします。

⑥ ズームイン/ズームアウトする量を【1x/2x/3x】の3段階で変更できます。（【3x】時にクリックすると【1x】に戻る）

⑦ 拡大/縮小を工場出荷状態に戻します。

⑧ 矢印アイコンの方向にカメラを回転させます。矢印アイコンが端へ行くほど移動量が大きくなります。

【ブラウザ】カメラを操作する 3/5





カメラ操作パネルを表示すると、マウス操作で直感的にカメラの向きやズーム率などを操作することができるようになります。

※カメラの機種によって操作内容は異なります。
※録画再生中にカメラ操作パネルはクリックできません。
※44-46pの機能はZM型またはNZ型でのみ利用できます。

- 任意の箇所をクリックすることで、クリックした箇所が中心になるようにカメラが移動します。
- モバイル端末でブラウザを開いている場合、タップで同様の操作が可能です。

【ブラウザ】カメラを操作する 4/5





カメラ操作パネルを表示すると、マウス操作で直感的にカメラの向きやズーム率などを操作することができるようになります。

※カメラの機種によって操作内容は異なります。
※録画再生中にカメラ操作パネルはクリックできません。
※44-46pの機能はZM型またはNZ型でのみ利用できます。

- マウスでのドラッグ操作により、四角形の枠にあわせた画面になるようにカメラが移動・ズームをします。
- モバイル端末からブラウザを開いている場合、画面タップによるドラッグ操作でも同様の操作が可能です。

【ブラウザ】カメラを操作する 5/5

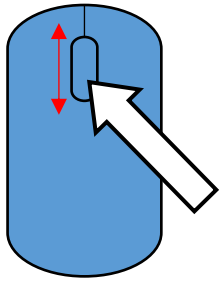




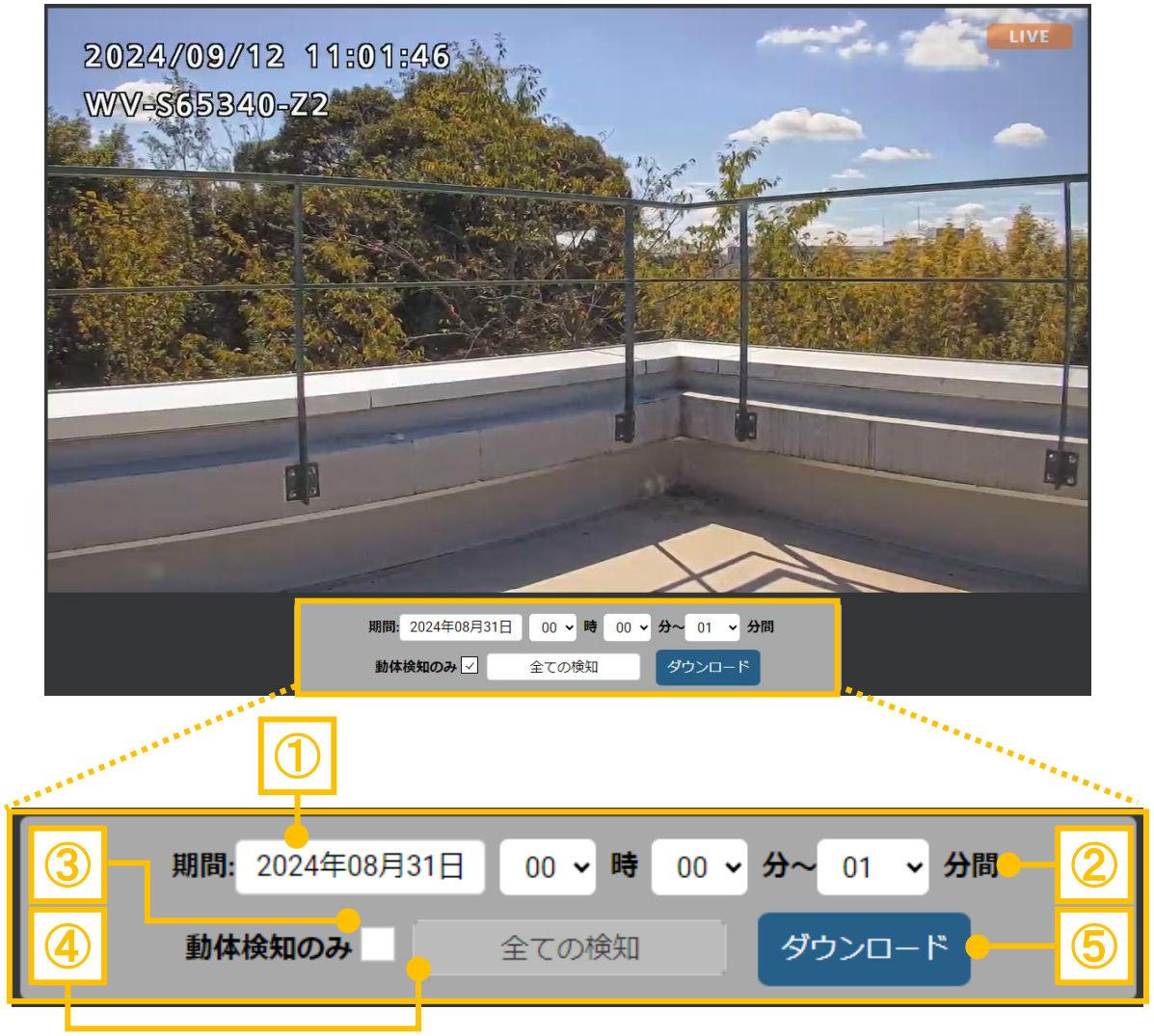
カメラ操作パネルを表示すると、マウス操作で直感的にカメラの向きやズーム率などを操作することができるようになります。

※カメラの機種によって操作内容は異なります。
※録画再生中にカメラ操作パネルはクリックできません。
※44-46pの機能はZM型またはNZ型でのみ利用できます。

- リアルタイム映像にカーソルを合わせ、マウスのホイールを上下させることで、ズームイン・ズームアウトします。
- モバイル端末からブラウザを開いている場合、ピンチアウトでズームイン、ピンチインでズームアウトします。
  ※ピンチアウト：画面に2本の指で触れ、指の間隔を広くする動作
  ※ピンチイン：画面に2本の指で触れ、指の間隔を狭める動作



【ブラウザ】録画映像をダウンロードする 1/4



録画映像のダウンロード方法について説明します。

① ダウンロードを開始する【日付】【時】【分】を選択してください。

② 開始時刻からダウンロードする時間を選択してください。
（【1-60/90/120】分から選択可能）

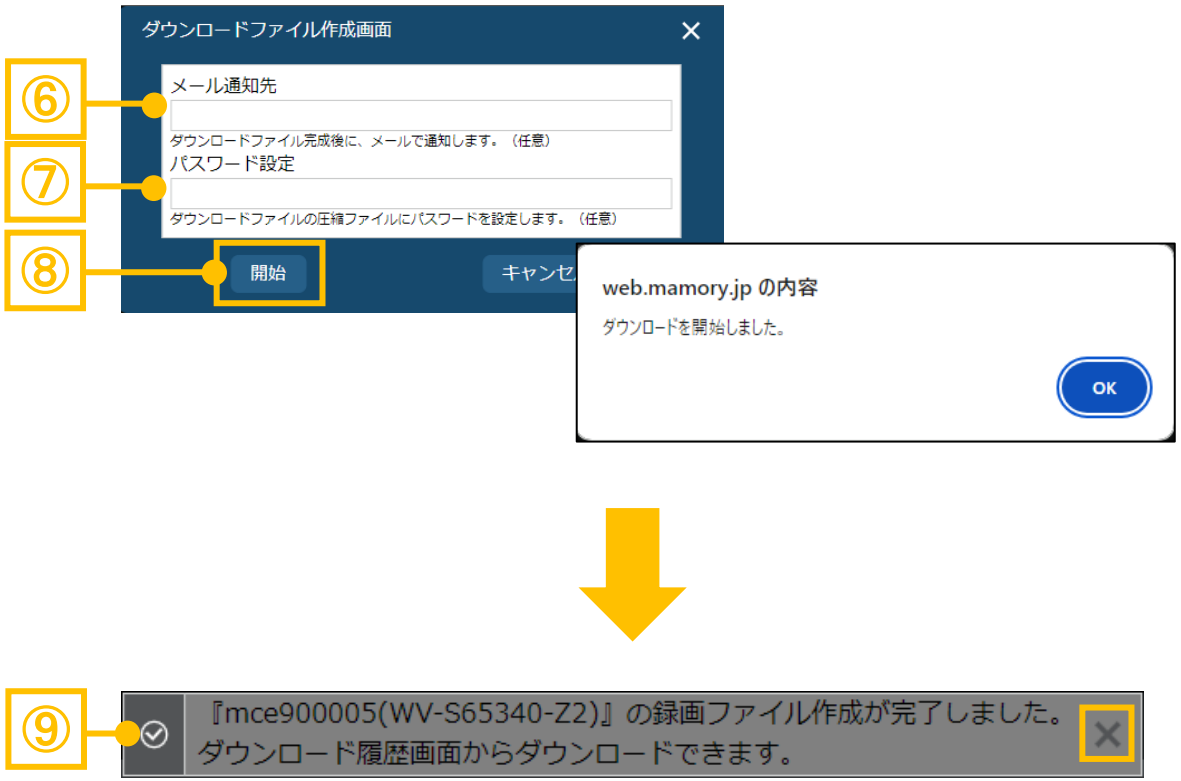
③ チェックを入れると期間内で動体検知が働いた時間の映像のみをダウンロードできます。

④ 検知の種別を【全ての検知/標準動体検知/動体検知※】の中から選択できます。
※利用者様にて動体検知を設定している場合のみ選択肢に追加されます。

⑤ クリックすることでダウンロード用の録画映像の作成を開始します。

＞次ページへ続く

【ブラウザ】録画映像をダウンロードする 2/4



前ページからの続き

⑥ ダウンロードファイルの完成時に、メールでの通知を希望される場合はメールアドレスを入力してください。

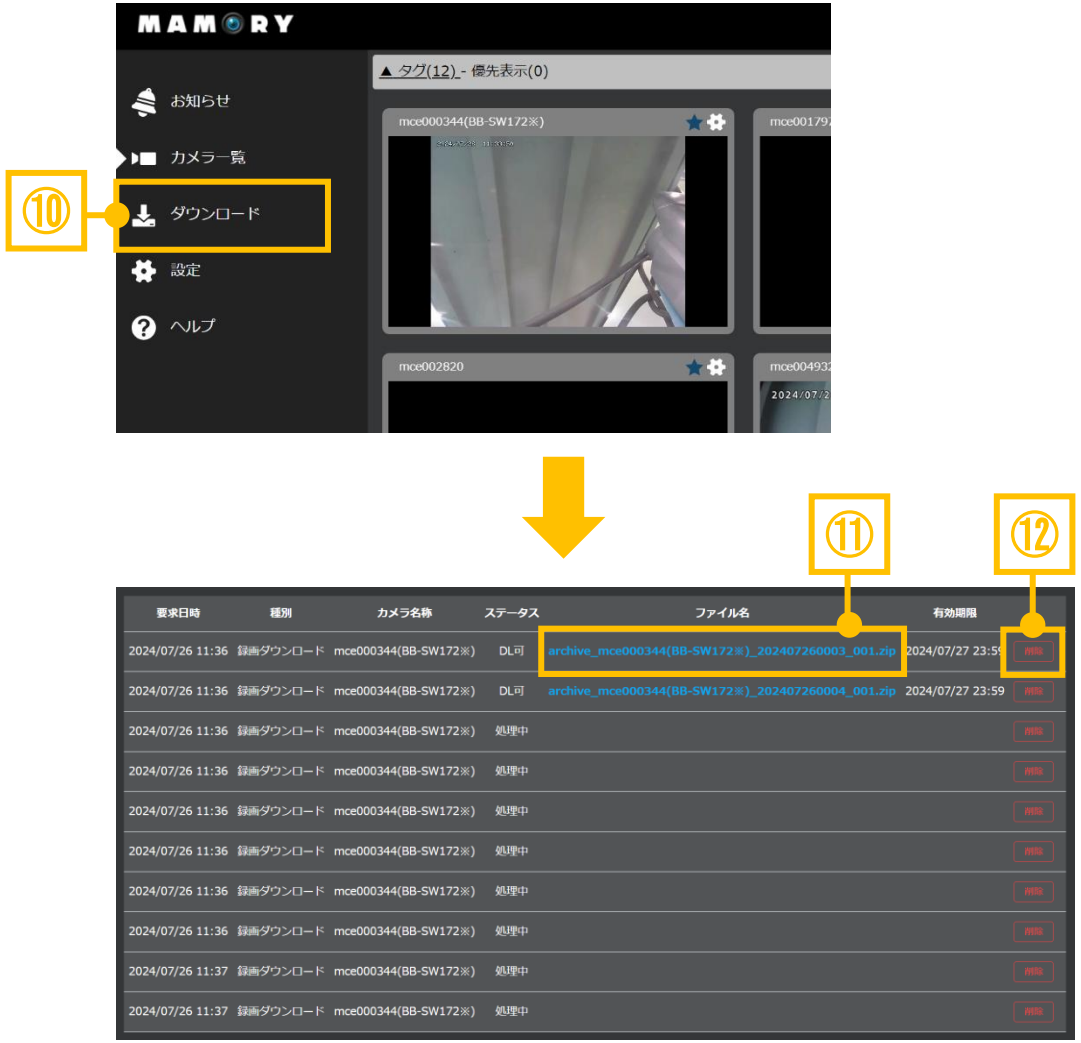
⑦ ダウンロードした圧縮ファイルを解凍する際に必要となるパスワードを設定することができます。

⑧ 【開始】をクリックすると、ダウンロードファイルの作成が始まります。
※ファイルの作成中であっても、MAMORY上でのあらゆる操作が可能です。
※違う日時を指定してダウンロードファイルを作成したり、別のカメラのダウンロードファイルを作成したりすることもできます。
※一度に最大10個まで作成が可能です。

⑨ 録画ファイル（ダウンロードファイル）の作成が完了すると、MAMORYビューワー（ブラウザ画面）の上部にメッセージが表示されます。【×】をクリックして閉じてください。

＞次ページへ続く

【ブラウザ】録画映像をダウンロードする 3/4



前ページからの続き

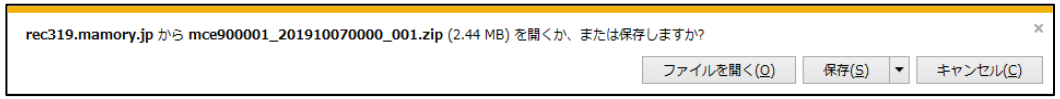
⑩ 『メインメニュー』の中から《ダウンロード》をクリックします。

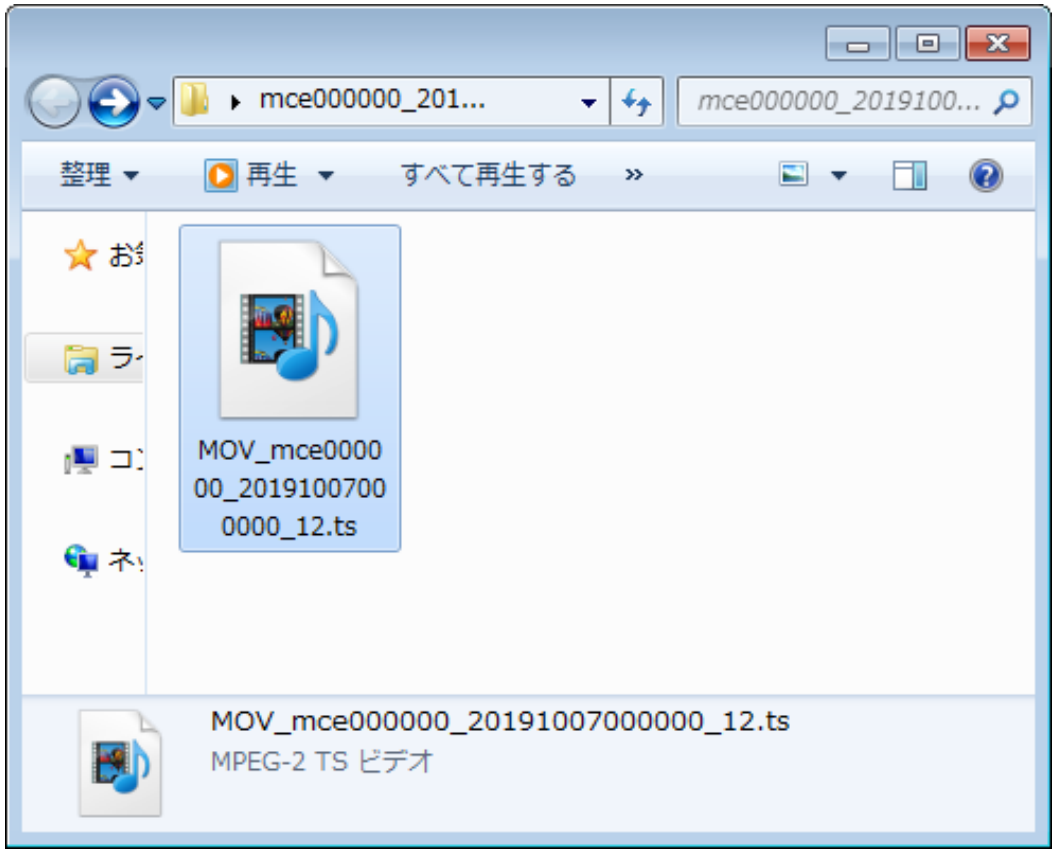
⑪ 《ダウンロード》画面では、作成したファイルを一覧で確認することができます。リストの中からファイル名をクリックすると、ファイルのダウンロードができます。

⑫ 削除ボタンをクリックすると、ファイルを削除することができます。

※有効期限が過ぎると録画ファイルは自動的に削除されます。

【ブラウザ】録画映像をダウンロードする 4/4





≪注意≫

ダウンロードファイルはZIP形式で圧縮されています。

映像を閲覧する前に、解凍ソフトで圧縮ファイルを解凍してください。

録画ファイルの拡張子は「ts」となります。

「ts」形式に対応したソフトで閲覧してください。

【ブラウザ】録画映像を共有する 1/4



ダウンロード用のURLを発行し、それを共有することで、MAMORYを利用していない方にも録画映像を提供できます。

※あらかじめ「録画映像をダウンロードする」・・・p47-p48の手順を実施して、ダウンロードできる状態の録画ファイルを作っておく必要があります。

① 《ダウンロード》画面にて共有したいファイルの【共有URL】をクリックします。

※【共有URL】ボタンはユーザー名が「mce」から始まるアカウントでログインしている場合にのみ表示されます。

＞次ページへ続く

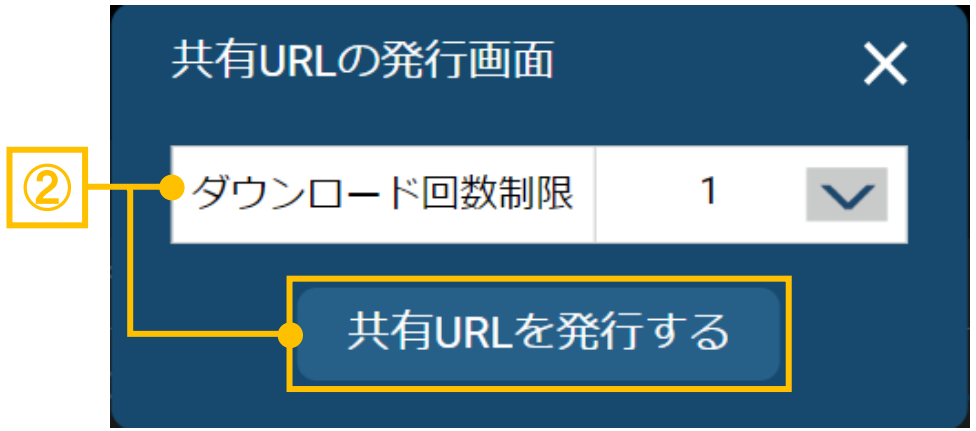


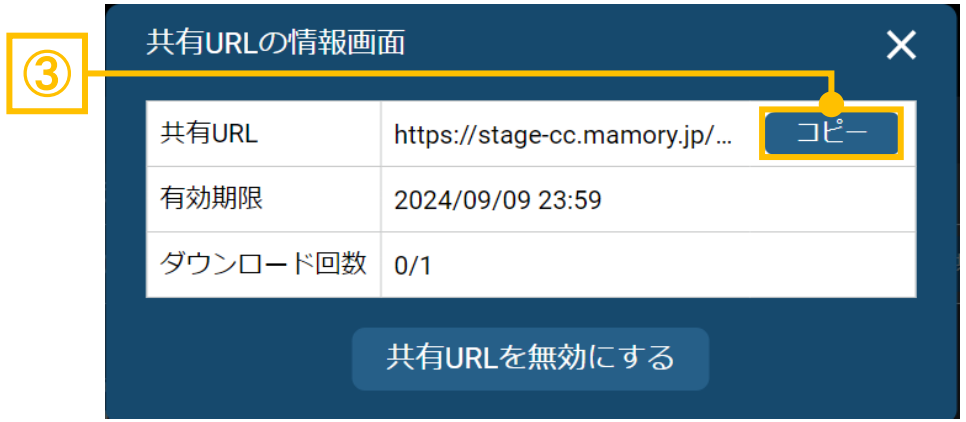
以下は左図（※）の各項目についての説明です。

※1「ステータス」が「DL可」以外になっている場合は、共有URLを発行することができません。

※2 共有URLを発行すると有効期限が延長されます。その後、共有URLが無効になったとしても、有効期限は延長されたままとなります。

【ブラウザ】録画映像を共有する 2/4





前ページからの続き

② 【共有URLを発行する】をクリックします。ダウンロード回数制限は、1から10までの任意の回数を選択できます。

③ 【コピー】をクリックします。メール，チャット，メッセージアプリなどにコピーした共有URLを貼り付け、共有先に提供します。

※発行済みの共有URLを無効にしたい場合は【共有URLを無効にする】をクリックすると共有URLが無効化されます。共有URLを無効にすると共有先がファイルをダウンロードできなくなります。

＞次ページへ続く

【ブラウザ】録画映像を共有する 3/4



前ページからの続き

≪注意≫
ここから先の作業は、共有先側の作業になります。

④　共有元から受け取った共有URLにブラウザでアクセスし、【ダウンロード】をクリックします。

＞次ページへ続く



以下は左図（※）についての説明です。

※3 共有先にてファイルをダウンロードすることができない場合、以下のような理由が考えられます。

・共有元が設定したダウンロードの回数制限を超過している

・ダウンロードの有効期限が過ぎている

・共有元が共有URLを無効化した

【ブラウザ】録画映像を共有する 4/4



前ページからの続き

⑤ 一度【ダウンロード】をクリックすると、ボタンが無効化されダウンロードできなくなります。
再度ダウンロードしたい場合はブラウザをリロードすると【ダウンロード】ボタンが有効化され、ダウンロードできるようになります。
※【ダウンロード】ボタンをクリックした時点で共有元が設定しているダウンロードの制限回数を1回消費しますのでご留意ください。

≪注意≫

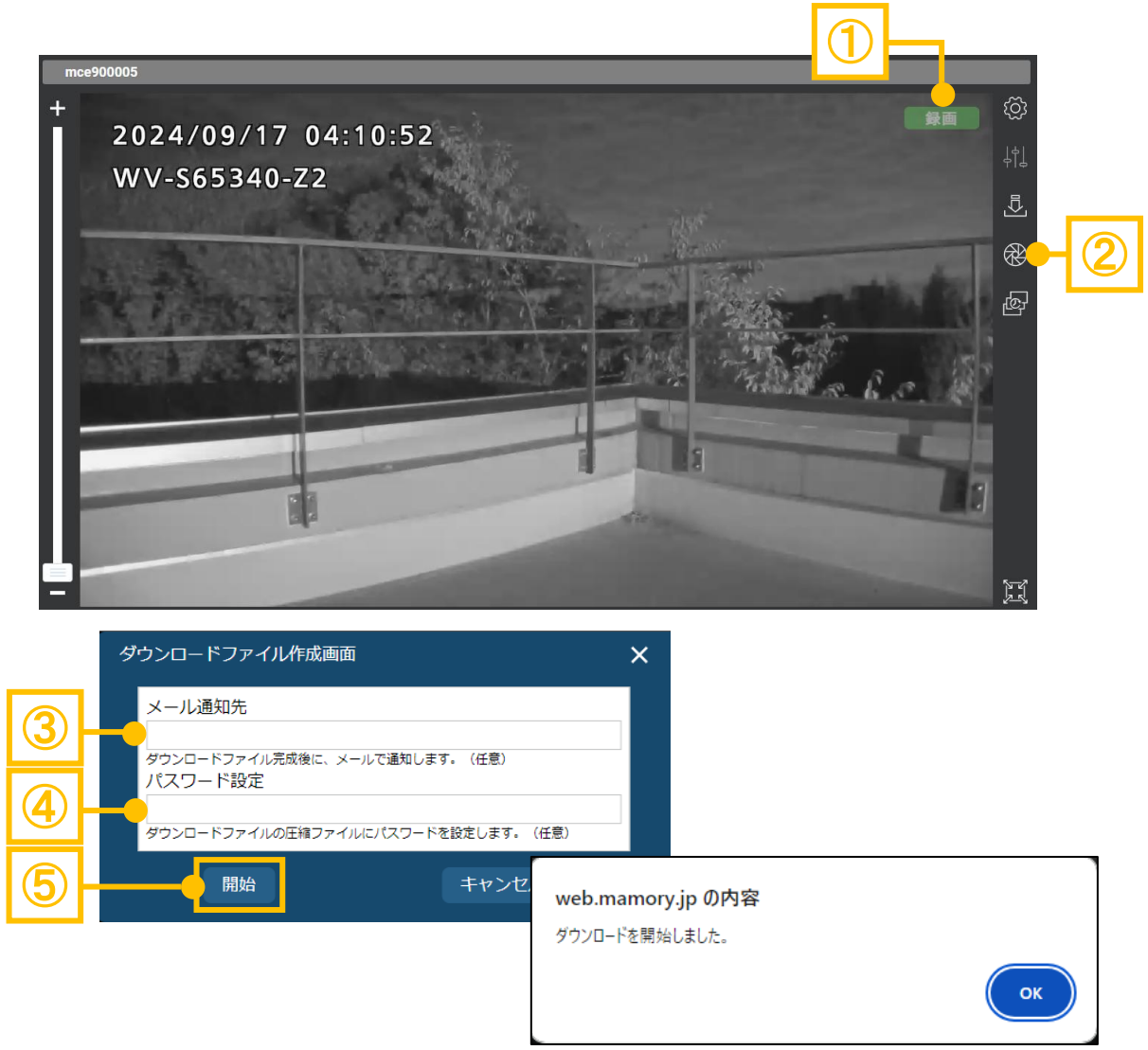
ダウンロードファイルはZIP形式で圧縮されています。

映像を閲覧する前に、解凍ソフトで圧縮ファイルを解凍してください。

録画ファイルの拡張子は「ts」となります。

「ts」形式に対応したソフトで閲覧してください。

【ブラウザ】スナップショットを保存する 1/3



録画映像閲覧中の画像を保存できます。
※LIVE再生中はスナップショットを撮影できません。

① 「カメラの録画映像を閲覧する」・・・13pを参照して映像を録画再生状態にして、保存したい映像を表示します。

② クリックするとスナップショットのダウンロードファイル作成画面に遷移します。

③ ダウンロードファイルの完成時に、メールでの通知を希望される場合はメールアドレスを入力してください。

④ ダウンロードした圧縮ファイルを解凍する際に必要となるパスワードを設定することができます。

⑤ 【開始】をクリックすると、ダウンロードファイルの作成が始まります。
※ファイルの作成中であっても、MAMORY上でのあらゆる操作が可能です。
※違う日時を指定してダウンロードファイルを作成したり、別のカメラのダウンロードファイルを作成したりすることもできます。
※一度に最大10個まで作成が可能です。

＞次ページへ続く

【ブラウザ】スナップショットを保存する 2/3



前ページからの続き

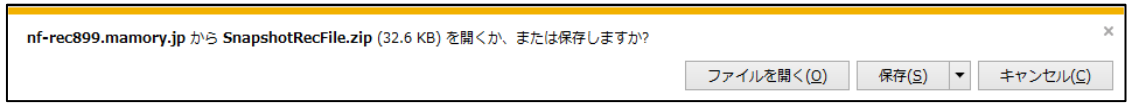
⑥ スナップショットファイルの作成が完了すると、MAMORYビューワー（ブラウザ画面）の上部にメッセージが表示されます。【×】をクリックして閉じてください。

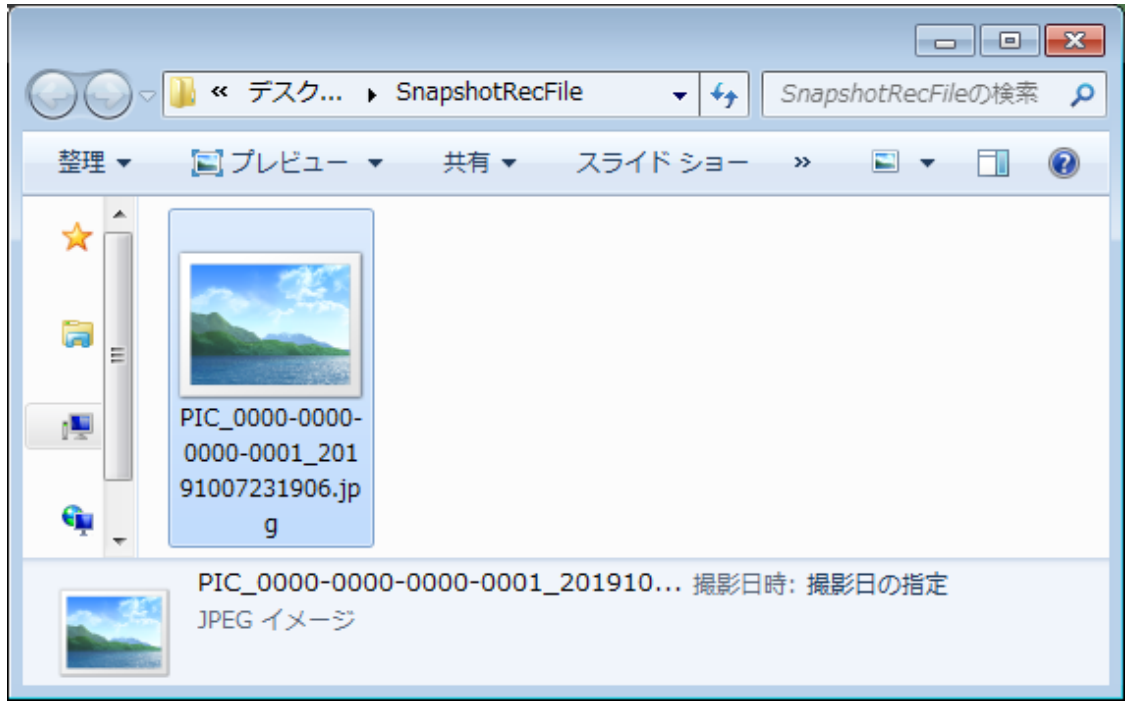
⑦ 『メインメニュー』の中から《ダウンロード》をクリックします。

⑧ 《ダウンロード》画面では、作成したファイルを一覧で確認することができます。リストの中からファイル名をクリックすると、ファイルのダウンロードができます。

⑨ 削除ボタンをクリックすると、ファイルを削除することができます。
※有効期限が過ぎるとファイルは自動的に削除されます。

【ブラウザ】スナップショットを保存する 3/3





≪注意≫

ダウンロードファイルはZIP形式で圧縮されています。

画像を閲覧する前に、解凍ソフトで圧縮ファイルを解凍してください。

画像ファイルの拡張子は「jpg」となります。

「jpg」形式に対応したソフトで閲覧してください。

【ブラウザ】タイムラプスを使用する



タイムラプスは1日1回指定時間のスナップショットを撮影し、それらを連続再生する機能です。

工場出荷状態では9:00のスナップショットを保存しております。

保存された画像はダウンロードできます。

① ダウンロードする日付の範囲を選択します。

② ①の範囲のスナップショットを連続再生する時間を指定します。
時間は【10秒/30秒/1分/3分/5分/10分】から選択できます。
※仮に「2019/10/1～2019/10/5」の範囲で「10秒」を選択した場合、2秒ごとに画像が切り替わる合計10秒の動画となります。

③ ①②で設定した内容のプレビューを再生/停止します。

④ 【ダウンロード】をクリックしてデータのダウンロードを開始します。

⑤ スナップショットを撮影する時間を設定します。

⑥ 【設定変更】をクリックすると⑤の内容が反映されます。

【ブラウザ】カメラ映像を全画面表示で閲覧する



カメラ映像は全画面表示で閲覧することができます。

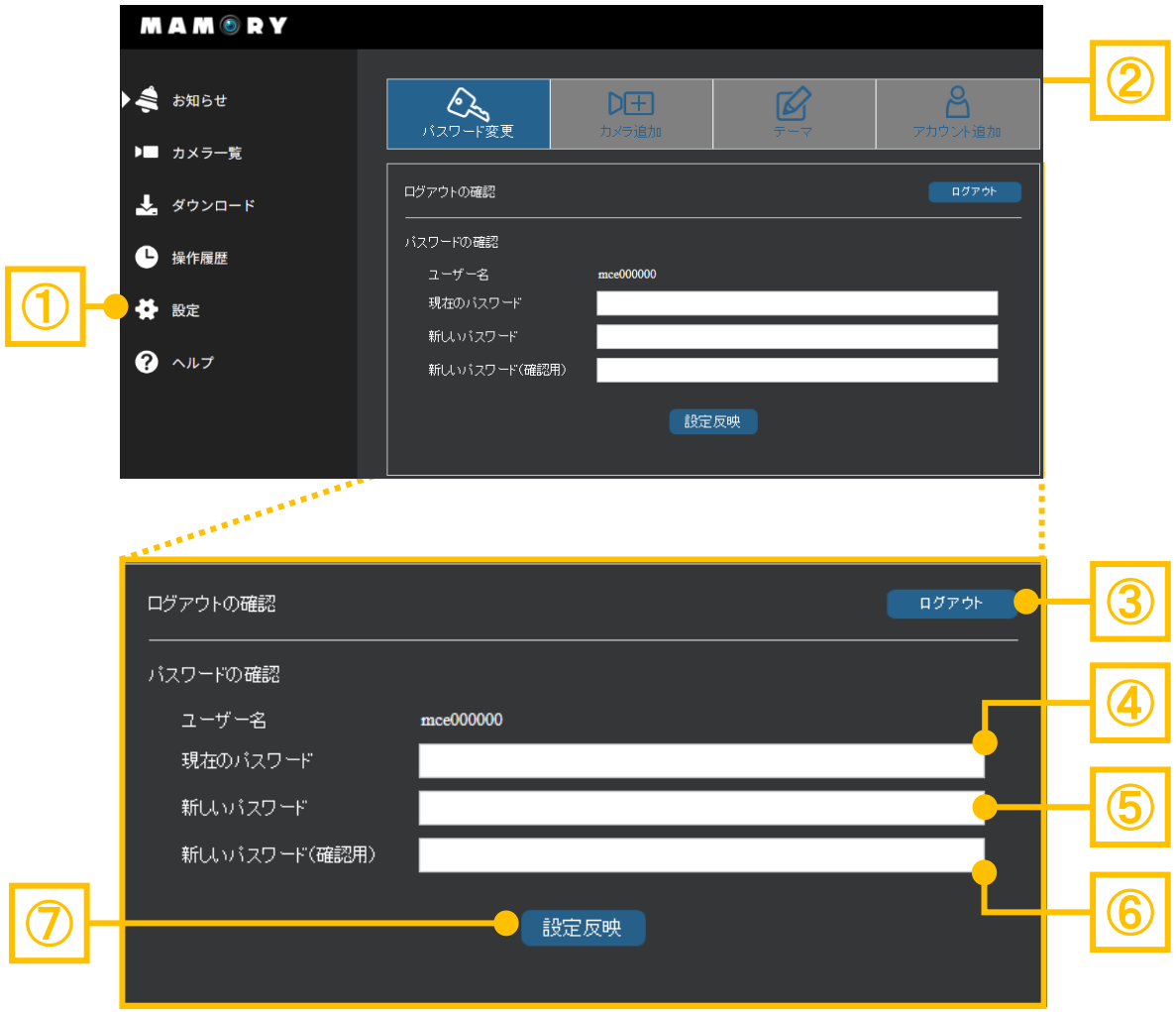
① クリックすると全画面表示に切り替わります。

② 拡大表示スライダーを操作することで、全画面表示中でも映像の拡大/縮小が可能です。

③ クリックすることで、全画面表示中でもカメラ操作パネルの表示/実行が可能です。
※LIVE再生中のみ実行できます。

④ クリックするか、キーボードのESCキーを押すと全画面表示を終了します。

【ブラウザ】アカウント設定　ログアウトとパスワード変更



ログアウトの方法とユーザーパスワードの変更方法について説明します。

① 『メインメニュー』の《設定》をクリックしてください。

② 『表示エリア』の【パスワード変更】をクリックしてください。

③ 【ログアウト】をクリックするとログアウトし、ログインページに移動します。

④ 現在のパスワードを入力してください。

⑤ 新しいパスワードを入力してください。
（半角英数字4桁以上16桁以内）

⑥ 確認のため、⑤と同じパスワードを入力してください。

⑦ 【設定反映】をクリックするとパスワード変更が行われます。

【ブラウザ】アカウント設定　カメラの追加/削除/名称変更



1アカウントに対して複数のカメラを登録できます。
また、カメラの名称を任意に変更できます。

① 『メインメニュー』の《設定》をクリックしてください。

② 『表示エリア』の【カメラ追加】をクリックしてください。

③ 登録したいカメラのシリアル番号を入力してください。シリアル番号は、このページかカメラの設定画面にて確認できます。

④ 【追加】をクリックしてカメラを登録してください。

⑤ 任意の名称を入力するとカメラの名称を変更できます。
※変更すると即反映されます。

⑥ 【☆】をクリックすると、カメラ優先表示のON/OFFが変更できます。

⑦ チェックボックスをクリックすると削除対象に指定できます。

⑧ 【削除】をクリックすると⑦でチェックしたカメラの削除を実行します。

【ブラウザ】アカウント設定 テーマ/再生方法の変更





本サイトの基本色を『dark』⇔『light』に変更できます。
※初回ログイン時は『dark』となります。

カメラ映像の再生方法を『リアルタイム再生』と『通常再生』のうち、どちらかを選ぶことができます。
※上記いずれも変更すると即反映されます。

① 『メインメニュー』の《設定》をクリックしてください。

② 『表示エリア』の【基本設定】をクリックしてください。

③ クリックすると【dark/light】どちらかを選択できます。
選択するとテーマが変更されます。

④ クリックすると、LIVE映像視聴開始時における再生方法を【通常再生/リアルタイム再生】のどちらかから選択できます。

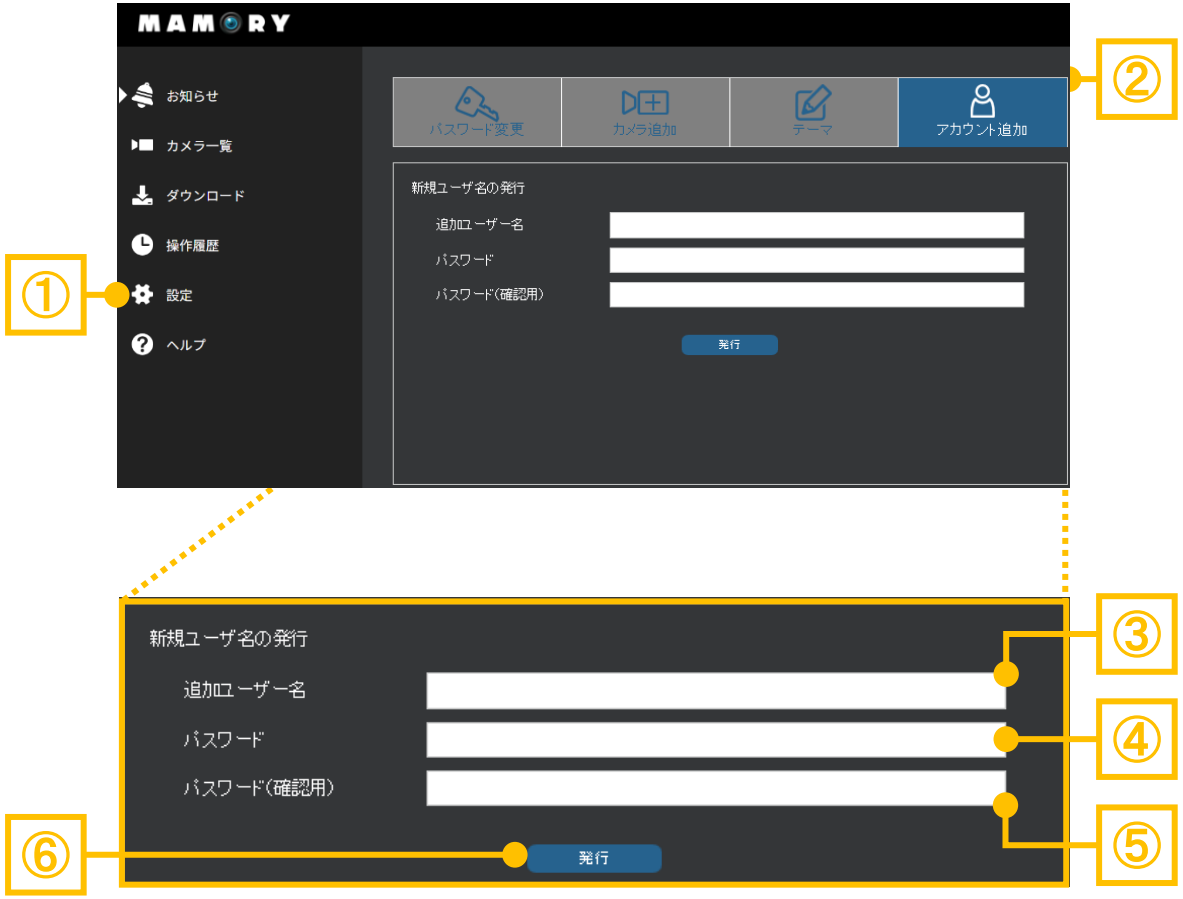
通常再生　・・・ 20～30秒の遅延がある従来のモード

リアルタイム再生　・・・ 遅延を1秒程度に抑えた低遅延モード

※カメラ映像視聴時の『LIVE』表示部の色で現在のモードが分かります。（左図参照）

※リアルタイム再生非対応の場合、『LIVE』表示部は赤色になっています。（左図参照）

【ブラウザ】アカウント設定 アカウントの追加



任意の名称でアカウントを追加できます。
※【アカウント追加】は「mce」から始まるアカウントでログインしている場合のみ表示されます。

① 『メインメニュー』の《設定》をクリックしてください。

② 『表示エリア』の【アカウント追加】をクリックしてください。

③ 新規に追加するユーザー名を入力してください。
※既に存在するユーザー名は使用できません。

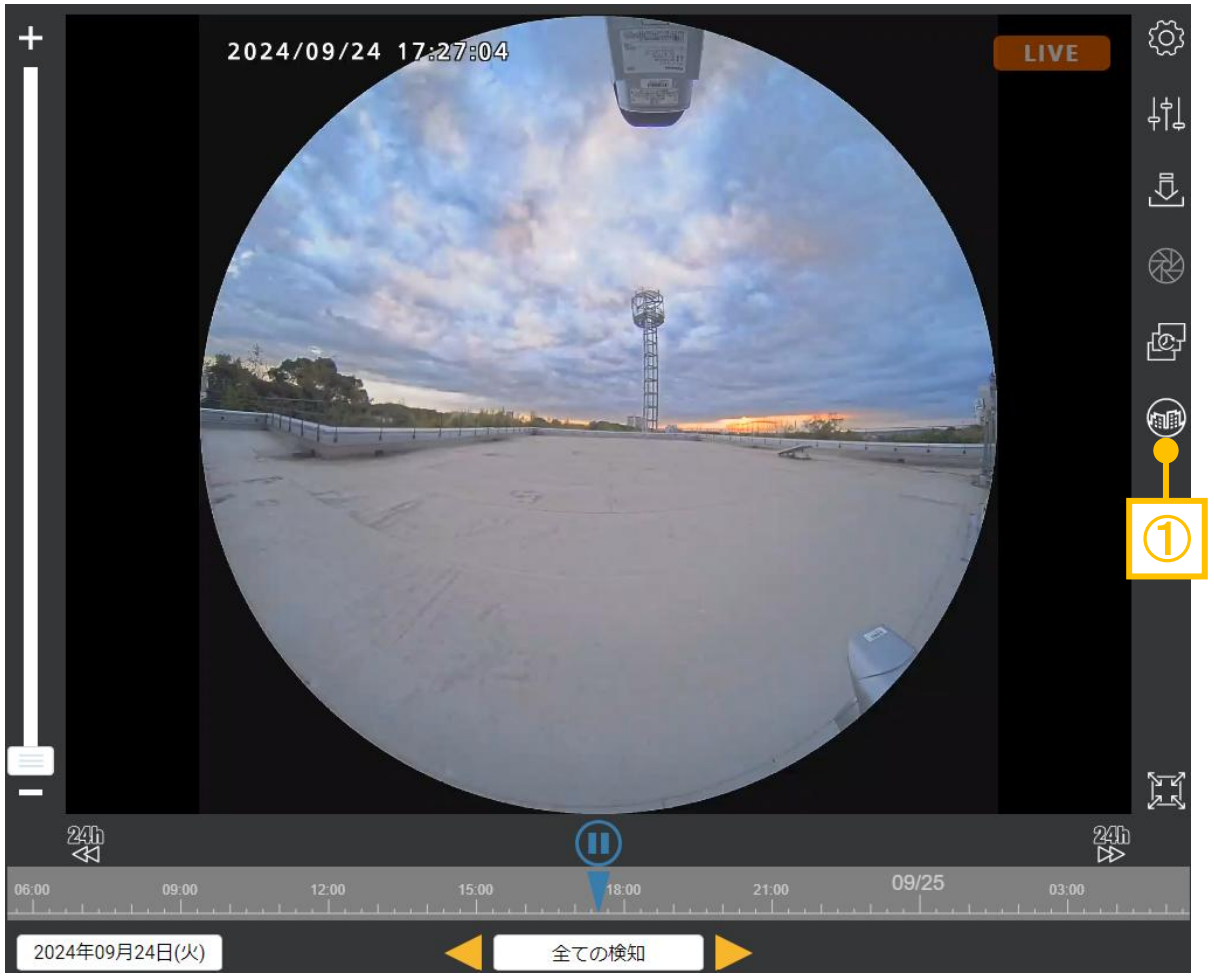
④ ユーザーに設定するパスワードを入力してください。
（半角英数字4桁以上16桁以内）

⑤ 確認のため、④と同じパスワードを入力してください。

⑥ 【発行】をクリックすると新規アカウントが追加されます。

発行したアカウントは、90日間ログインしていないと自動で削除されます。

【ブラウザ】360°（全方位）カメラの操作



本ページ以降では、360°（全方位）カメラ独自の操作説明を行っています。

① 360°（全方位）カメラ設定ボタン ・・・65p

このページに記載のない各種アイコンについては、
『【ブラウザ】カメラ操作画面 各部名称一覧』 ・・・11p
をご参照ください。

【ブラウザ】360°（全方位）カメラの設定



360°（全方位）カメラ設定ボタンをクリックして、
表示設定ボタンと表示切替ボタンを呼び出します。

各ボタンクリック時の動作については、
以下ページをご参照ください。

① 表示設定ボタン ・・・ 66p

② 全方位撮像表示ボタン ・・・ 67p

③ 疑似PTZ表示ボタン ・・・ 68p

④ パノラマ表示ボタン ・・・ 69p

⑤ 4分割表示ボタン ・・・ 70p

②～⑤の表示切替で選択している表示モードが、カメラ一覧，
録画映像のダウンロードやタイムラプス映像のダウンロードなどに反映されます。

【ブラウザ】360°（全方位）カメラの表示設定



カメラ設置

① カメラの設置状態に合わせて選択してください。

正面　　:レンズが横向きになる状態で設置した場合

天井　　:レンズが下向きになる状態で設置した場合

床　　:レンズが上向きになる状態で設置した場合

パノラマ設定

② パノラマ表示モード時（天井・床設置時の機能）に、全方位撮像からパノラマに分割する境界線を切り替えます。

③ パノラマ表示モード時に映像が反転している場合は、このトグルスイッチで調整してください。

④ 【設定反映】をクリックすると、①～③で設定変更した内容が保存されます。

【ブラウザ】360°（全方位）カメラの全方位撮像表示

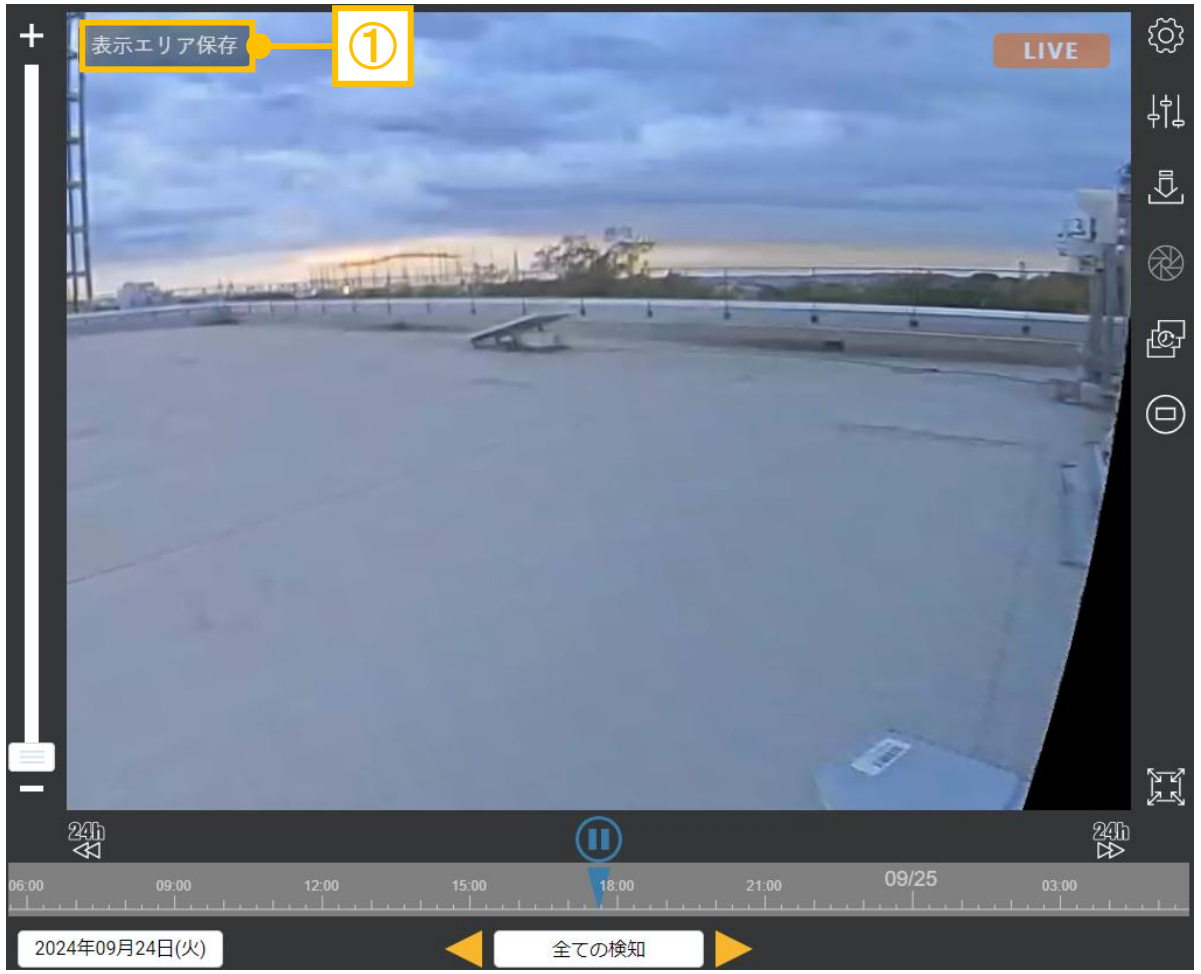


全方位撮像表示された映像に切り替わります。

《カメラー覧》画面も全方位撮像表示映像になります。

ダウンロードした録画映像や、タイムラプスなども全方位撮像表示映像になります。

【ブラウザ】360°（全方位）カメラの疑似PTZ表示



疑似的にPTZ表示された映像に切り替わります。

この画面では、マウスのドラッグ操作によって映像のクリップ，ホイール操作によって映像の拡大/縮小が可能です。

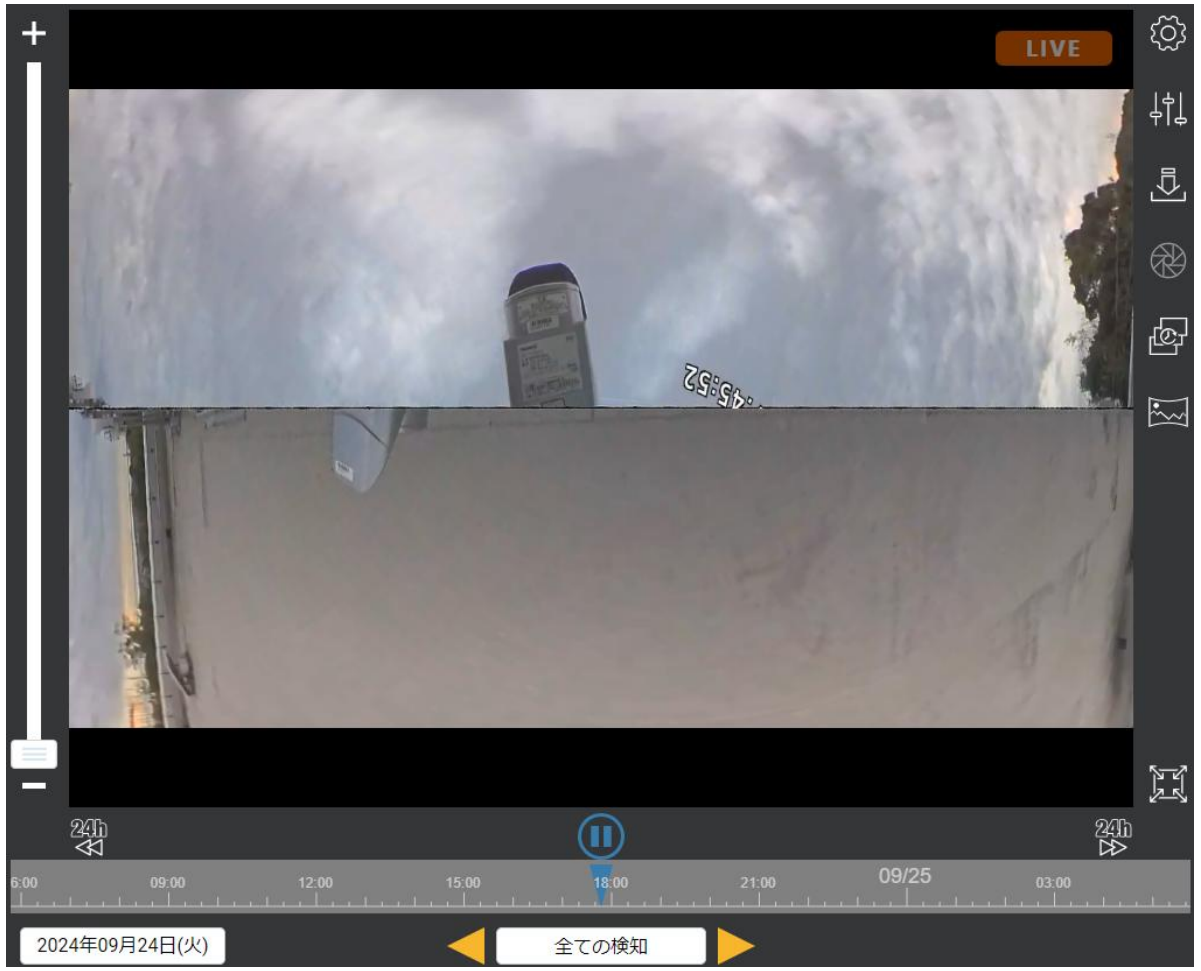
① 現在のクリップ位置を保存する場合は【表示エリア保存】をクリックしてください。

保存した内容は《カメラ一覧》画面にも反映されます。
※設置場所の設定を変更すると、表示エリアがリセットされます。

録画映像のダウンロードや、タイムラプスのダウンロードにも反映されます。

クリップ位置の情報は、カメラに紐付けて保存されています。そのため、他のブラウザで表示した際や、共有している他のアカウントを使用して表示した際にも反映されます。

【ブラウザ】360°（全方位）カメラのパノラマ表示



パノラマ表示された映像に切り替わります。
※パノラマ表示モードは、天井設置または床設置時に最適化されています。

《カメラー覧》画面もパノラマ表示映像になります。

ダウンロードした録画映像や、タイムラプスなどもパノラマ表示映像になります。

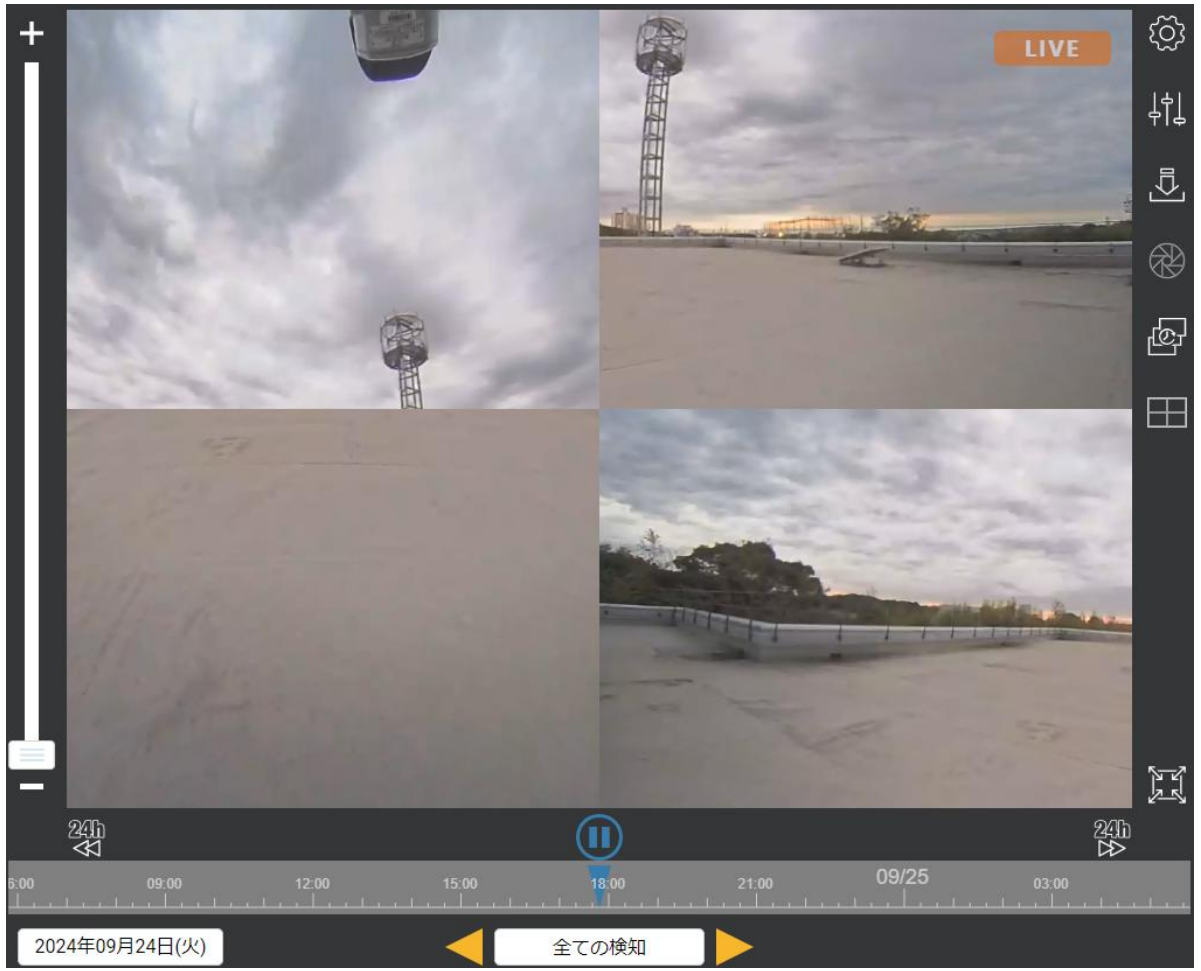
映像を分割する境界線の設定を変更することができます。

変更方法は、66pをご参照ください。

パノラマ映像が上下反転している場合は調整（180度回転）が可能です。

調整方法は、66pをご参照ください。

【ブラウザ】360°（全方位）カメラの4分割表示

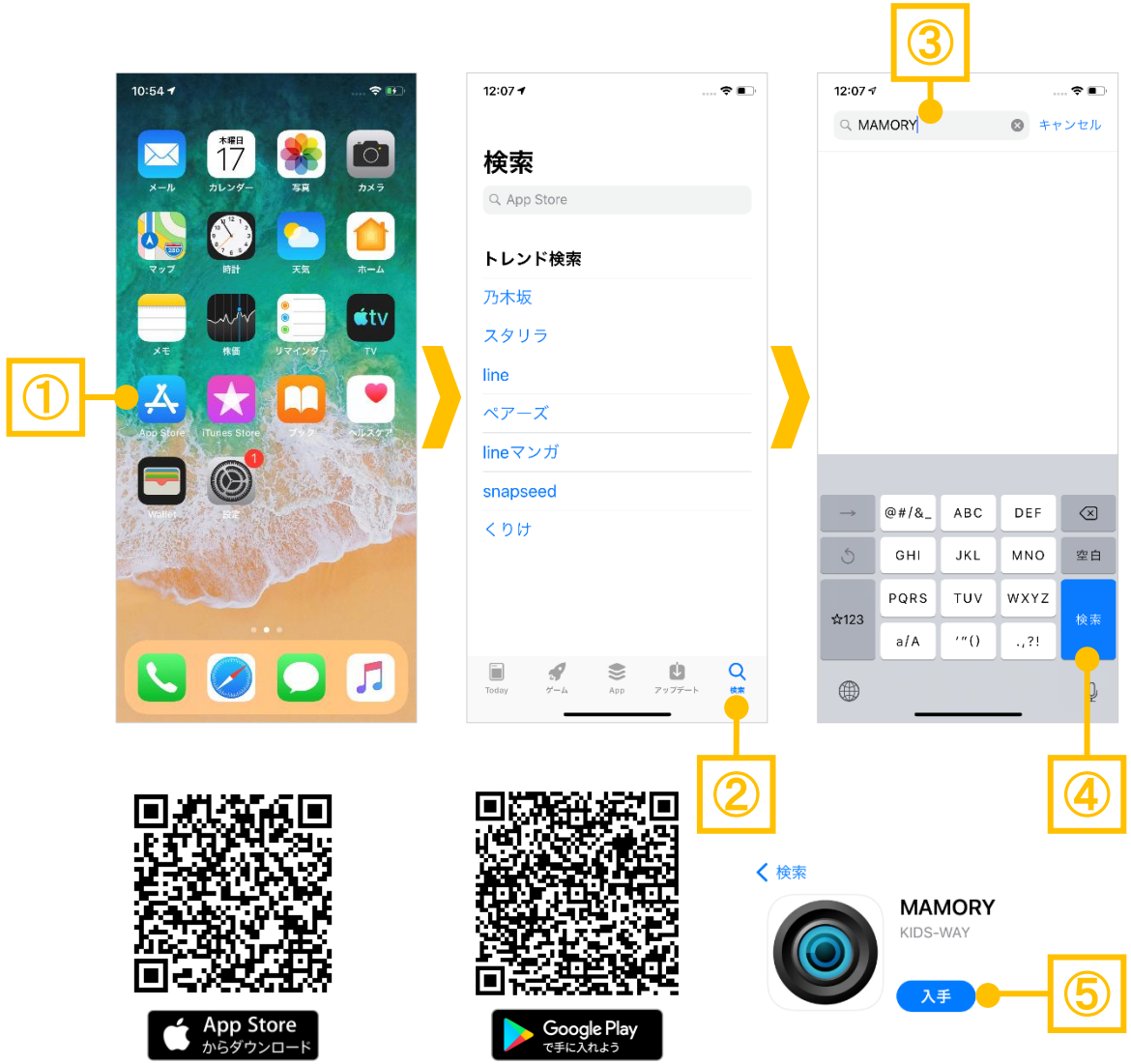


4分割表示された映像に切り替わります。

《カメラー覧》画面も4分割表示映像になります。

ダウンロードした録画映像や、タイムラプスなども4分割表示映像になります。

【アプリ】アプリをダウンロードする



App Store からダウンロード

Google Play で手に入れよう

スマートフォン、タブレット端末などで閲覧するには専用アプリを利用します。

※アプリのダウンロード、利用にはAppleやGoogleのアカウントが必要になります。

このマニュアルでは、端末にiPhoneを使用した場合の手順を解説しています。

① インターネットに接続できる環境で「App Store」を起動 します。

② 画面下の【検索】をタップします。

③ 検索欄に「MAMORY」を入力します。

④ 検索します。

⑤ 検索結果から「MAMORY」の【入手】をタップして、アプリをインストールしてください。

または、左図のQRコードを読み取るとダウンロードページにアクセスができます。

【アプリ】ログインする 1/2



アプリを起動してカメラを閲覧します。

① インストールしたMAMORYアプリをタップして起動します。

② カメラ管理番号を入力してください。

③ 付属の設定情報シートに記載してあるパスワードを入力してください。

④ チェックを入れるとパスワード欄に入力している文字が確認できます。

⑤ チェックを入れてログインすると、手動でログアウトするまでログイン情報の入力が不要となります。

⑥ 【ログイン】をタップしてください。

【アプリ】ログインする 2/2



初めてのログイン時はパスワード変更を促されます。

① 半角英数字4桁以上16桁以内で新しいパスワードを入力してください。
※前画面でログインに使用したパスワードと同一のものでも入力可能です。

② 確認のため①と同じパスワードを入力してください。

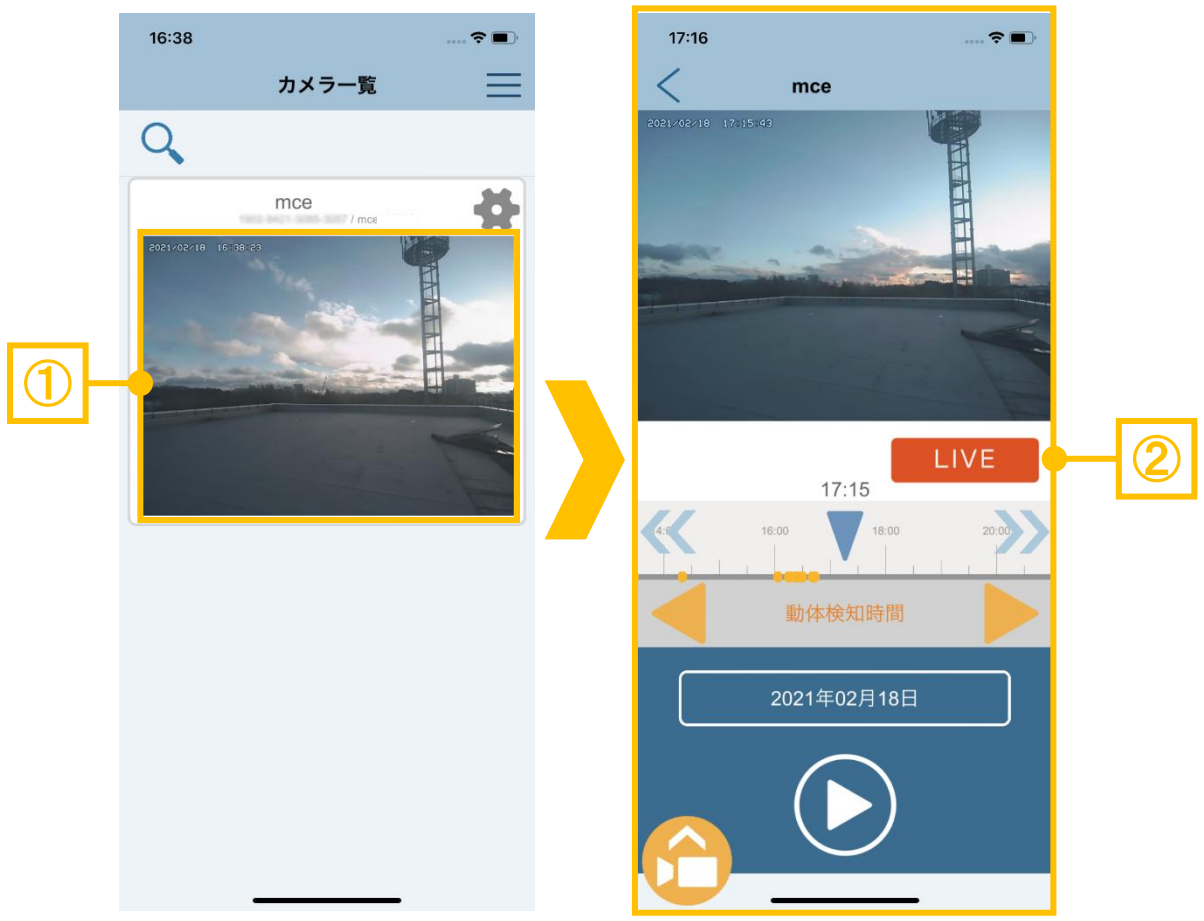
③ 【OK】をクリックしてください。
※パスワードの変更はログイン後にも実施できます。

ログインに成功すると、カメラー覧が表示されます。

《カメラー覧》画面では、登録されているカメラをまとめて閲覧することができます。

カメラは名称順で表示され、LIVE映像を再生します。
※表示するカメラの台数により映像のフレーム数は低下します。

【アプリ】カメラの操作画面を表示する



《カメラ一覧》画面で表示されているカメラパネルをタップすると、カメラの操作画面に移動します。

操作画面では以下に挙げる操作を実行できます。

・LIVE映像の閲覧

・カメラの操作

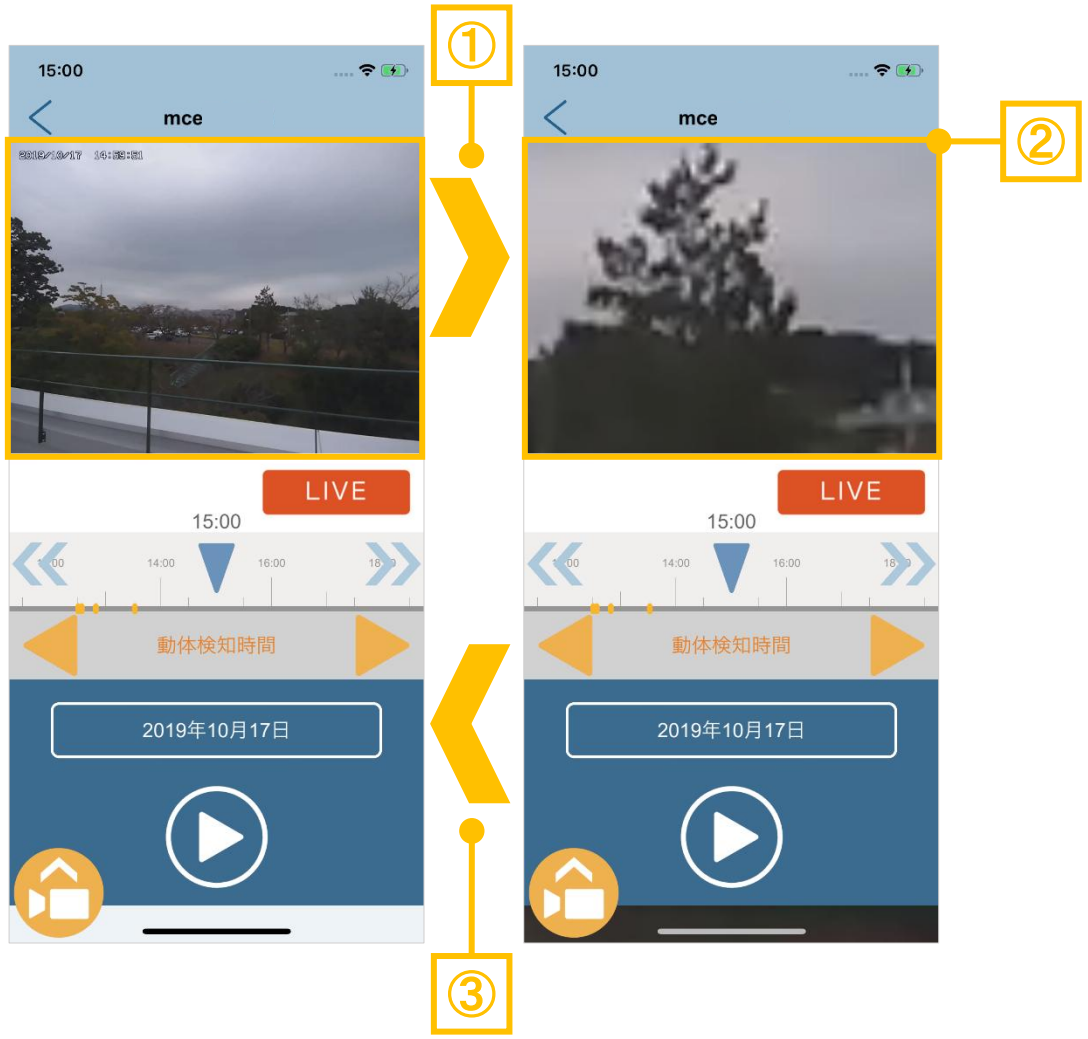
・録画映像の閲覧

※操作画面に移動したときは、LIVE映像が再生されています。

① パネルの映像部をタップしてください。

② カメラの操作画面に遷移します。

【アプリ】カメラの映像を拡大する



カメラ操作画面で映像をピンチアウトすることで、カメラ映像を拡大できます。

また、拡大表示中に映像部をスワイプすることで、拡大した領域を移動できます。

① ピンチアウトすると、映像を拡大します。

② スワイプすると、拡大している領域を移動します。

③ 拡大表示中にピンチインすると、映像を縮小します。

※ピンチアウト：画面に2本の指で触れ、指の間隔を広くする動作

※スワイプ：画面に触れ、その指先をスライドさせる動作

※ピンチイン：画面に2本の指で触れ、指の間隔を狭める動作

【アプリ】カメラを操作する 1/2



LIVE映像を見ながら、カメラの向きや明度，ズーム率などを操作することができます。

※カメラの機種によって操作内容は異なります。
※録画再生中はカメラ操作パネルを表示できません。

① タップすることでカメラ操作パネルを表示します。

② 映像をスワイプ、ピンチ操作することでカメラの向きやズーム倍率を変更します。【PT型/ZM型/NZ型】

③ 明度を変更します。

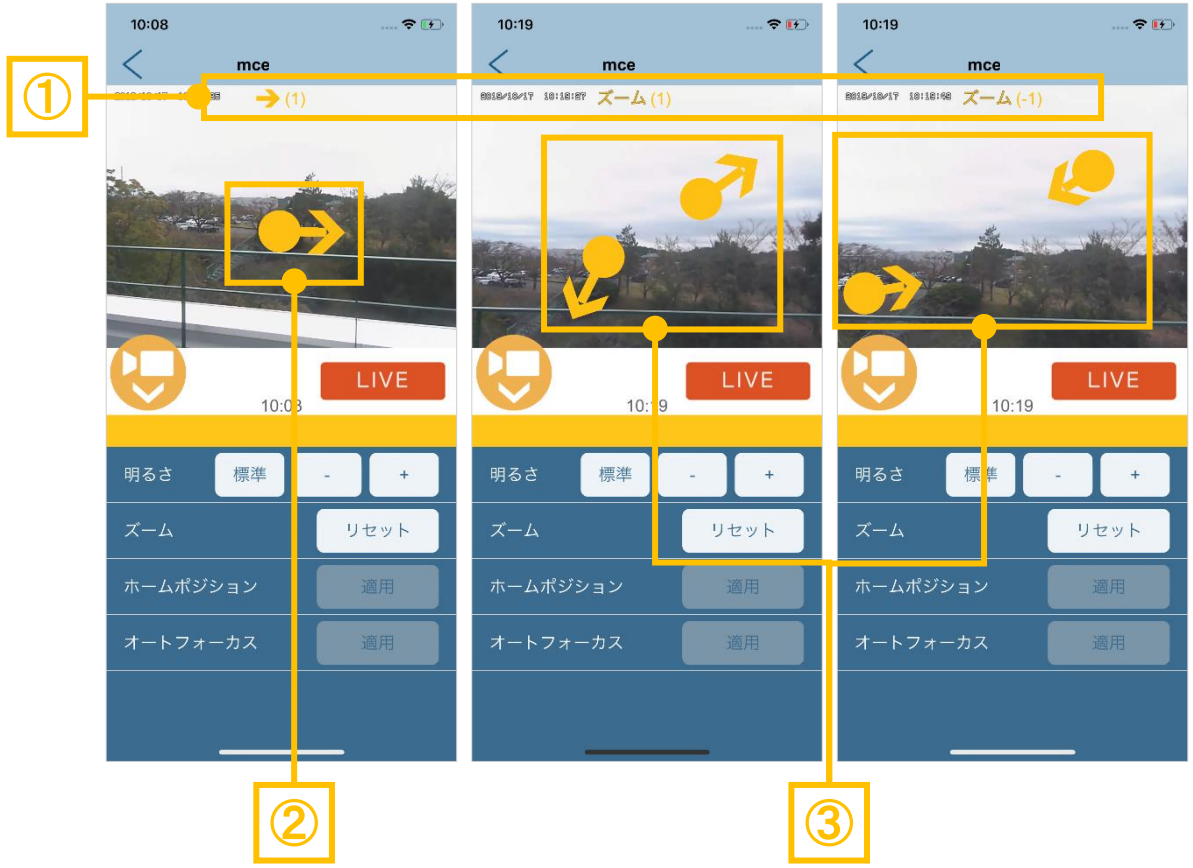
標準	:明度を初期値に戻します。
＋	:画面の明度を上げます。
－	:画面の明度を下げます。

④ ズーム倍率を1倍に戻します。【PT型/ZM型/NZ型】

⑤ カメラをホームポジションに移動させます。ホームポジションが有効な時のみ使用できます。【PT型/ZM型/NZ型】

⑥ フォーカスを調整します。【NV型/ZM型/NZ型】

【アプリ】カメラを操作する 2/2



カメラの向きの変更やズームについて詳しく説明します。

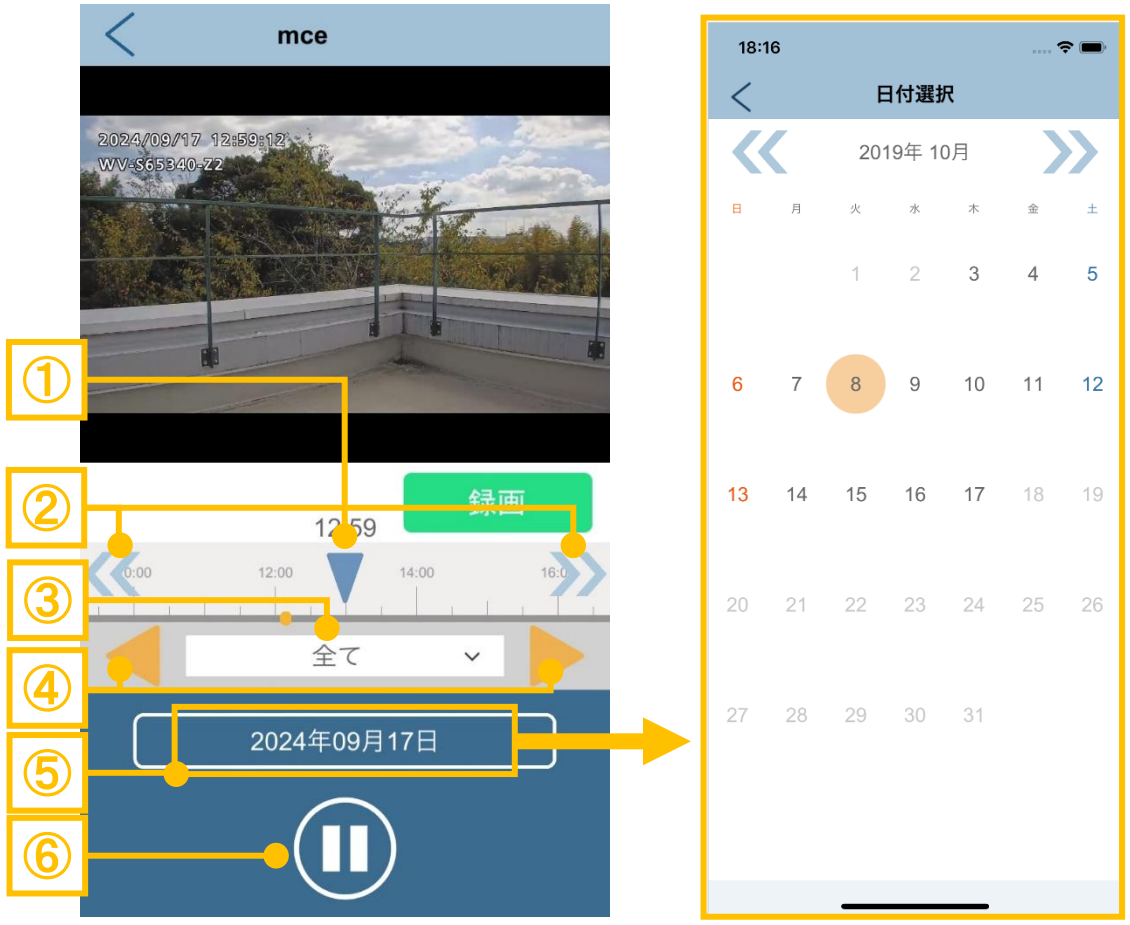
① 現在の操作が移動/ズームであることを示しています。
()内の数字は移動量/ズーム量を表します。
（数字は【1～3】の3段階表記です）

② 映像に1本の指で触れると、1つの点と矢印が表示されます。
指をスライドさせると矢印が動き、カメラがその方向に回転します。矢印の長さによって移動量が変化します。

③ 映像に2本の指で触れると、2つの点と矢印が表示されます。
指同士を遠ざけるとズームイン、近づけるとズームアウトします。矢印の長さと矢印間の距離によって移動量が変化します。

※2本の指で同時に映像に触れるとズームできないことがあります。
※その場合は、同時ではなく順番に触れてください。

【アプリ】カメラの録画映像を閲覧する



過去の日付や時刻を選択して、録画映像の閲覧ができます。

録画再生中は『録画』と表示されます。また、録画再生中に『録画』部をタップすると、LIVE再生に切り替わり、表示も『LIVE』と変更されます。

① スライダーをスワイプして、映像の再生時刻を変更します。
▼の位置にある時刻の映像を再生します。

② ≪≫をタップすると時刻を24時間前/後に移動します。

③ 適用する検知種別を【全て/標準動体検知/動体検知】の中から選択できます。

④ ◀▶をタップすると、動体検知のあった時間に移動します。
※動体検知のあった時間には●が表示されます。

⑤ タップするとカレンダーを表示します。カレンダーの中から日付を選択すると、その日の映像を再生します。

⑥ タップすると映像を再生/停止します。

【アプリ】カメラを設定する



《カメラ一覧》画面で ⚙ をクリックするとカメラの設定画面を表示します。

① 利用者が設定したカメラ名称が確認できます。

② カメラシリアル番号が確認できます。

③ 工場出荷時のカメラ名称が確認できます。

④ カメラの向きや明度，ズーム倍率などを一定時間で元に戻す設定です。フリッカーの設定もこちらになります。 ･･･80p

⑤ 動体検知およびAI検知機能の設定です。 ･･･81-91p
※アカウント名と初期カメラ名称が同一の場合のみ設定できます。
※AI検知機能は、対応しているカメラでのみ設定が可能です。

⑥ 《カメラ一覧》で表示するカメラを分類する設定です。 ･･･92-93p

【アプリ】ホームポジションを設定する



ホームポジション設定では、カメラの向き，明度，ズーム，フォーカス等を設定して、任意の時間に自動復帰させる設定ができます。

映像がちらつく場合もこちらで設定を変更します。

※カメラの種類によって操作できる項目は異なります。

① カメラの向きとズーム率を変更します。【PT型/ZM型/NZ型】
※操作方法は76-77pの「【アプリ】カメラを操作する」を参照。

② ホームポジションの有効/無効を切り替えます。

③ 明度を調整します。【PT型/NV型/ZM型/NZ型】

④ ズーム倍率を1倍に戻します。【PT型/ZM型/NZ型】

⑤ フォーカスを調整します。【NV型/ZM型/NZ型】

⑥ 復帰時間を選択します。【PT型/ZM型/NZ型】

⑦ ①～⑥の内容をホームポジションとして設定します。

⑧ 設置現場に合わせて【屋外/50Hz/60Hz】を選択してください。

【アプリ】検知機能と設定項目について



通常、MAMORYでは映像内で動く物体を検知する「標準動体検知」が働いています。

そこへ、利用者様によって「標準動体検知」とは別にもうひとつ動体検知を追加することができます。

さらに、AI機能に対応しているカメラでは、指定領域に侵入したあるいは特定地点に滞留した人物，自動車または二輪車の識別・検知をすることができます。

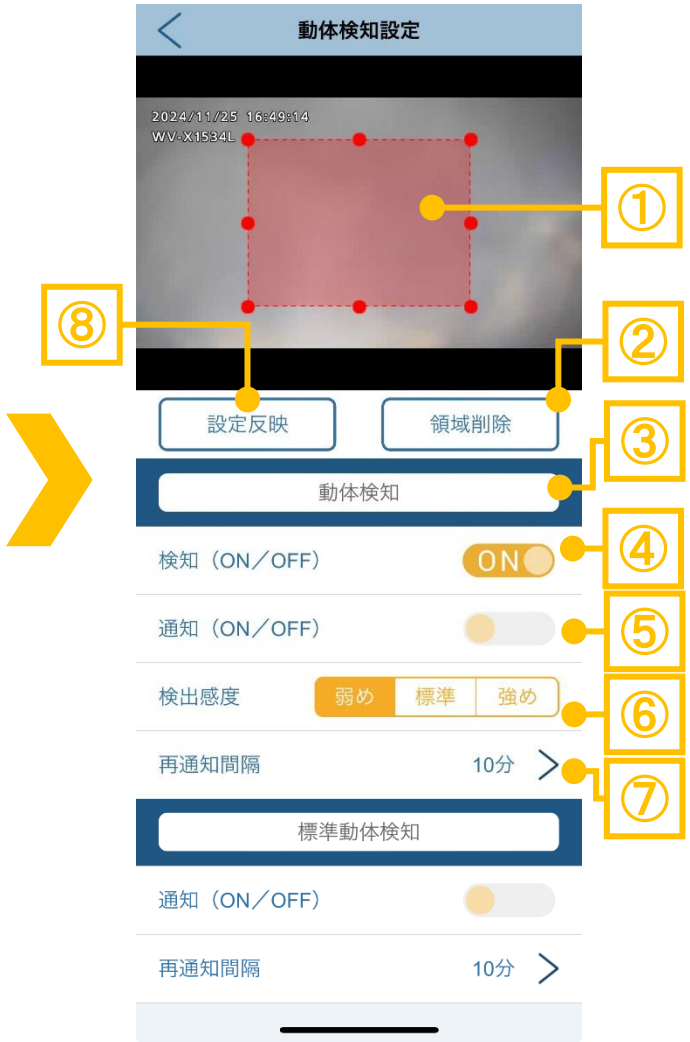
なお、これらの設定はアカウント名と初期カメラ名称が同一の場合のみ変更・操作が可能です。

AI非対応のカメラでは表示されません

① 動体検知/標準動体検知についての設定項目 ・・・82-83p
② AI機能による検知についての設定項目 ・・・84-87p
③ AI機能における検知感度等の設定項目 ・・・88p
④ AI機能における奥行きについての設定項目 ・・・89p
⑤ 検知時のメール通知先を設定する項目 ・・・90-91p

【アプリ】動体検知を設定する





利用者様によって設定ができる動体検知についての説明です。

※「動体検知」はアカウント名と初期カメラ名称が同一のときのみ設定できます。

① 映像をタップすると赤枠が現れます。この赤枠をタップすると出現する●をスワイプして動体検知の範囲を設定します。

② ①で設定した赤枠を削除します。

③ タップすると名称を変更できます。

④ 追加した動体検知機能のON/OFFを切り替えます。

⑤ 動体検知によるメール通知のON/OFFを切り替えます。

⑥ 検出感度を【弱め/標準/強め】の3段階で設定できます。

⑦ メール通知後、動体検知時に再度メールが送られるようになるまでの間隔を指定します。
※【指定しない】を選択すると、検知するたびに通知メールが届きます。

⑧ ①～⑦の設定を反映します。

【アプリ】標準動体検知を設定する



標準動体検知の設定項目についての説明です。

※動体検知と違い、検知機能をOFFにすることはできません。

① タップすると名称を変更できます。

② 標準動体検知によるメール通知のON/OFFを切り替えます。

③ メール通知後、標準動体検知時に再度メールが送られるようになるまでの間隔を指定します。
※【指定しない】を選択すると、検知するたびに通知メールが届きます。

④ ①～③の設定を反映します。

【アプリ】AI検知機能の設定をする 1/3



AI検知機能の設定方法についての説明です。
各操作方法の詳細は次ページにて説明しています。

※AI検知に対応しているカメラでのみ設定が可能です。
※非対応のカメラでは項目自体が表示されません。

① 色の付いた枠によって、設定済みのAI検知機能の範囲およびマスク範囲が示されています。

② AI検知設定を新たに作成し、追加します。 ･･･85p

③ マスクを新たに作成し、追加します。 ･･･86p
※マスクが適用された範囲はAI検知の対象外となります。

④ 【設定】【削除】以外の部分をタップすることで、既存のAI検知機能の設定内容を確認できます。

⑤ 既存のAI検知機能の設定を変更します。 ･･･85p

⑥ 既存のAI検知機能とその設定情報を削除します。

⑦ 既存のマスクの設定を変更します。 ･･･86p

⑧ 既存のマスクとその設定情報を削除します。

【アプリ】AI検知機能の設定をする 2/3





AI検知機能の新規作成・設定変更方法についての説明です。

① 図形の■部分をスワイプ操作することによって、AI検知機能を適用する範囲を指定します。

② タップすると名称を変更できます。

③ AI検知の種類を【侵入/滞留/方向/ラインクロス】の中から選択できます。 …87p
※設定変更で種類の変更はできません。新規作成する場合のみ選択可能です。

④ AI検知の種類に【方向検知】あるいは【ラインクロス検知】を設定している場合に限り、検知方向の指定ができます。 ・・・87p

⑤ 各項目のON/OFFを切り替えることで、AIによる検知対象を【車・二輪車・人物】の中から組み合わせて指定ができます。

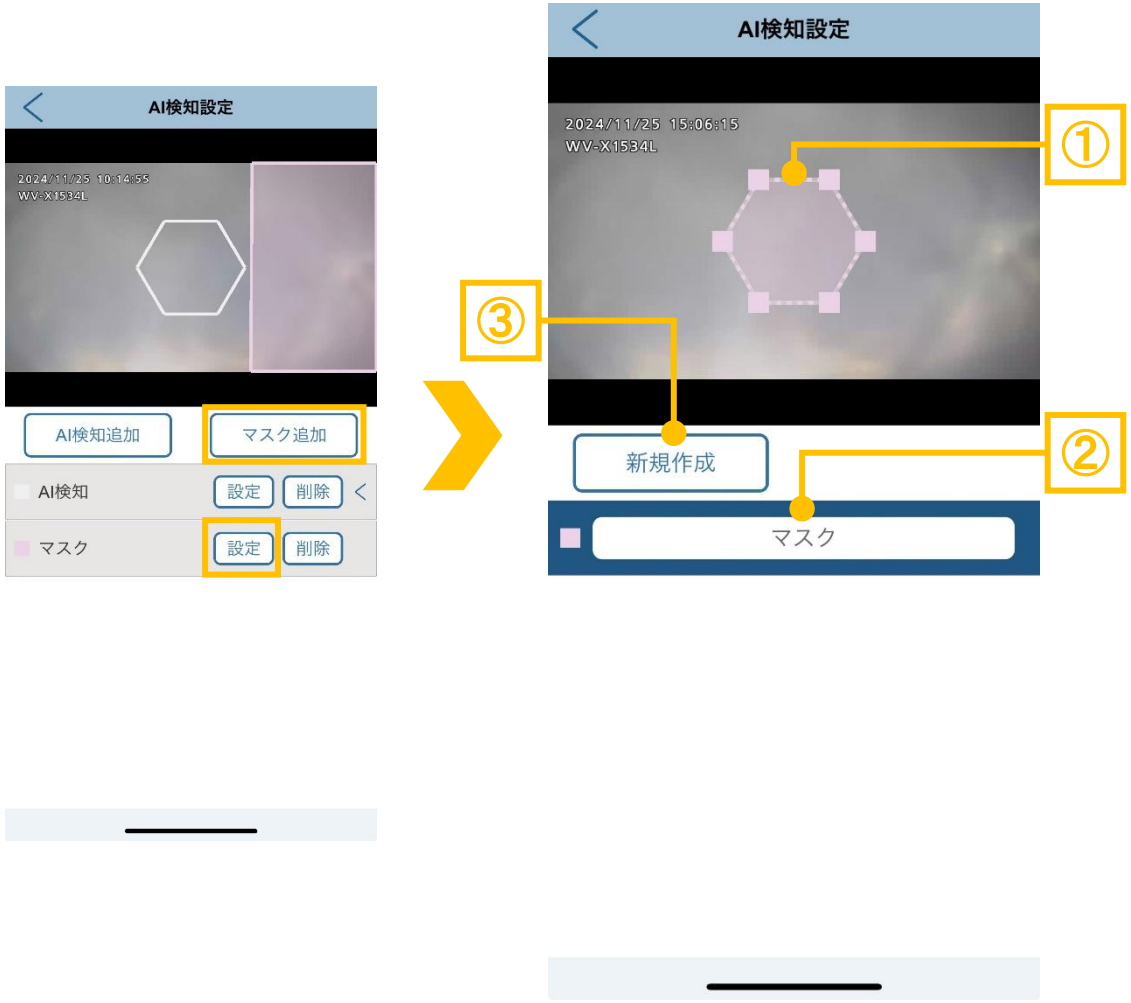
⑥ 本設定によるAI検知が動作した際のメール通知のON/OFFを切り替えます。 ・・・90p

⑦ 本設定のON/OFFを切り替えます。

⑧ メール通知後、本設定によるAI検知時に再度メールが送られるようになるまでの間隔を指定します。
※【指定しない】を選択すると、検知するたびに通知メールが届きます。

⑨ ①～⑧の設定内容を反映して新規作成/設定変更を行います。

【アプリ】AI検知機能の設定をする 3/3



マスク範囲の新規作成・設定変更方法についての説明です。

※マスクが適用された範囲はAI検知の対象外となります。

① 図形の■部分をスワイプ操作することによって、マスクを適用する範囲を指定します。

② タップすると名称を変更できます。

③ ①～②の設定内容を反映して新規作成/設定変更を行います。

【アプリ】AI検知機能の種類について





MAMORYのAI検知対応カメラでは、
以下に挙げる4種類のAI検知機能が設定可能です。

『AI-侵入検知』:
設定した枠の中に検知対象が入ってきた場合に検知します。

『AI-滞留検知』:
設定した枠の中に検知対象が一定時間を超えて留まり続けていた場合に検知します。

『AI-方向検知』:
設定した枠の中で指定した方向へ検知対象が動いていた場合に検知します。

① 8方向の中から検知する方向の指定が可能です。

『AI-ラインクロス検知』:
設定したラインを検知対象が指定した方向に通り過ぎた場合に検知します。

② ラインを基準にして【A→B】【B→A】【A⇔B】の中から検知する方向の指定が可能です。

【アプリ】AI検知機能の全般設定



AI検知機能の全般設定についての説明です。

※AI検知に対応しているカメラでのみ設定が可能です。
※非対応のカメラでは項目自体が表示されません。

① 動体検知感度を【1～7】の中から指定できます。
※数値が低いと微細な動きにも反応するようになりますが、同時に誤検知が発生する可能性も高くなります。

② AI-人物判定感度，AI-車判定感度，AI-二輪車判定感度を【1～99】の中から指定できます。
※数値が低いと検出頻度は上がりますが、誤検知の可能性も高くなります。

③ 『AI-侵入検知』において、指定枠内に検知対象が入ってきてから通知を出すまでの時間を【0.2秒～10秒】のあいだで設定できます。

④ 『AI-滞留検知』において、指定枠内に検知対象が留まり始めてから通知を出すまでの時間を【10秒～2分】のあいだで設定できます。

⑤ 『AI-方向検知』において、指定枠内で検知対象が移動を始めてから通知を出すまでの時間を【1秒～10秒】のあいだで設定できます。

⑥ ①～⑤の設定内容を保存します。

【アプリ】AI検知機能の奥行き設定



奥行きを設定することによって、「人物」として検出した対象のうち、明らかに「人物」の大きさから外れるものを検知から外すことができます。

※AI検知に対応しているカメラでのみ設定が可能です。
※非対応のカメラでは項目自体が表示されません。

① 2種類のマーカー（■と点線）をスワイプ操作して、画面上の「手前にいる人物」と「奥にいる人物」の大きさに合わせます。
※左図参照。2つのマーカーの位置が近いと奥行き設定が正しく動作しません。

② 奥行き設定のON/OFFを切り替えます。
※検知の精度が良くない場合は、OFFにすると解消されることがあります。

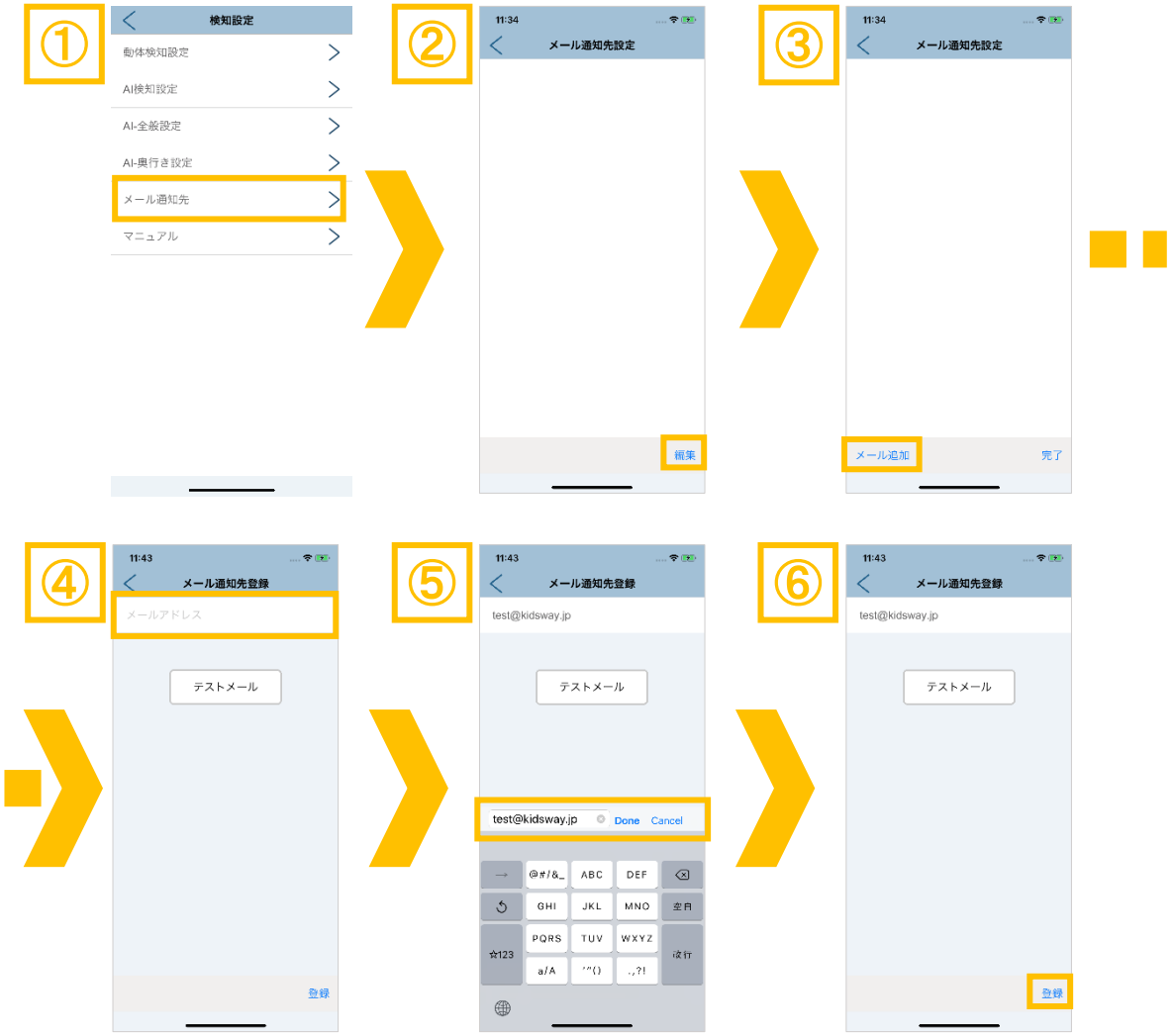
③ それぞれのマーカーに合わせた映像上の人物の実際の身長を【100cm～200cm】のあいだで入力します。

④ AIが「人物」として認識する最大サイズを、身長160cmの人を基準にして【100%～300%】のあいだで設定できます。
※150%に設定すると、240cmまでの「人物」を検出します。
※制限なしにすると、上限が撤廃されます。

⑤ AIが「人物」として認識する最小サイズを、身長160cmの人を基準にして【10%～100%】のあいだで設定できます。

⑥ ①～⑤の設定内容を保存します。

【アプリ】メール通知先を設定する 1/2



動体検知・AI検知した際に通知するメールアドレスの登録方法について説明します。。

※メールアドレスは2つまで登録できます。

① 【メール通知先】をタップします。

② 【編集】をタップします。

③ 【メール追加】をタップします。

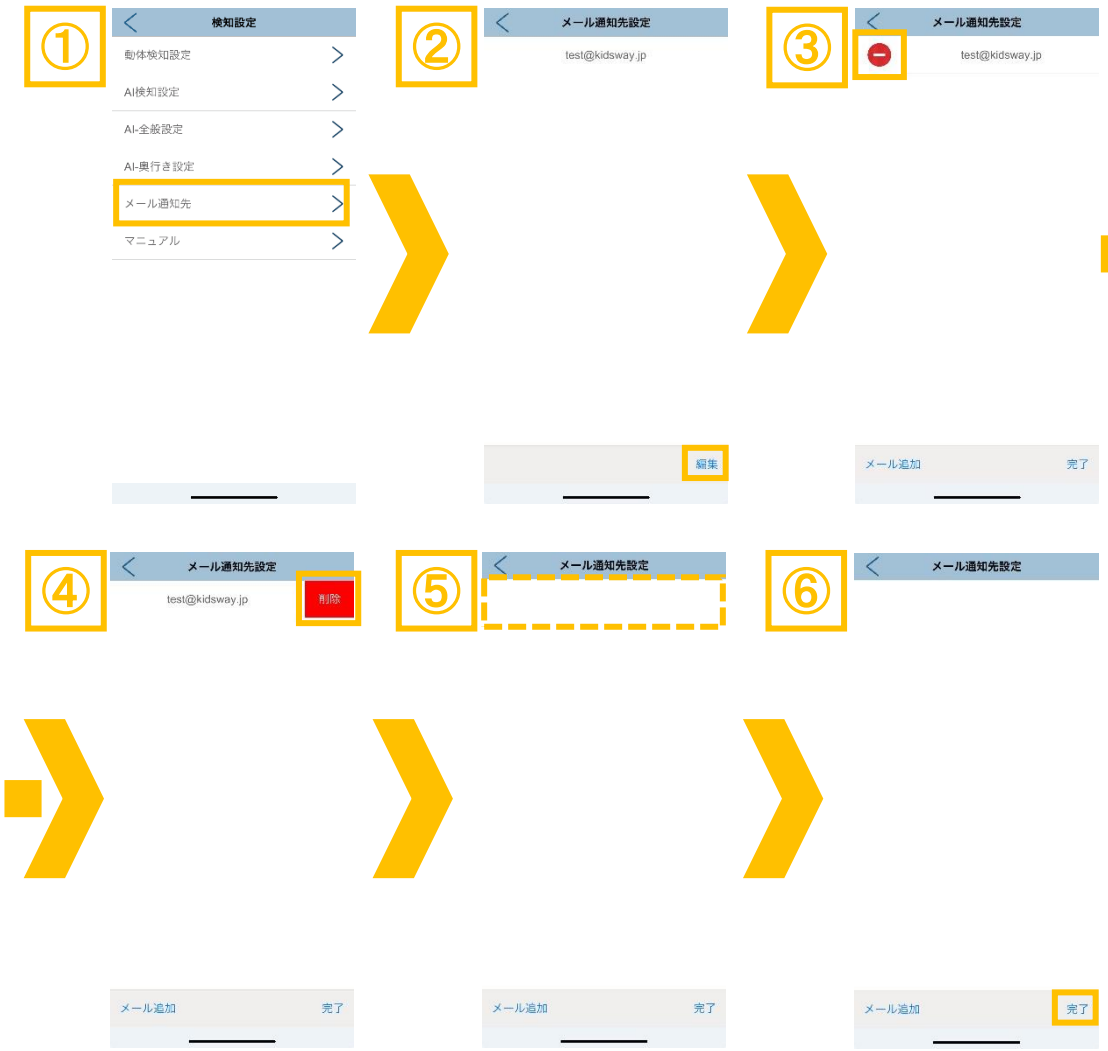
④ 【メールアドレス】欄をタップします。

⑤ 任意のメールアドレスを入力します。

⑥ 【登録】をタップします。

【テストメール】をタップすると、入力したメールアドレス宛てにテストメールが送信されます。

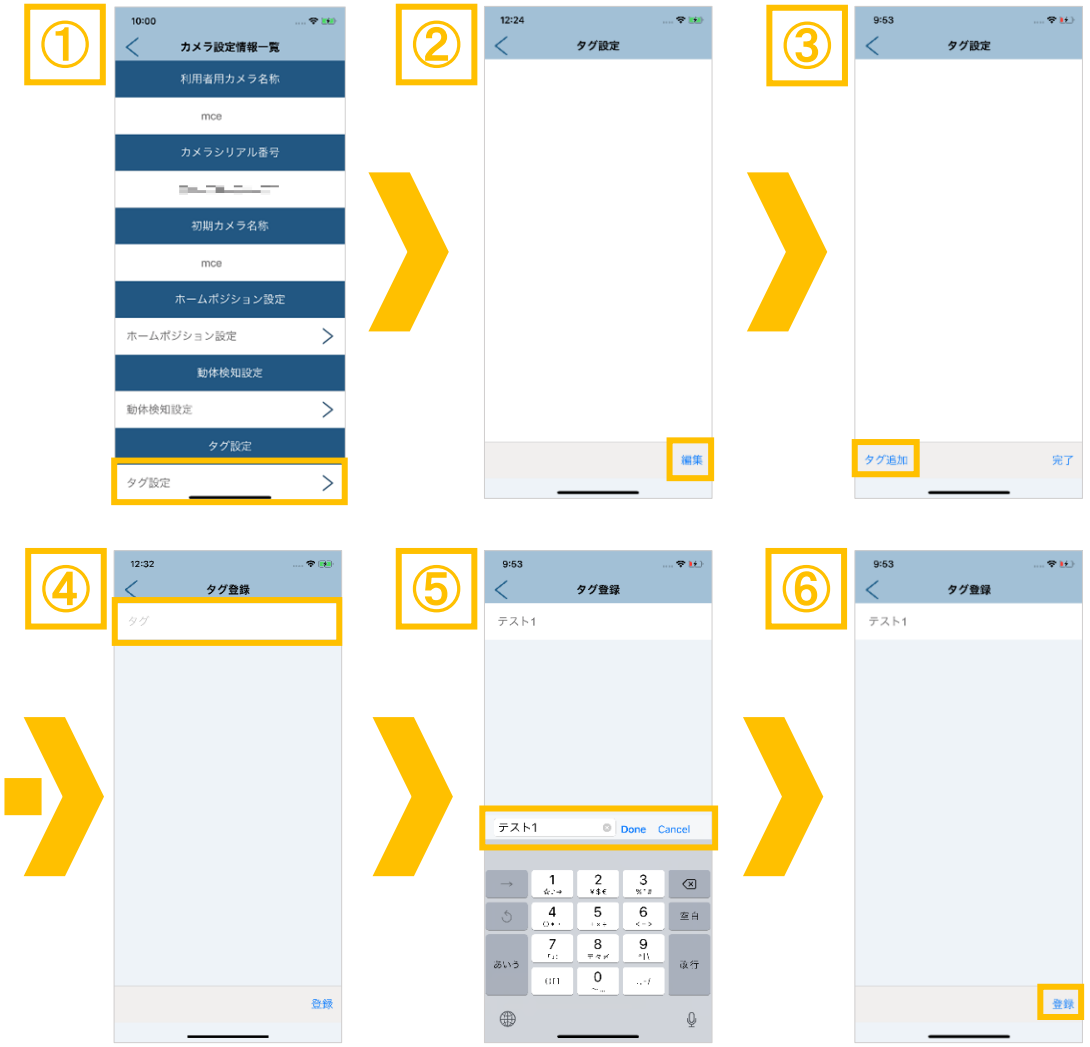
【アプリ】メール通知先を設定する 2/2



登録したメールアドレスの情報を削除する方法について説明します。

① 【メール通知先】をタップします。
② 【編集】をタップします。
③ ⛔ をタップします。
④ 【削除】をタップします。
⑤ メールアドレスの情報が削除されます。
⑥ 【完了】をタップします。

【アプリ】タグを設定する

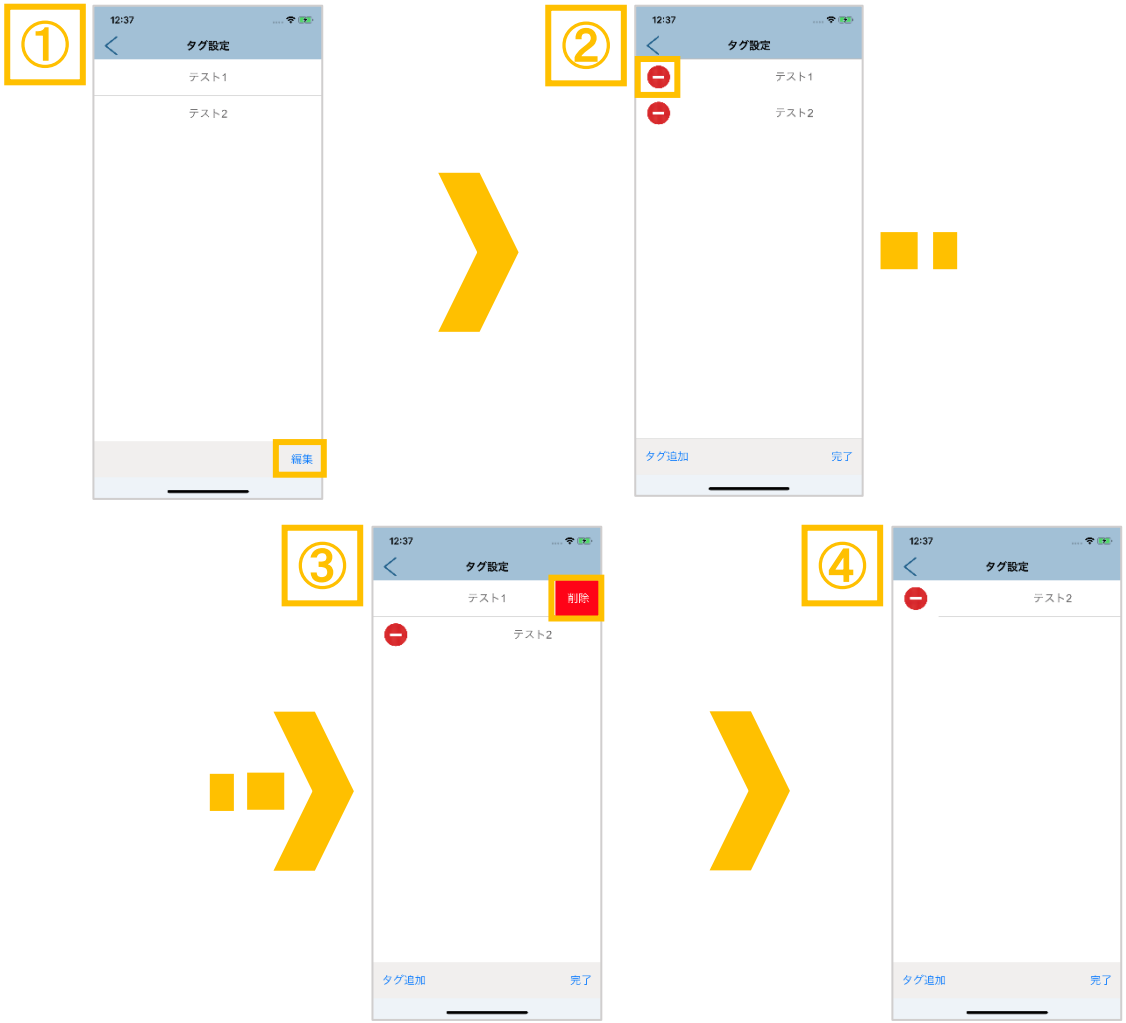


カメラにタグを設定すると、《カメラ一覧》画面でタグが設定されたカメラのみを表示できるようになります。

① 【タグ設定】をタップします。
② 【編集】をタップします。
③ 【タグ追加】をタップします。
④ 【タグ】をタップします。
⑤ 任意のタグ名称を入力します。
⑥ 【登録】をタップします。

1台のカメラに対して、複数のタグが登録できます。

【アプリ】タグを削除する



不要なタグは削除できます。

① 【タグ設定】から【編集】をタップします。

② ⛔をタップします。

③ 【削除】をタップします。

④ タグが削除されます。

【アプリ】タグが設定されたカメラのみを表示する



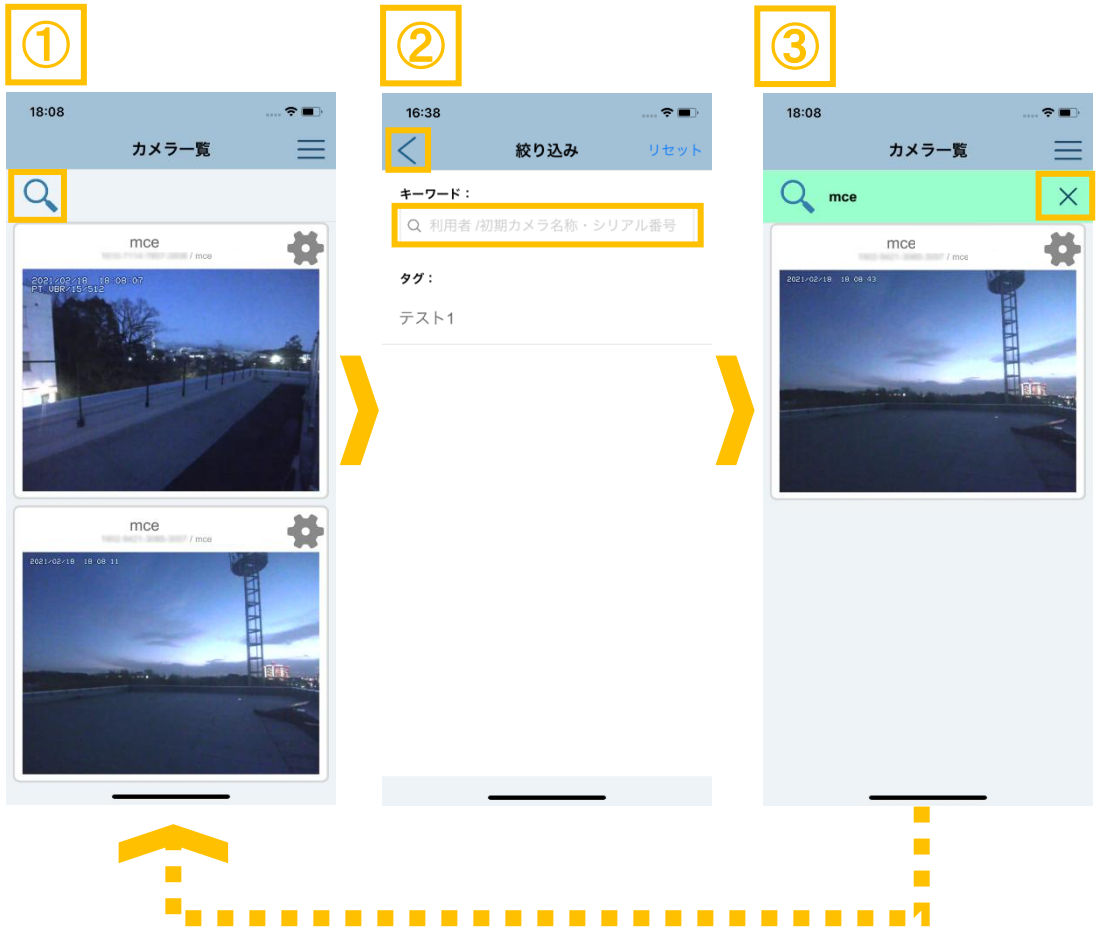
《カメラ一覧》画面にてタグを選択すると、そのタグが設定されたカメラのみが表示されるようになります。

① をタップします。

② 任意のタグをタップします。選択されたタグには✓が付きます。
その後、<をタップしてカメラ一覧に戻ります。
※タグが設定されていない場合は何も表示されません。
※タグは複数選択できます。

③ 選択されたタグ名と、そのタグが設定されたカメラのみが表示されます。
✕をタップするとタグの選択状態を解除します。

【アプリ】カメラを検索する



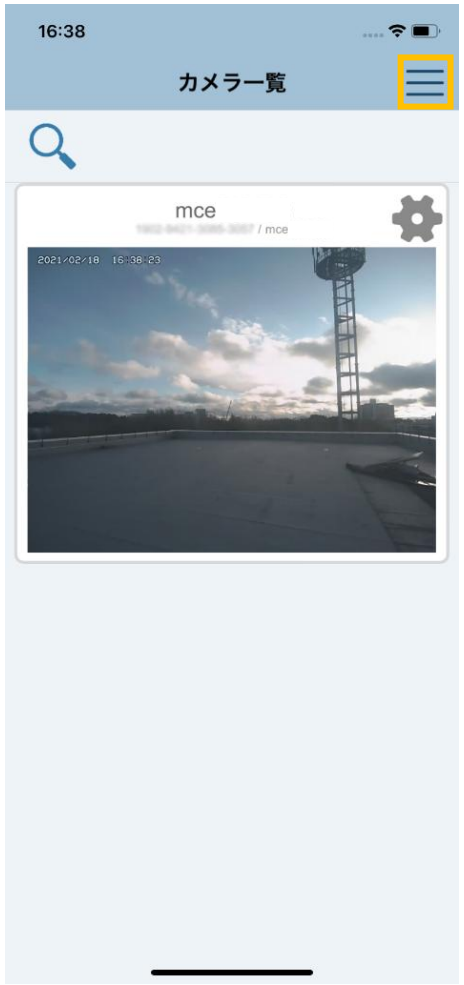
【キーワード】に検索条件を入力すると、その条件でカメラを検索して絞り込み表示ができます。

① をタップします。

② 【キーワード】の欄に任意の利用者名，初期カメラ名称またはシリアル番号を入力します。その後、をタップしてカメラ一覧に戻ります。

③ 検索条件で絞り込んだカメラが表示されます。 をタップすると絞り込み状態を解除します。

【アプリ】設定画面について





《カメラ一覧》画面の右上にある ☰ をタップすることで、《設定》画面を表示します。
《設定》画面では、以下に挙げる操作を実施できます。

① アカウントに関する設定をします。 ・・・97-99p
② カメラに関する設定をします。 ・・・100-102p
③ 再生方法に関する設定をします。 ・・・103p
④ お問い合わせページを表示します。
⑤ ヘルプページを表示します。
⑥ プライバシーポリシーを表示します。

【アプリ】アカウント設定 パスワード変更



パスワードの変更方法について説明します。

① 《設定》画面にて【アカウント】をタップしてください。

② 【パスワード変更】をタップしてください。

③ 現在のパスワードを入力してください。

④ 新しいパスワードを入力してください。
（半角英数字4桁以上16桁以内）

⑤ 確認のため、④と同じパスワードを入力してください。

⑥ 【変更する】をタップするとパスワードが変更されます。

【アプリ】アカウント設定 新規ユーザー登録



任意の名称でアカウントを追加することができます。

※【新規ユーザー登録】はユーザー名が「mce」から始まるアカウントでログインしている場合のみ表示されます。

① 《設定》画面にて【アカウント】をタップしてください。

② 【新規ユーザー登録】をタップしてください。

③ 新規に追加するユーザー名を入力してください。
※既に存在するユーザー名は追加できません。

④ ユーザーに設定するパスワードを入力してください。
（半角英数字4桁以上16桁以内）

⑤ 確認のため、④と同じパスワードを入力してください。

⑥ 【登録する】をタップすると新規ユーザーが発行されます。

発行したアカウントは、90日間ログインしていないと自動で削除されます。

【アプリ】アカウント設定 ログアウト



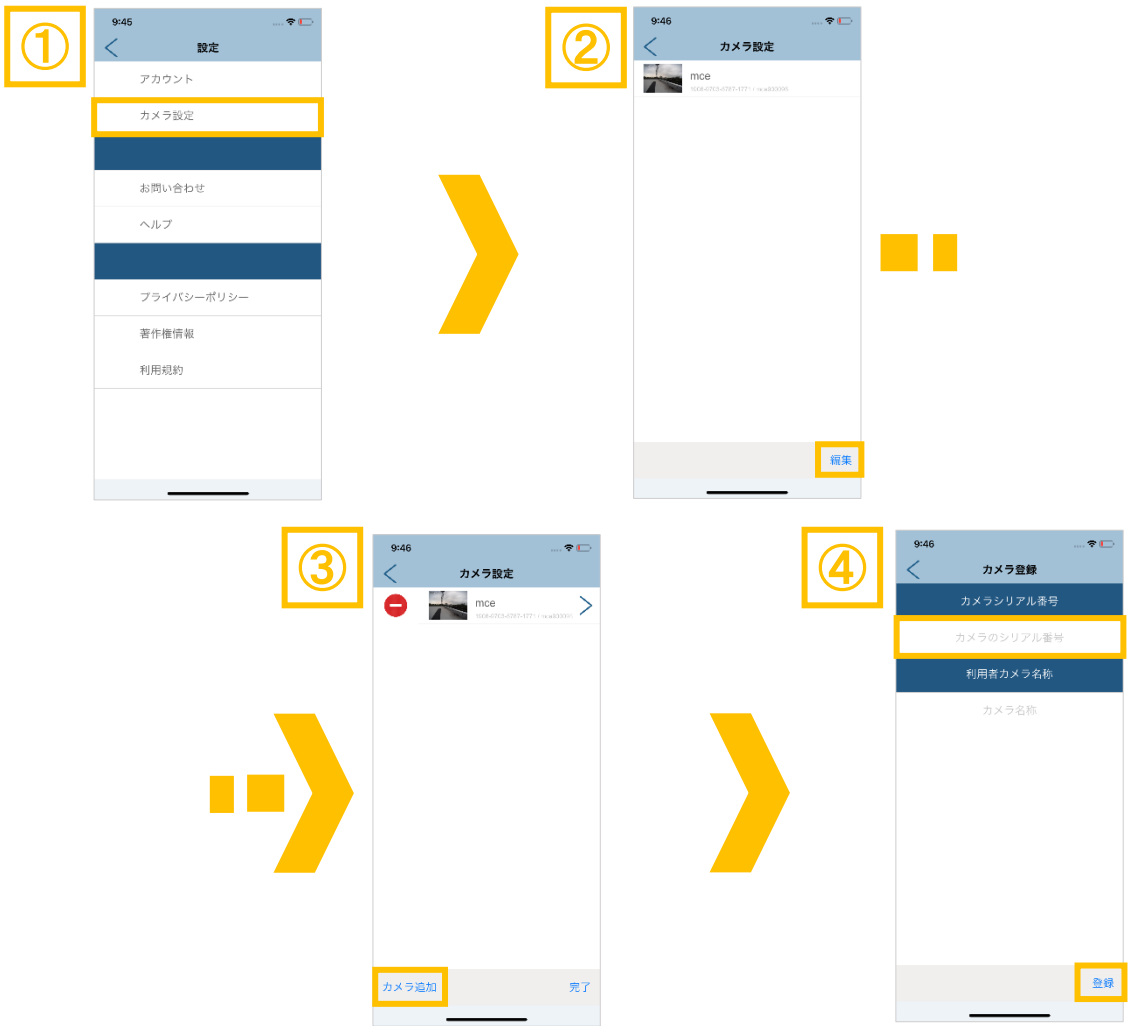
ログアウト方法について説明します。

① 《設定》画面にて【アカウント】をタップしてください。

② 【ログアウト】をタップしてください。

③ 【OK】をタップするとログイン画面に戻ります。

【アプリ】カメラ設定 カメラの追加



アカウントにカメラを追加する方法について説明します。

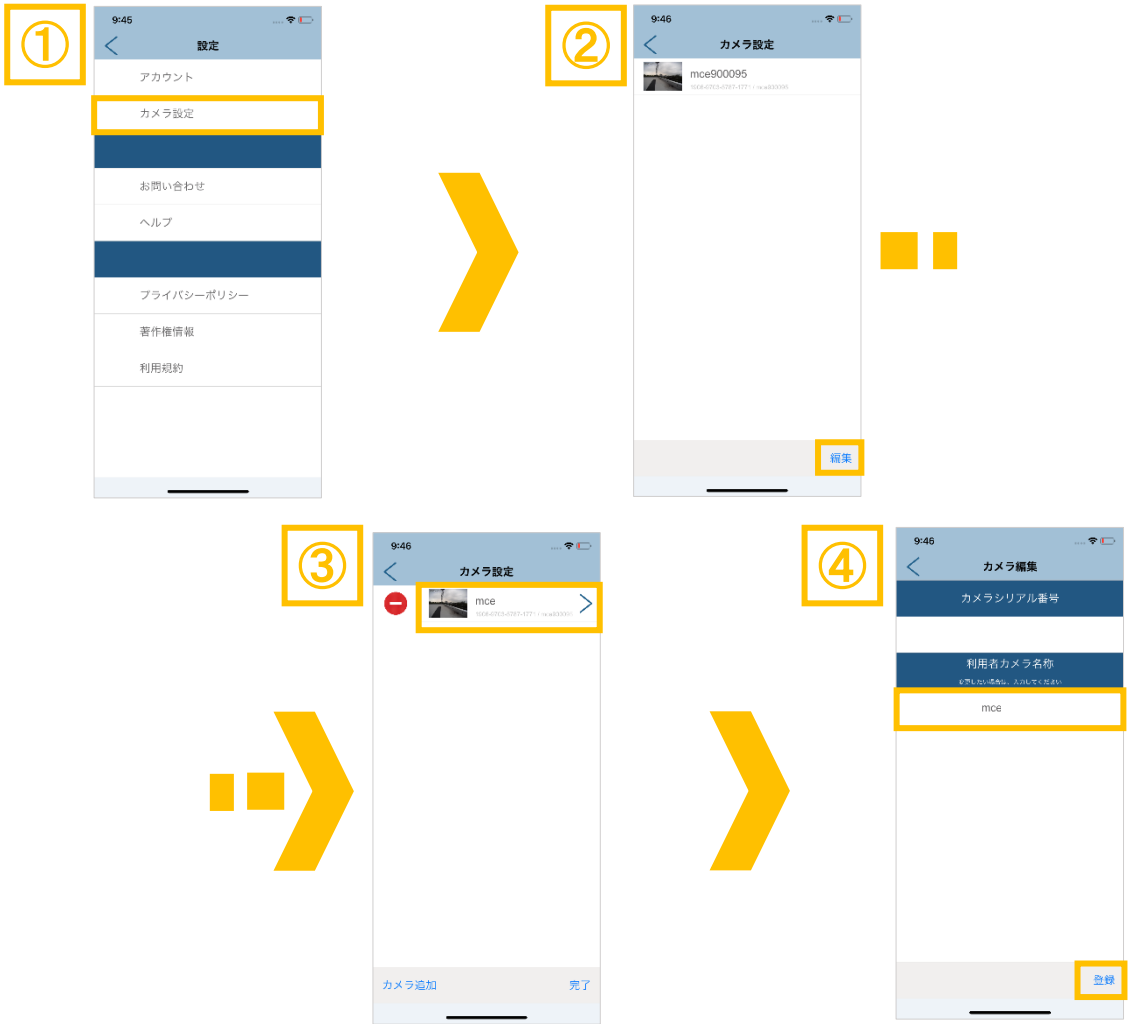
① 《設定》画面にて【カメラ設定】をタップしてください。

② 【編集】をタップしてください。

③ 【カメラ追加】をタップしてください。

④ カメラのシリアル番号を入力してください。
その後、【登録】をタップしてください。

【アプリ】カメラ設定 カメラの名称変更



登録済みカメラの名称変更方法について説明します。

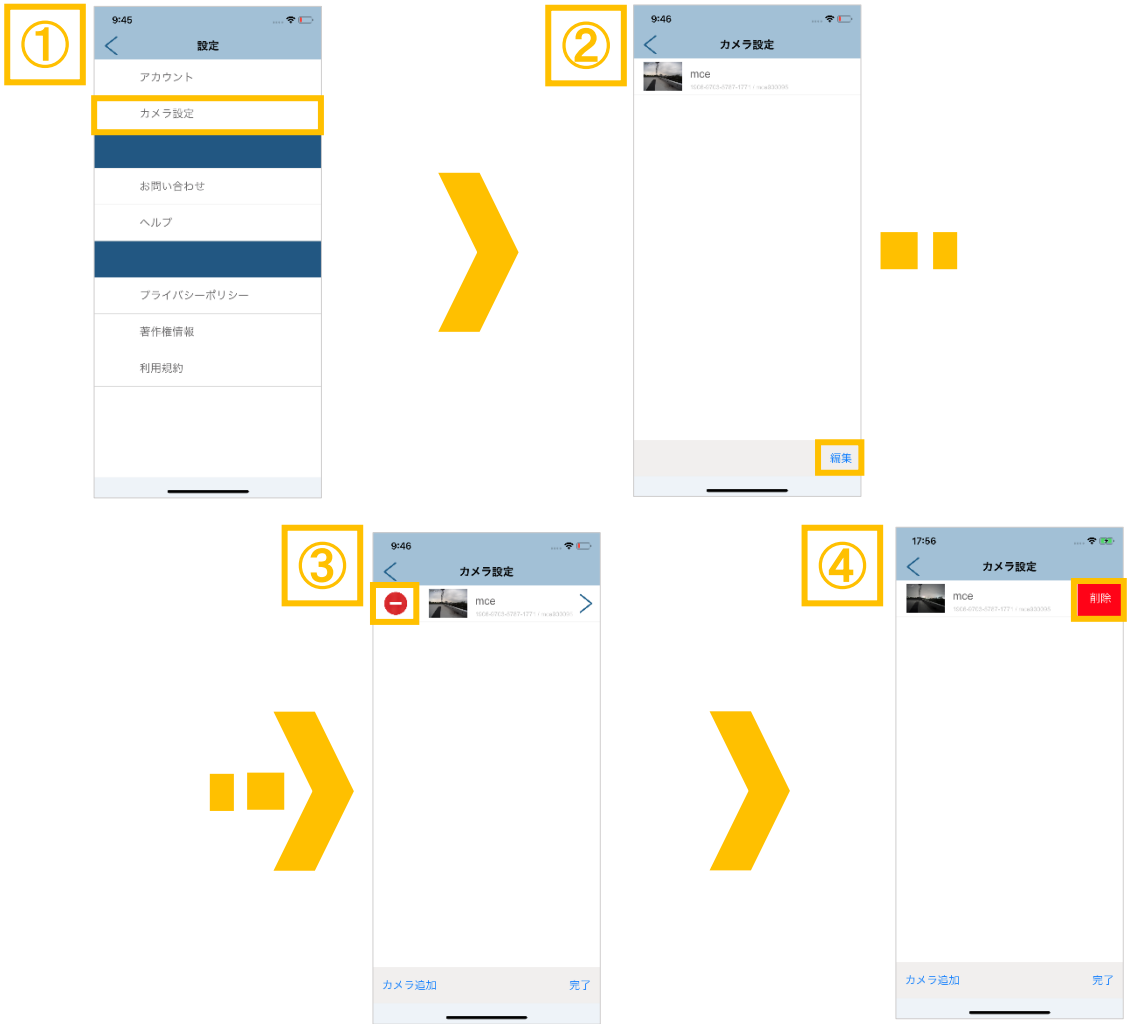
① 《設定》画面にて【カメラ設定】をタップしてください。

② 【編集】をタップしてください。

③ 名称を変更するカメラをタップしてください。
※⊖はタップしないでください。

④ カメラの名称部分をタップし、任意の名称を入力してください。
その後、【登録】をタップしてください。

【アプリ】カメラ設定 カメラの削除



登録済みのカメラをアカウントから削除する方法について説明します。

① 《設定》画面にて【カメラ設定】をタップしてください。

② 【編集】をタップしてください。

③ 削除するカメラの⛔をタップしてください。

④ 【削除】をタップしてください。
※削除処理が即実行されます。

【アプリ】再生方法 モード切り替え



カメラのLIVE映像視聴開始時における再生方法の切り替え方と、それぞれの再生方法の違いについて説明します。

① 《設定》画面にて【再生方法】をタップしてください。

② プルダウンメニューから【通常再生/リアルタイム再生】のどちらかを選択してください。
※変更すると即反映されます。

・再生方法の違いについて

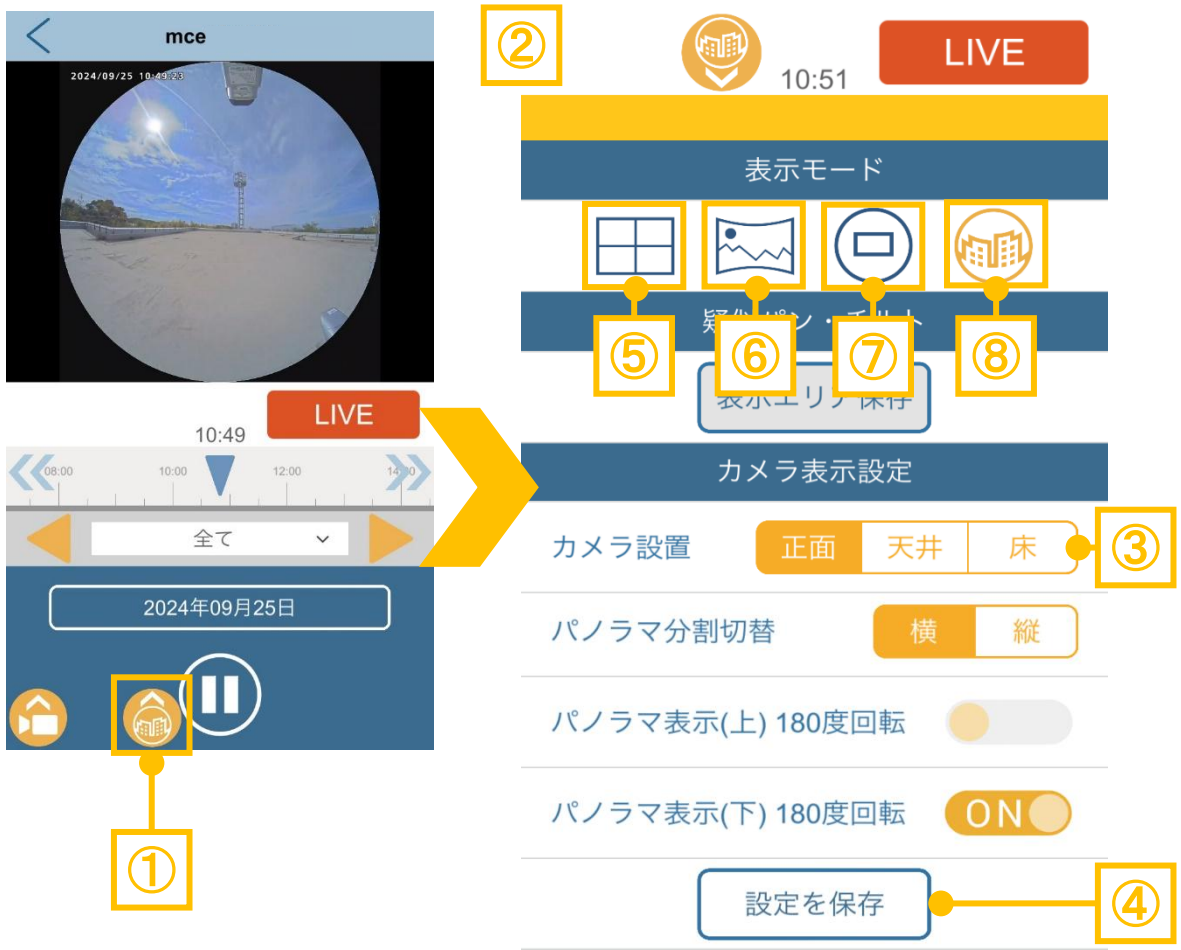
通常再生　　・・・ 20～30秒の遅延がある従来のモード

リアルタイム再生　　・・・ 遅延を1秒程度に抑えた低遅延モード

※カメラ映像視聴時の『LIVE』表示部の色で現在のモードが分かります。（左図参照）

※リアルタイム再生非対応の場合、『LIVE』表示部は赤色になっています。（左図参照）

【アプリ】360°（全方位）カメラの操作



アプリ版MAMORYにおける360°（全方位）カメラの設定方法を説明します。

① 360°（全方位）カメラ設定ボタンをタップします。

② 360°（全方位）カメラ用のメニューが開きます。

③ カメラの設置状況に合わせて【正面/天井/床】から該当するものをタップしてください。

④ 【設定を保存】をタップします。

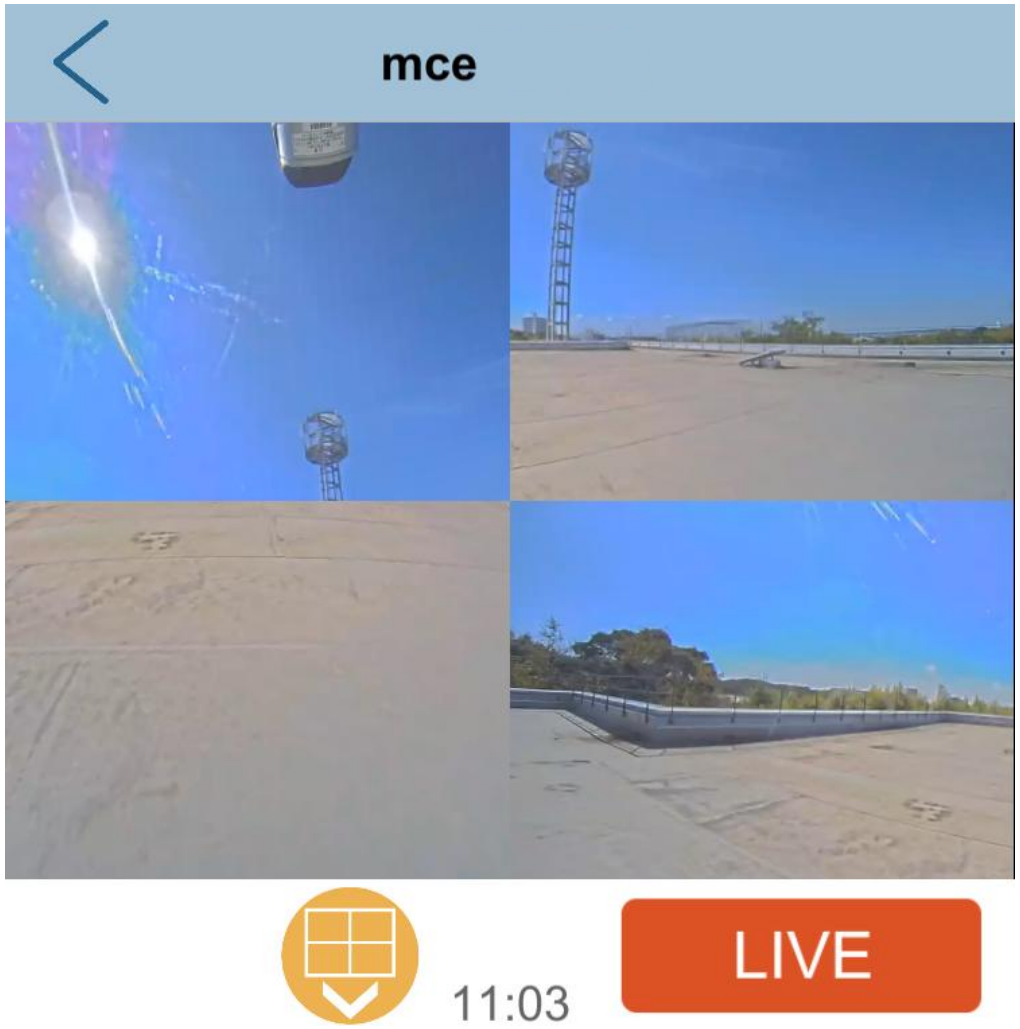
⑤ 4分割表示に切り替えます。 ・・・105p

⑥ パノラマ表示に切り替えます。 ・・・106p

⑦ 疑似PTZ表示に切り替えます。 ・・・107p

⑧ 全方位撮像表示に切り替えます。 ・・・108p

【アプリ】360°（全方位）カメラの4分割表示



4分割表示された映像に切り替わります。

ただし、《カメラ一覧》画面の映像は全方位撮像表示のままです。

【アプリ】360°（全方位）カメラのパノラマ表示



パノラマ表示された映像に切り替わります。
※パノラマ表示モードは、天井設置または床設置時に最適化されています。

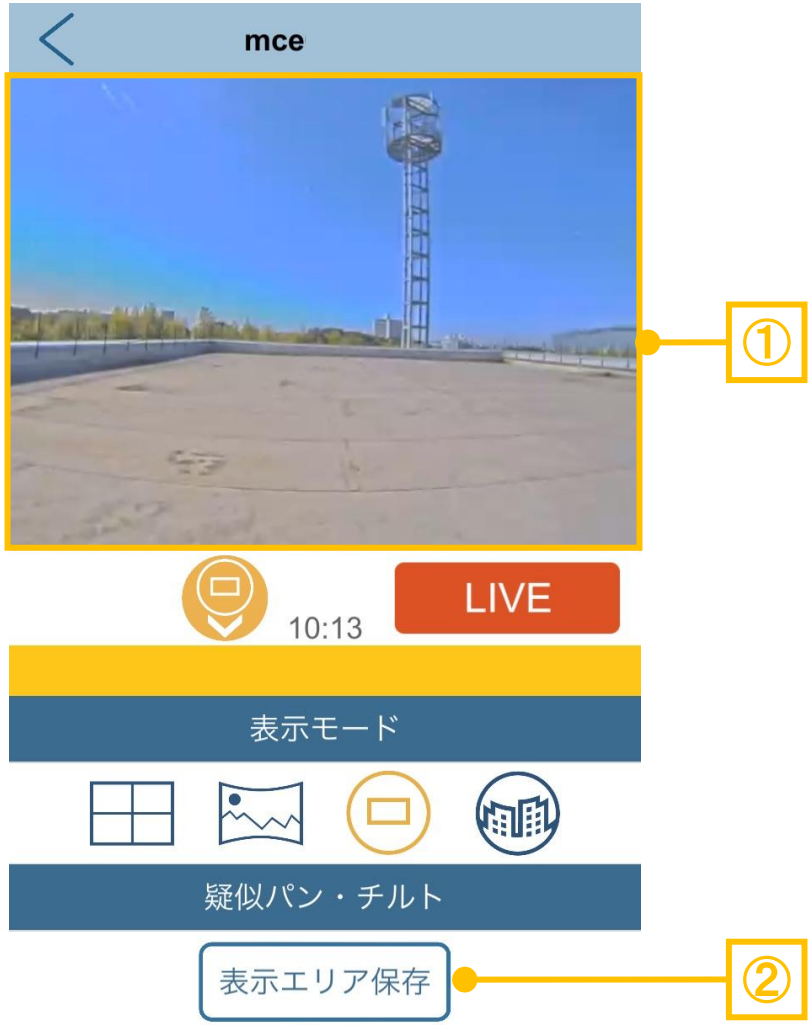
ただし、《カメラ一覧》画面の映像は全方位撮像表示のままです。

① 映像を分割する境界線の設定を変更することができます。

② パノラマ映像が上下反転している場合は調整（180度回転）が可能です。

③ ①～②で変更した設定を保存します。

【アプリ】360°（全方位）カメラの疑似PTZ表示



疑似的にPTZ表示された映像に切り替わります。

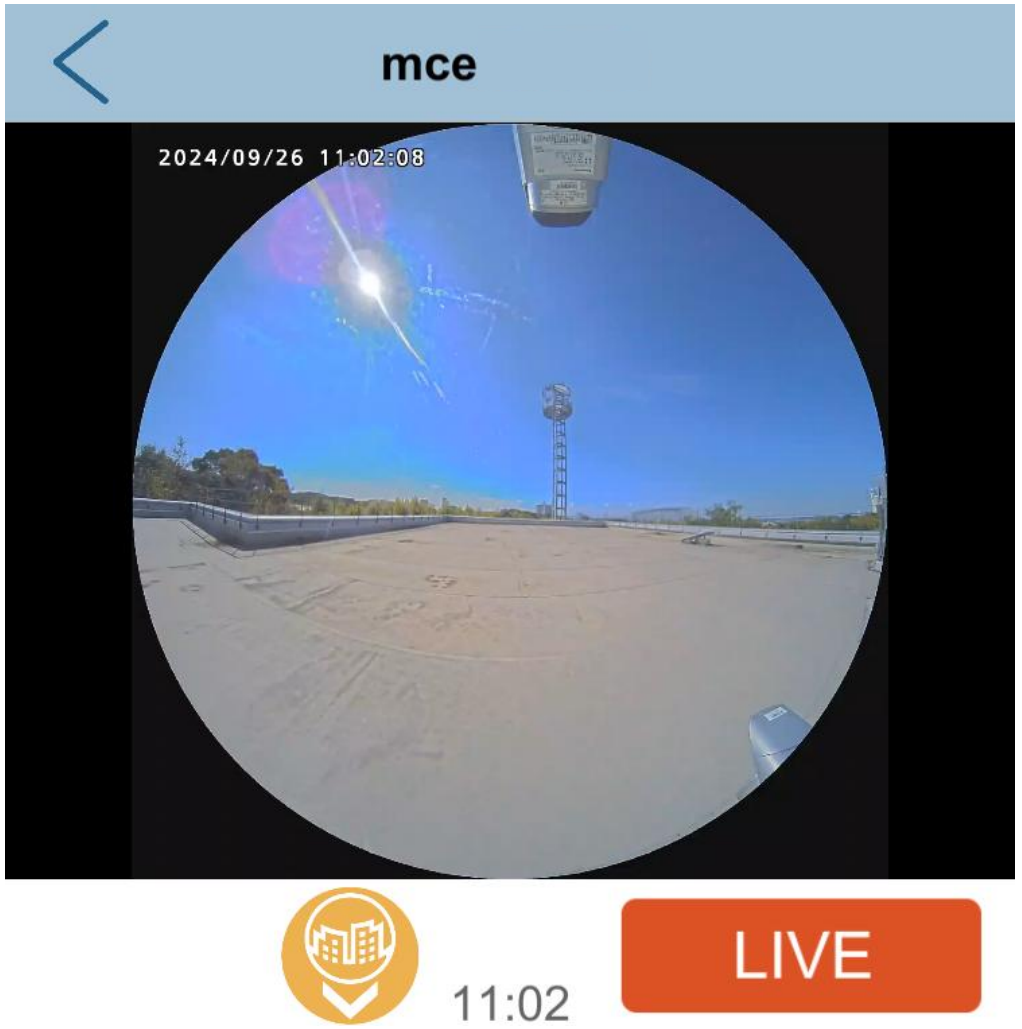
ただし、《カメラ一覧》画面の映像は全方位撮像表示のままです。

① 映像上でスワイプ操作することによって映像のクリップができます。
また、ピンチアウト/イン操作によって映像の拡大/縮小が可能です。

② 現在のクリップ位置を保存する場合は【表示エリア保存】をタップしてください。

クリップ位置の情報は、カメラに紐付けて保存されています。
そのため、他の端末で表示した際や、共有している他のアカウントを使用して表示した際にも反映されます。

【アプリ】360°（全方位）カメラの全方位撮像表示



全方位撮像表示された映像に切り替わります。